

14. 8-210



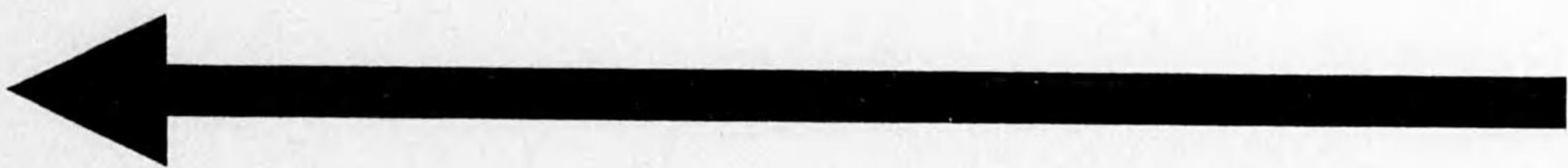
1200501227580

14.8

210



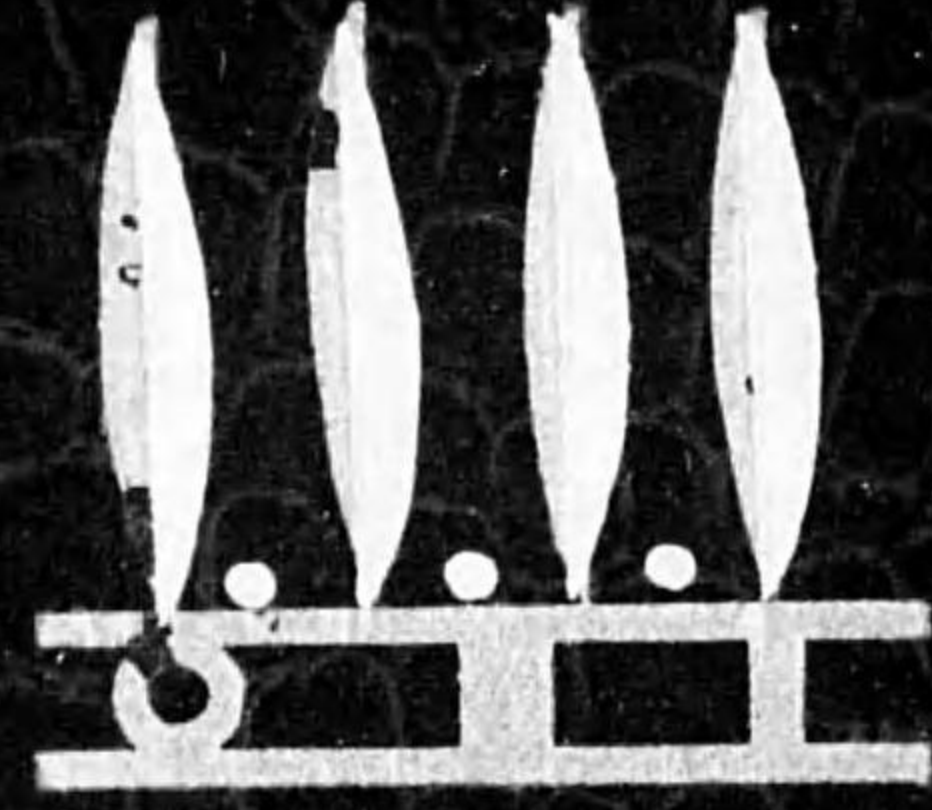
始



147.8-273
210

第四回

九州冲縄各縣聯合工藝試作品
展覽會報告書



大分縣



第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會報告書



第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會報告書

目次

第一章 展覽會ノ開催……………一

 第一節 事業計畫ノ概要……………一

 第二節 規則……………三

 第三節 役員……………九

 第四節 事務分擔……………一〇

 第五節 經費豫算……………一三

 第六節 出品物ノ陳列……………一四

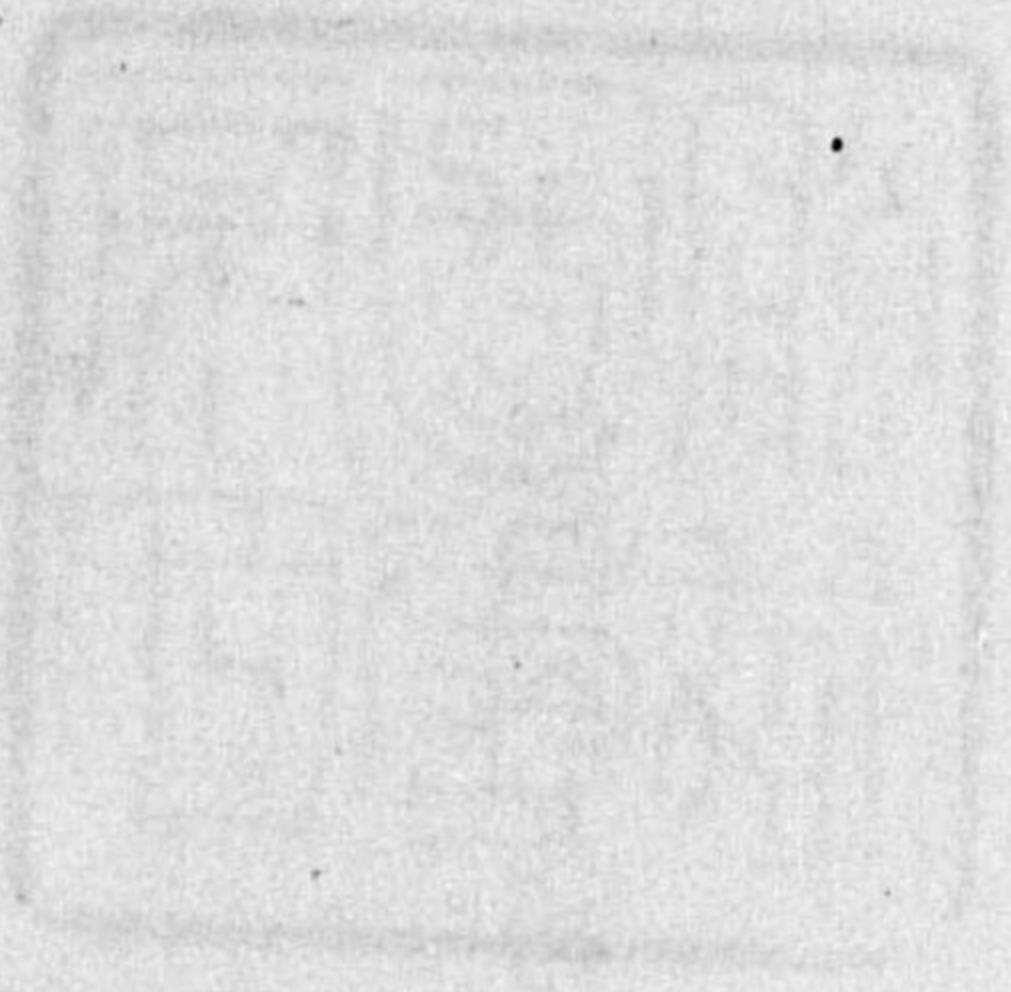
 第七節 開會中ノ狀況……………一五

第二章 出品……………一七

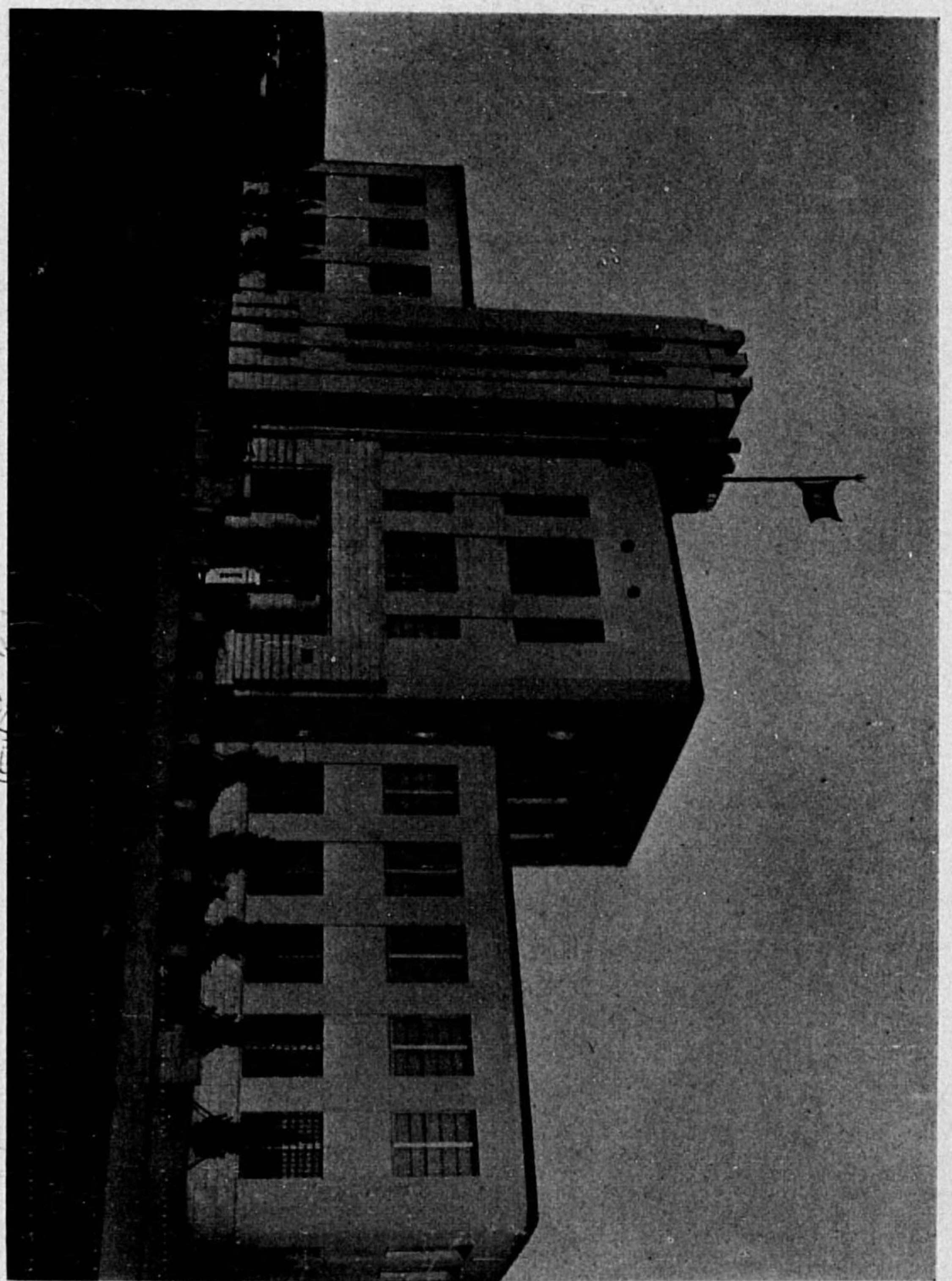
 第一節 府縣別出品數……………一七

第三章 鑑査及審査……………一九

 第一節 鑑査及審査要項及日程……………一九



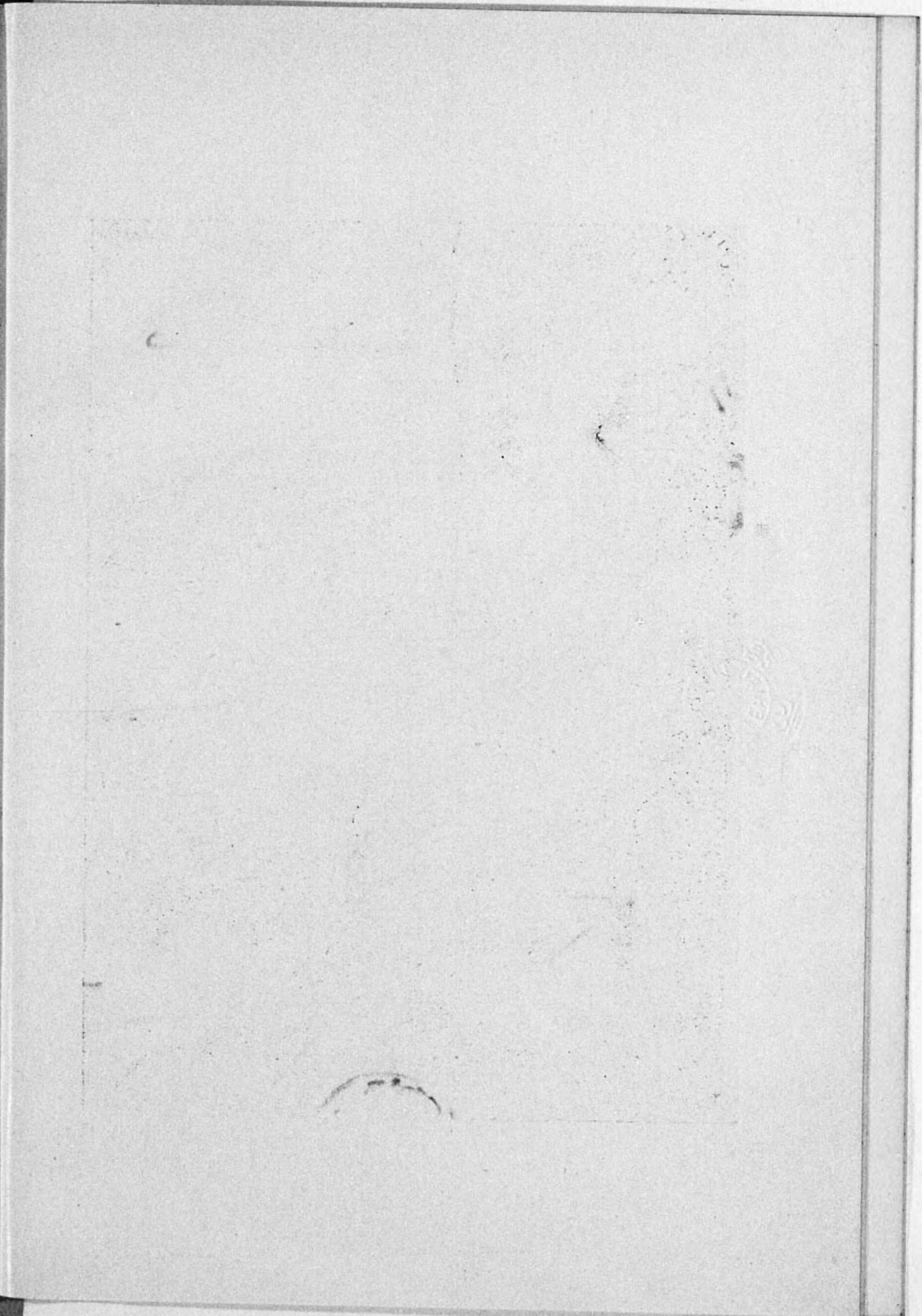
第二節	鑑審查員……………	三〇
第三節	鑑查及審查成績……………	三二
第四節	受賞及出品狀況……………	三六
第四章	審查講評及講演會ノ開催 ……………	三七
第一節	審查講評及講演速記録……………	三七
第五章	批評懇談會ノ開催 ……………	三七
第一節	批評委員……………	三七
第二節	批評懇談會速記録……………	三八
第六章	聯合各縣出品狀況說明 ……………	三九
第七章	九州沖繩各縣商工課長全各市產業課長並ニ全各縣市工藝關係官職員協議會開催 ……………	四〇
第一節	協議日程……………	四四
第二節	出席者……………	四五
第三節	協議事項……………	四八
第四節	協議會速記録……………	五三

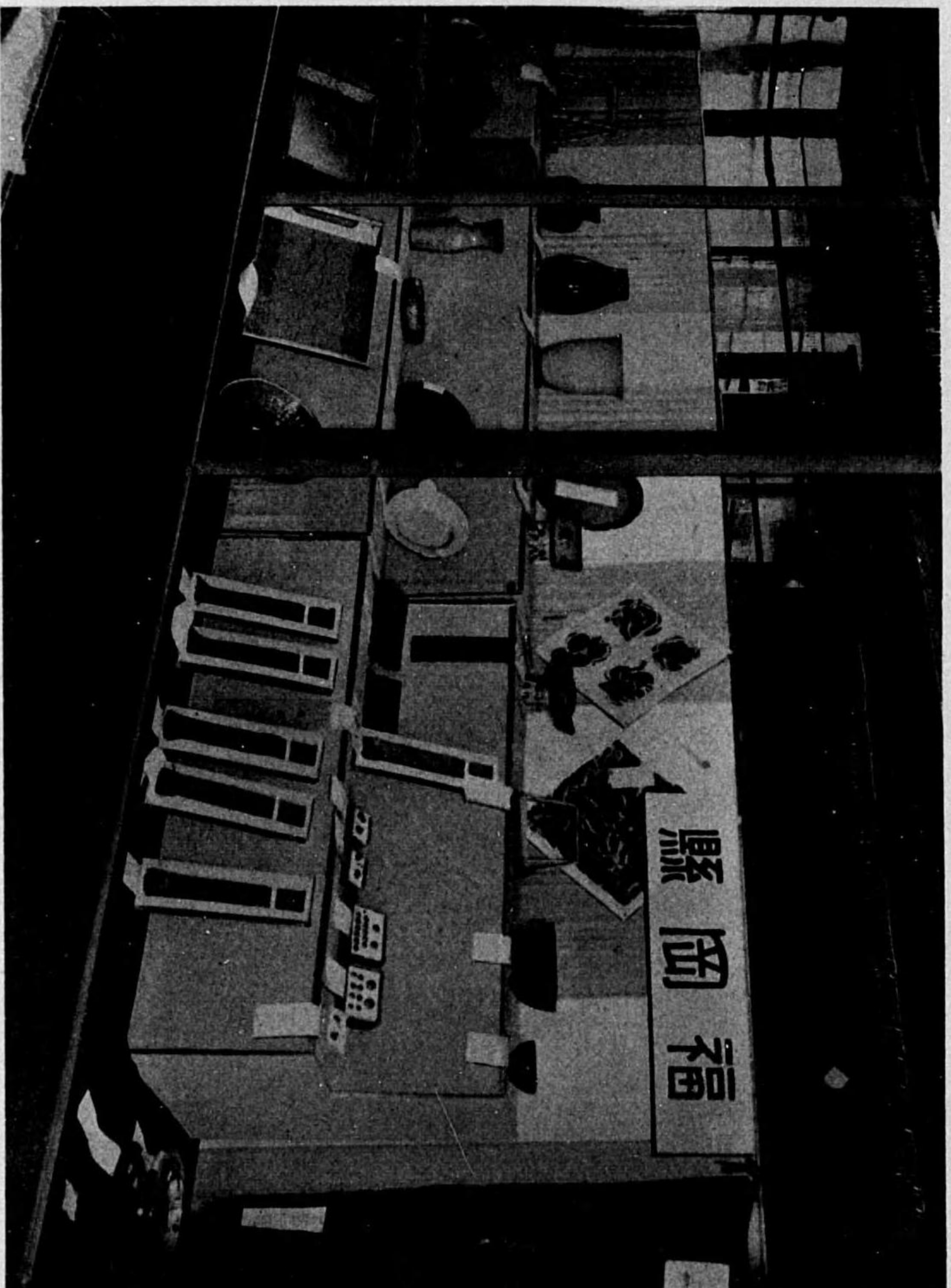


景全場會覽展品作試藝工各縣縣各繩沖州九回四第
館產殖縣分大市府別



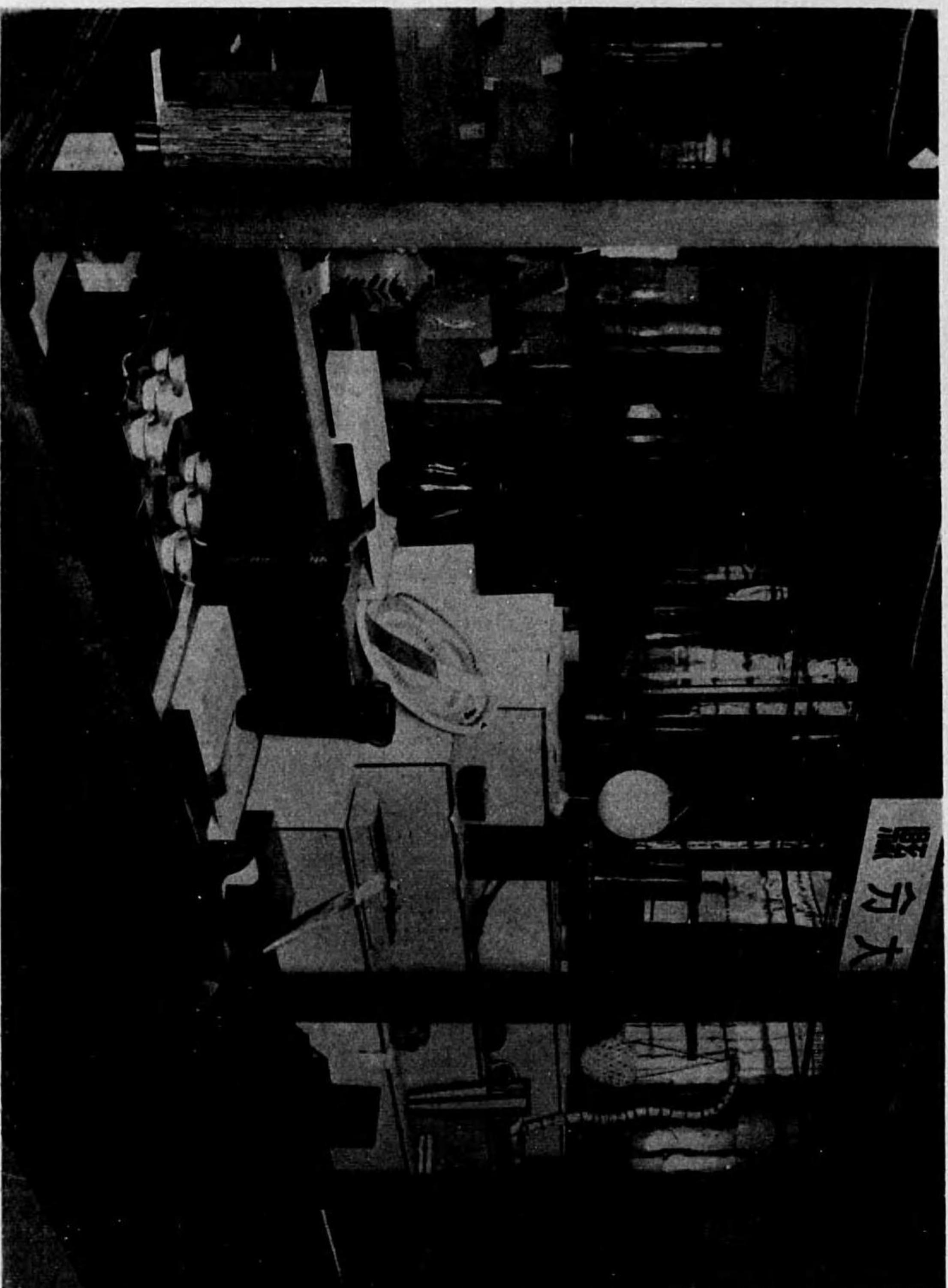
部 一 ノ 品 出 縣 衙 長



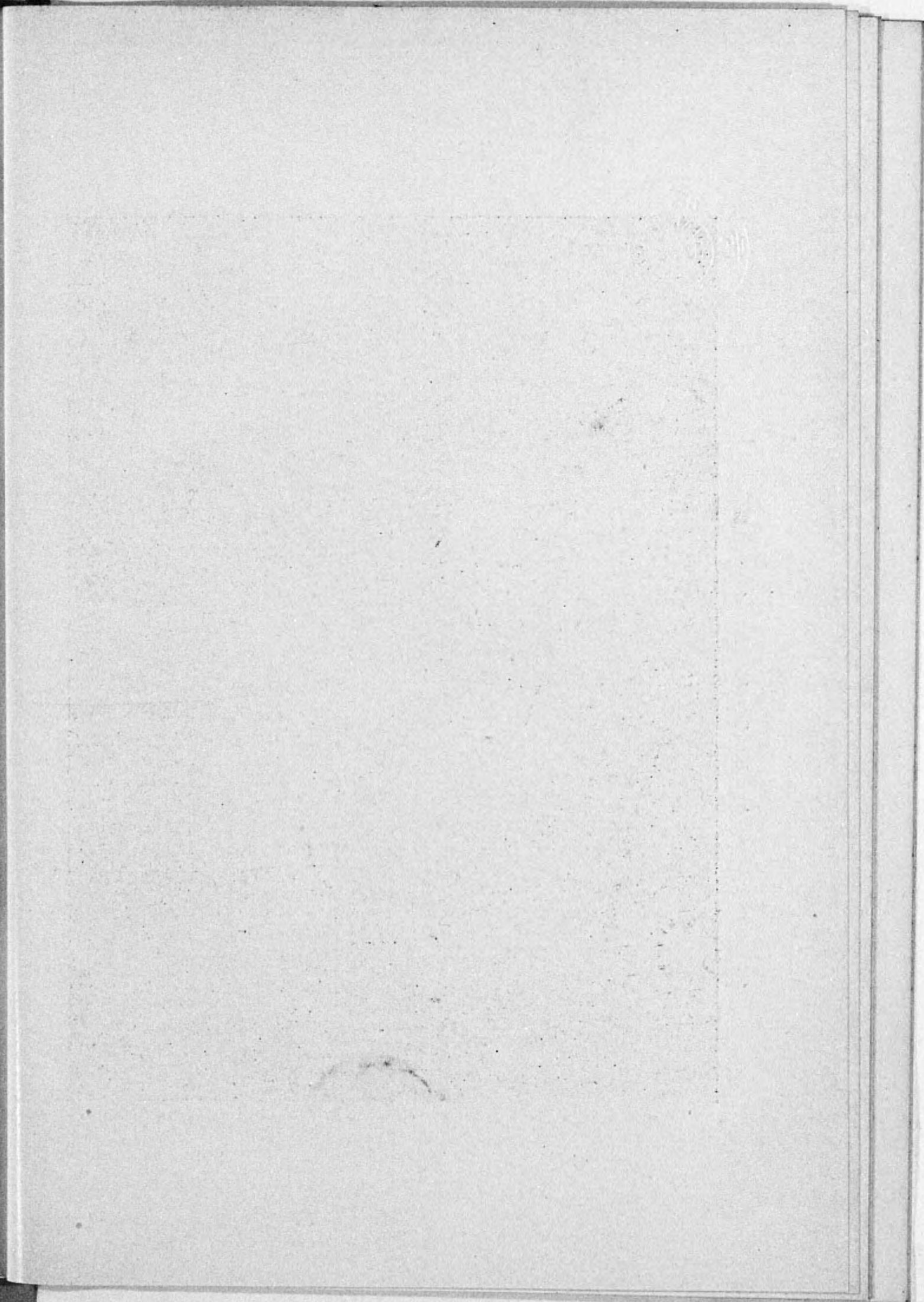


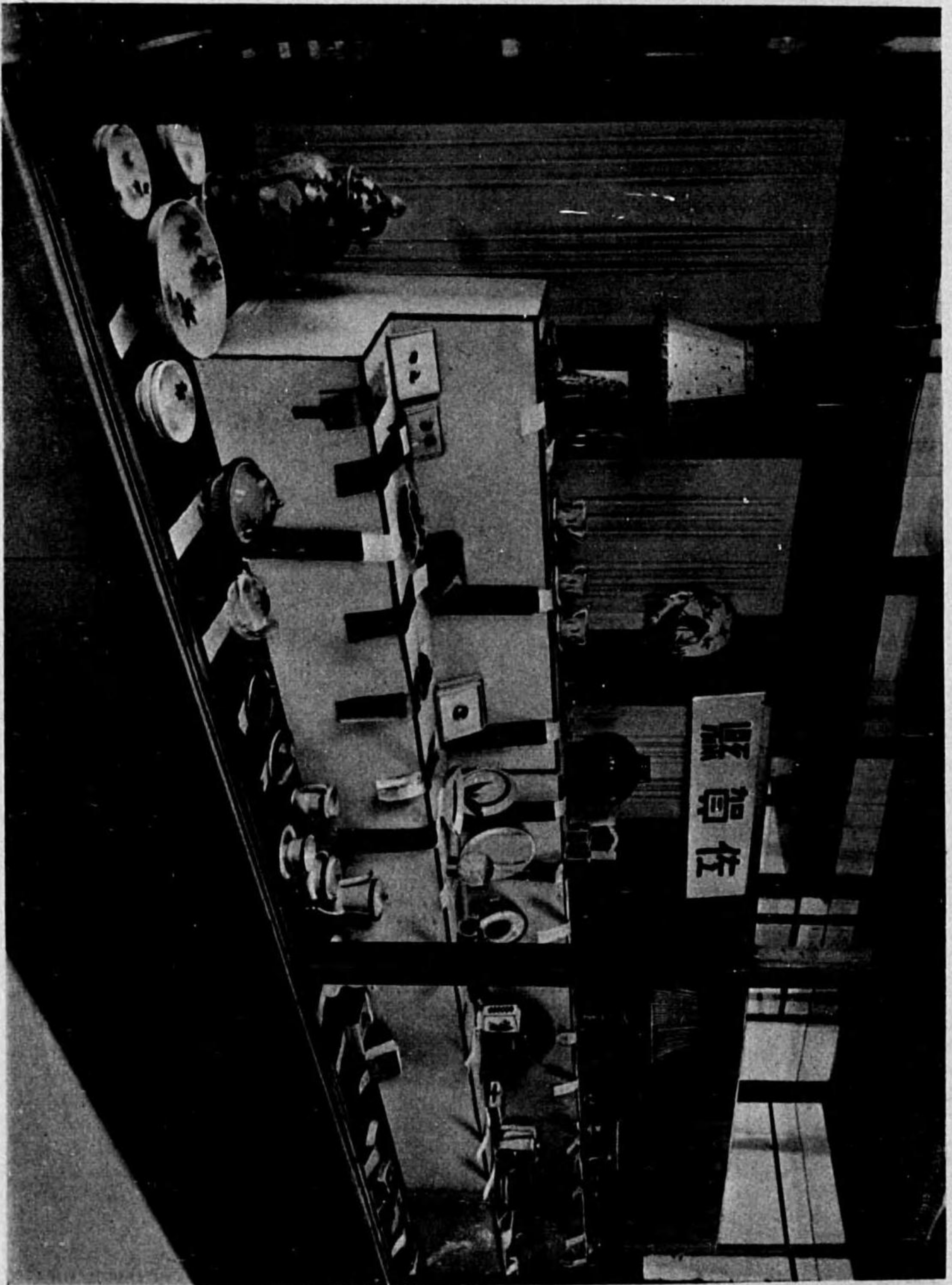
福岡縣出品一

1
11/11/11



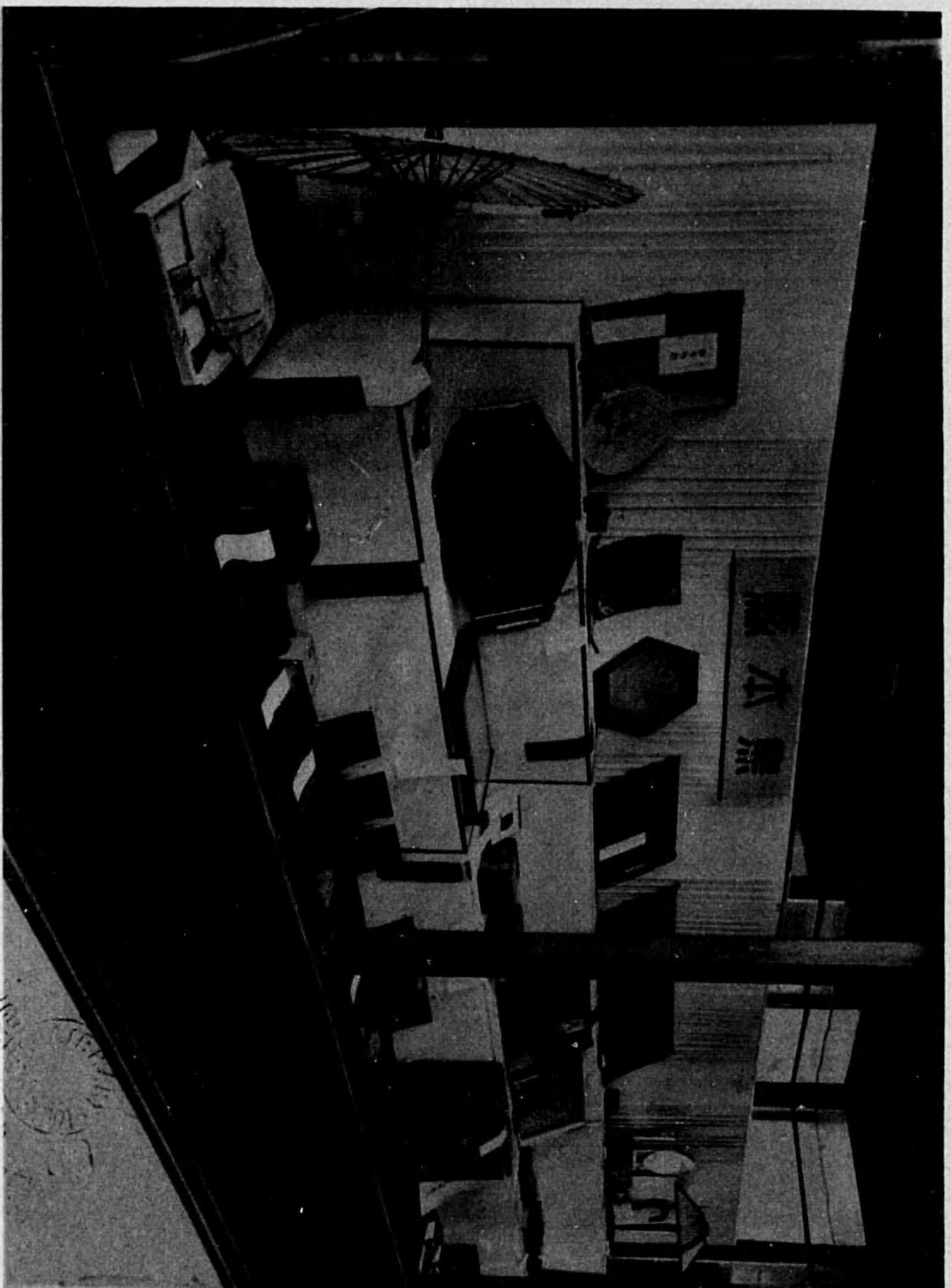
大分縣出品の一



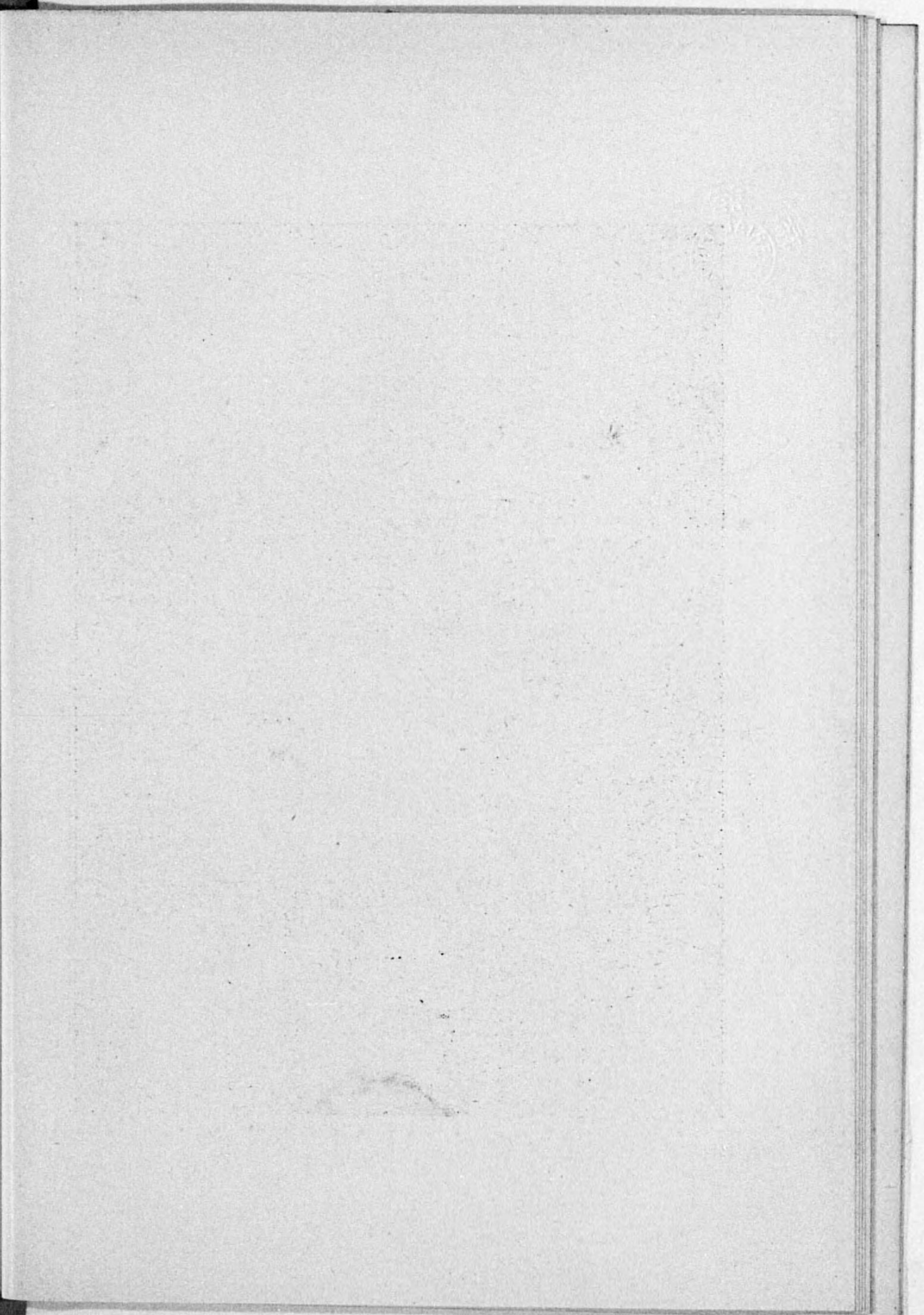


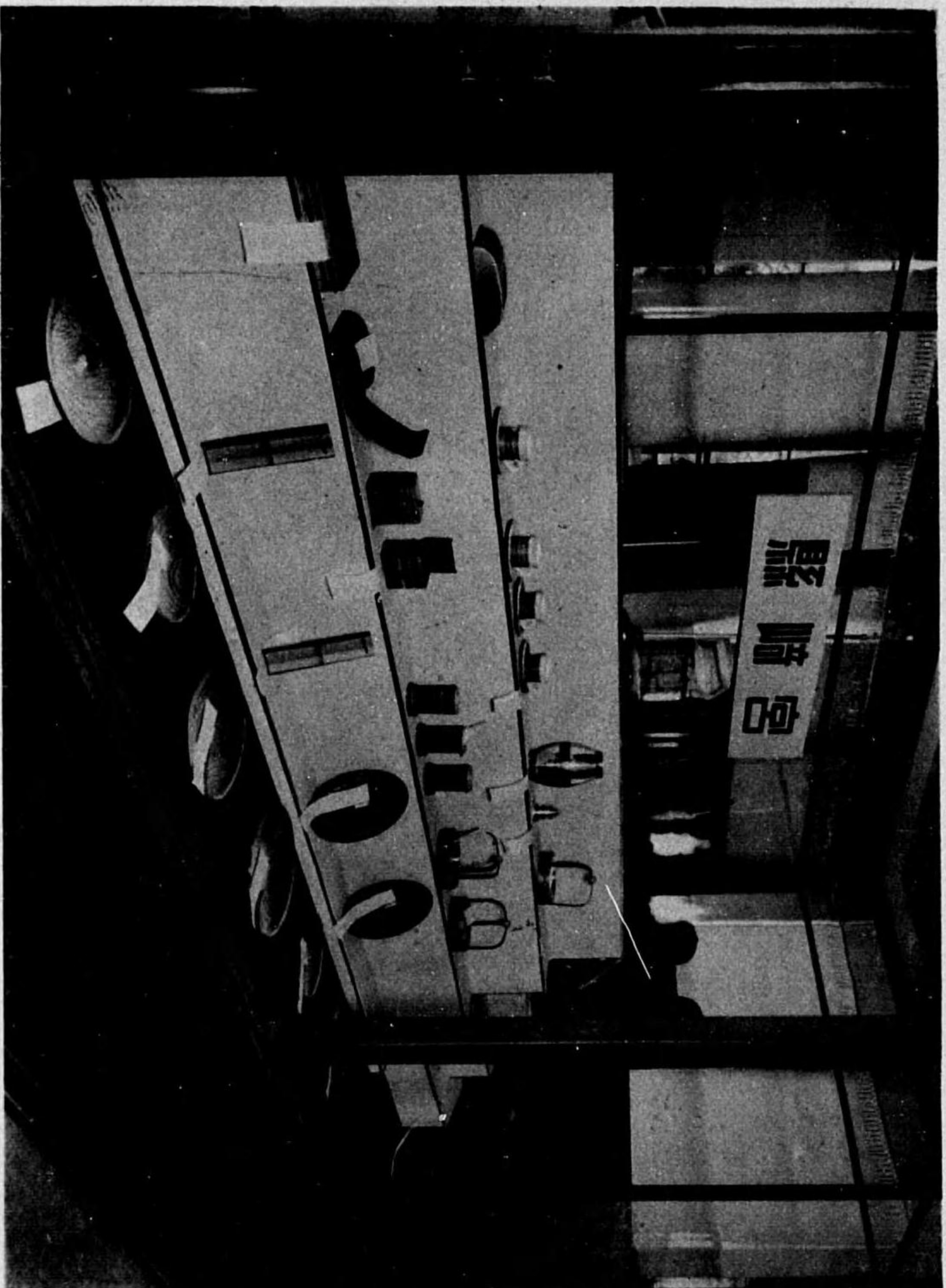
佐賀県出品の一部





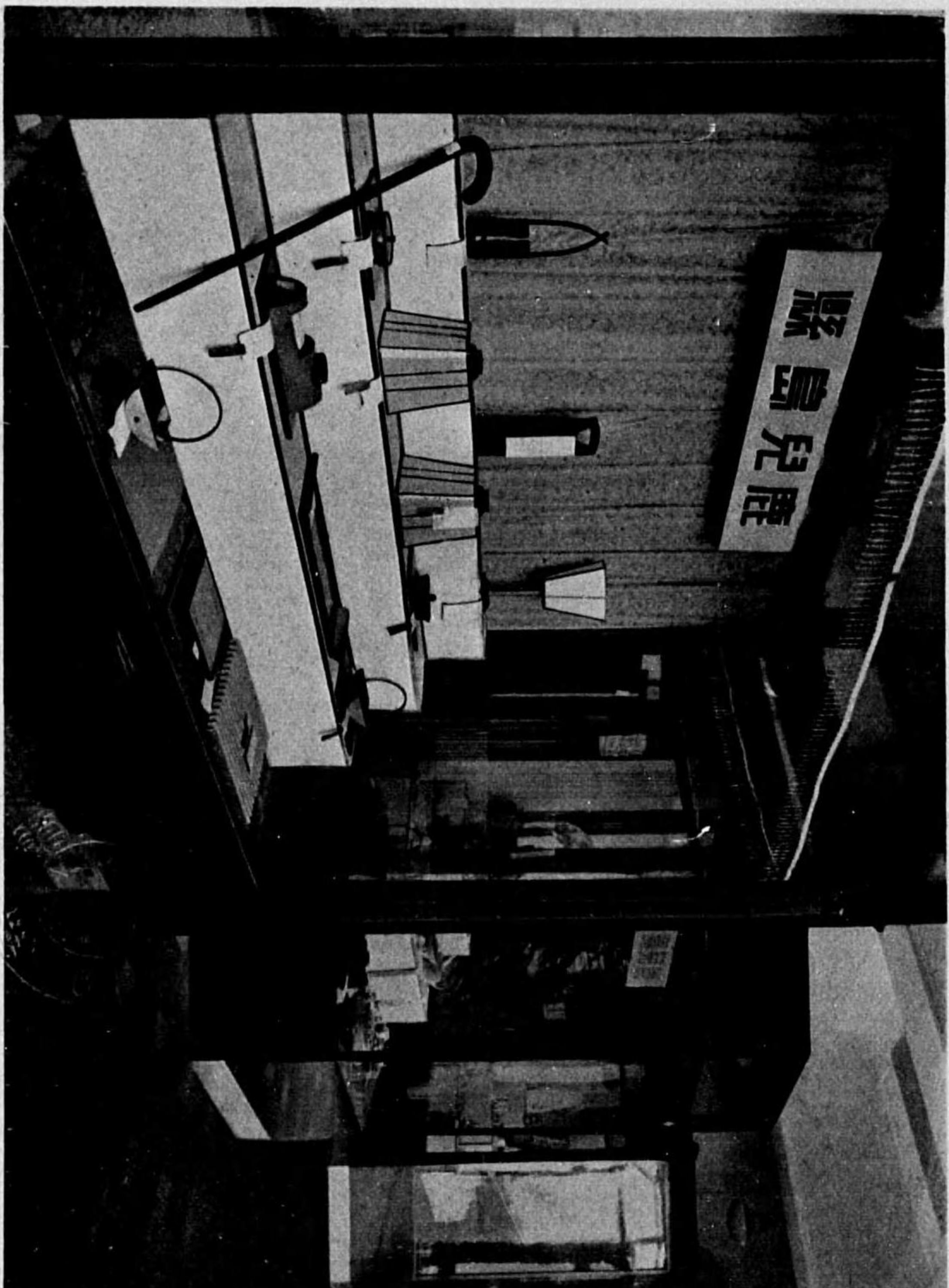
熊本縣出品の一



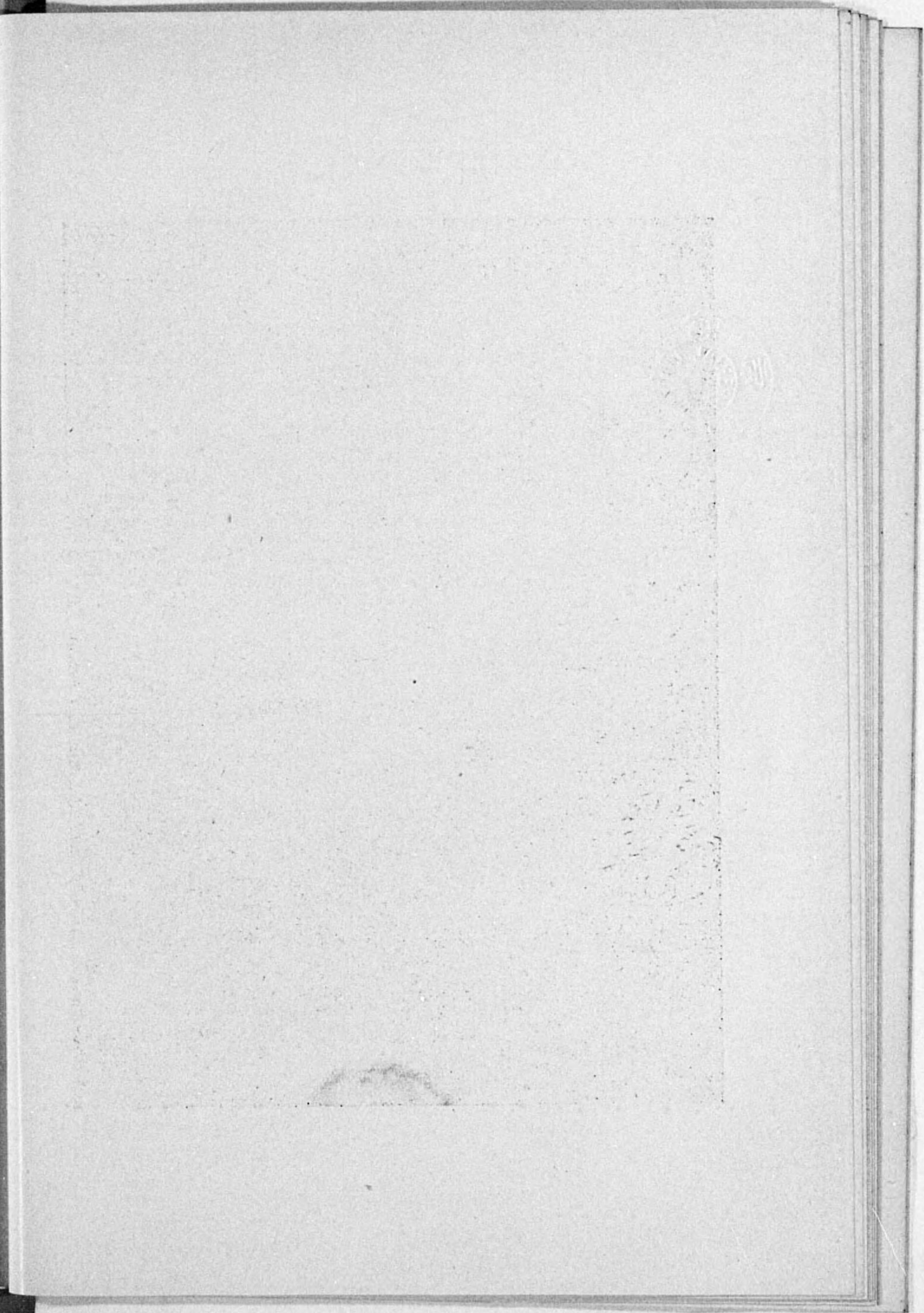


宮崎縣出品之一部

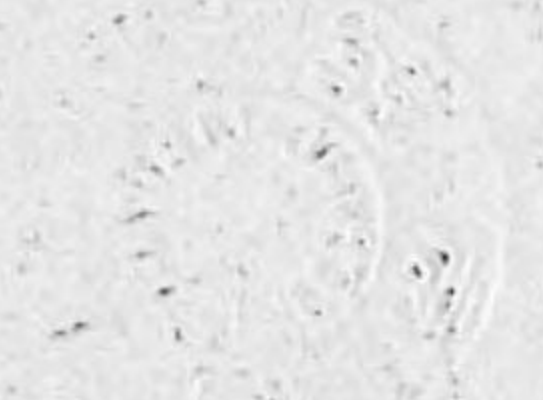
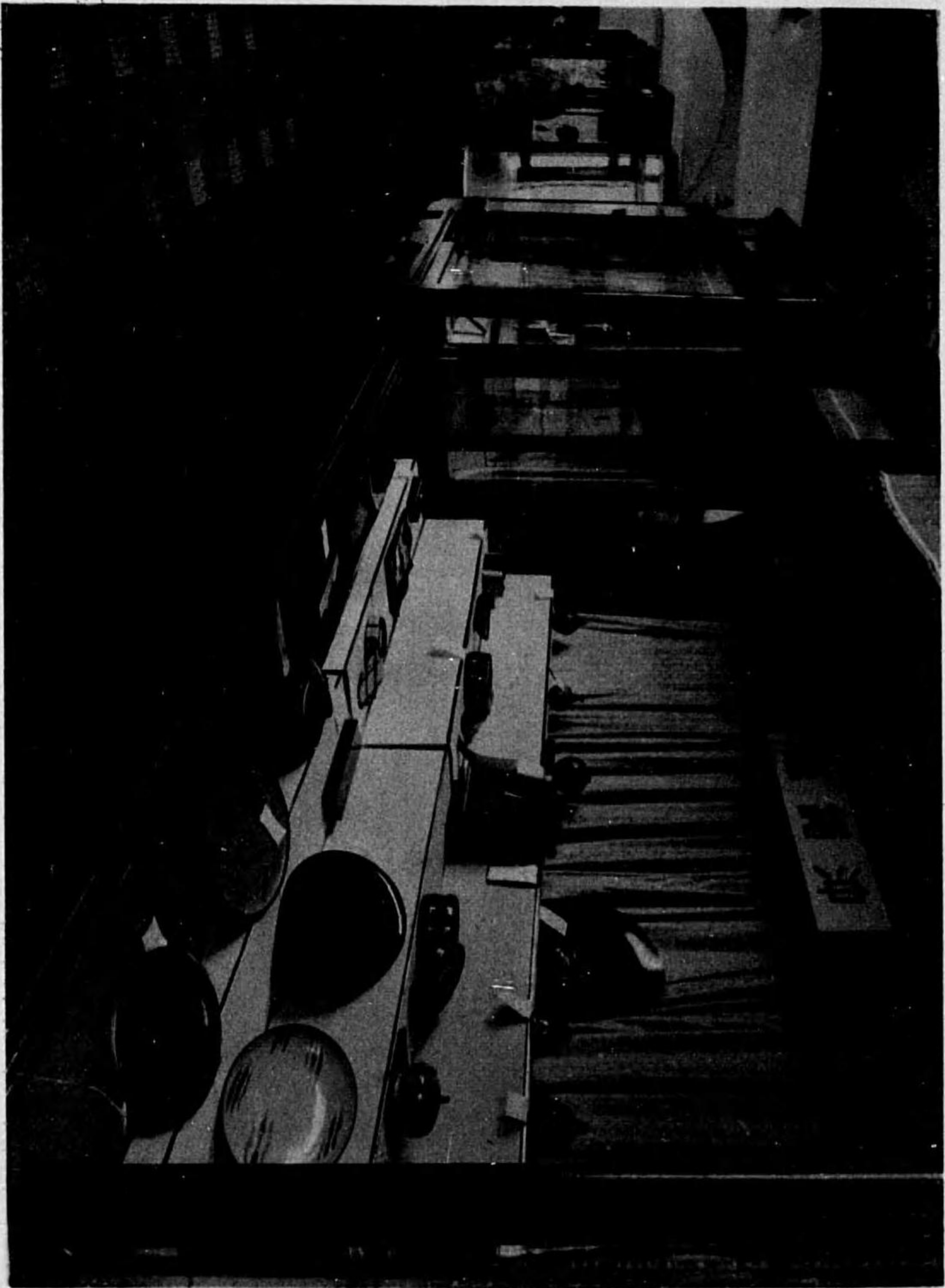


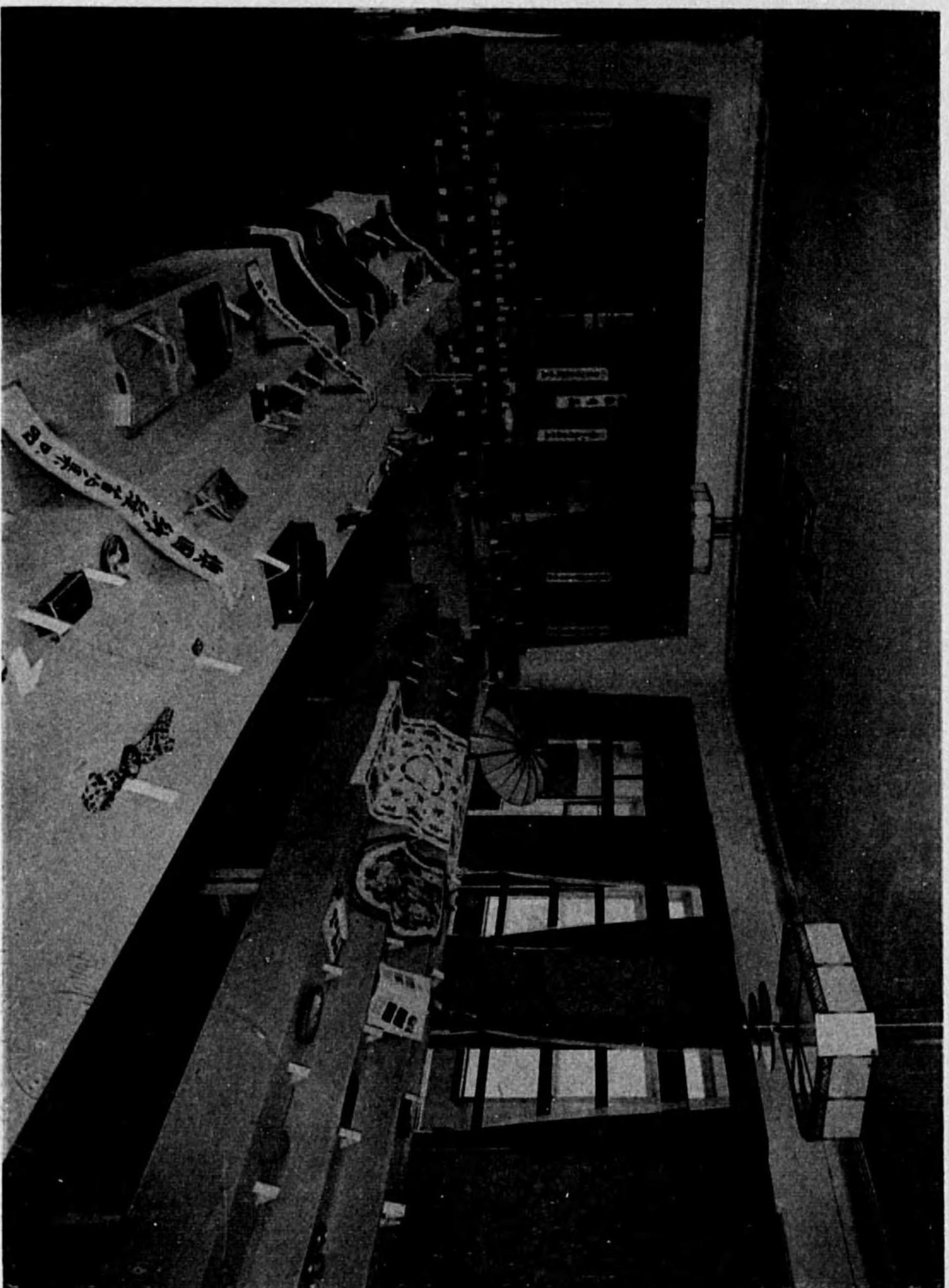


鹿兒島縣出品之一部



沖繩縣出品一





外 國 市 場 參 集 考 考 品 品 同 同 } 省 工 商 貿 工 陶 磁 器 指 易 局 導 所

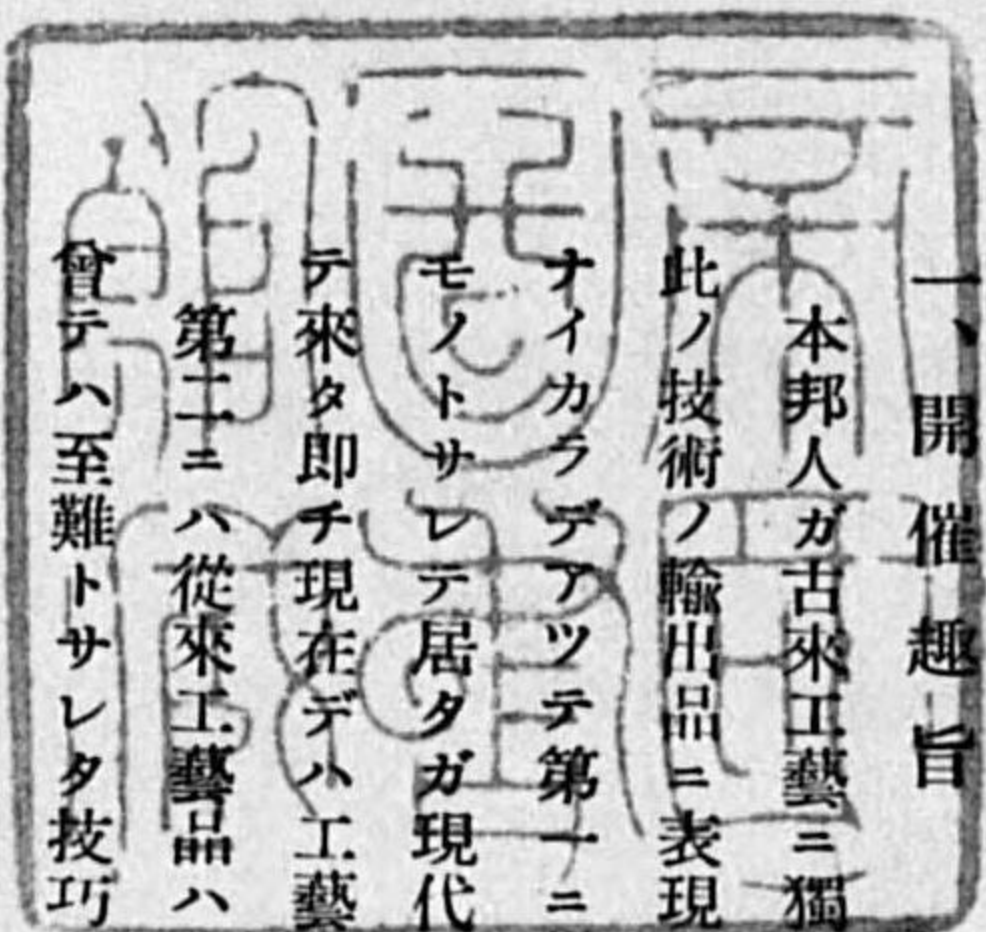
第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會報告

第一章 展覽會ノ開催

第一節 事業計畫ノ概要

本邦人が古來工藝ニ獨特ノ技能ヲ有スルコトハ内外人ニ周ク認メラレテ居ルガ最近本邦輸出貿易ノ躍進ニモ拘ラズ此ノ技術ノ輸出品ニ表現セラル、處ハ頗ル乏シク此レハ本邦人が近代生活ニ於ケル工藝ノ意義ニ付十分ノ認識ヲ有シナイカラデアツテ第一ニ從來工藝ハ貴紳階級ノ「サロン」ニ飾ラレル作品ニ關聯シテ考ヘラレ一般大衆トハ無關係ナモノトサレテ居タガ現代一般大衆ノ生活ノ向上ニ伴テ漸ク之ニ關心ヲ有チ日常生活ノ用具ノ末ニ至ル迄工藝品化サレテ來タ即チ現在デハ工藝ハ漸次大衆ノ生活ト緊密ナル關係ヲ有スル状態ニナツタ

第二ニハ從來工藝品ハ多ク天才的工匠ニ依ツテ製造サレ工業一般トハ縁遠イモノトサレテ居タガ近代科學ノ進歩ハ會テハ至難トサレテ技巧ノ工業ニ於ケル應用ヲ容易ニシ生産設備並ニ生産物ヲ次第ニ科學的完成カラ藝術的精巧ヘト進マセテ居ル即チ現在デハ科學ハ藝術ト融合シ工藝ハ工業ノ最終ノ階段デアリ其ノ指導精神デアルニ至ツテ居ル然ルニ本邦人ハ斯ノ点デ十分認識シナイ爲ニ工藝家ハ大衆ヲ無視スルニ傾キ又企業家モ工藝ヘノ關心ニ乏シク何レモ暗中摸索ニ陥ツテ舊套ト新奇ノ間ヲ彷徨シテ居ル其ノ結果動モスレハ骨董類似ノ美術品ヤ低級ナ雜貨類ガ輸出サレ本邦文



化ノ實相ニ付テモ幾多ノ疑惑ヲ招イテ居ルノハ遺憾ナル故ニ昭和八年以來政府ノ工藝産業振興運動ト相俟テ九州沖繩各縣聯合主催ヲ以テ第四回展覽會ヲ開催シタ所以ニシテ本地方ニ於ケル輸出向工藝商品ノ輸出ヲ振興サセヤウト云フノデアアルガ援テハ本邦工業ニ適確ナ指針ヲ與ヘテ其ノ發展ニ資スルト共ニ本邦文化ニ對スル海外ノ認識ヲ新ナラシメヤウト期シテ居ル次第デア

二、開催要項

○主催者

長崎縣、福岡縣、大分縣、佐賀縣、熊本縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣以上聯合主催

○會場

別府市濱脇海岸 大分縣殖産館

○會期

昭和十二年七月二十日ヨリ全月二十六日迄七日間

○目的

工藝品ノ改善指導並ニ製作獎勵ニ資スルヲ以テ目的トス

○出品ノ種類

輸出ノ目的ヲ以テ試作シタル工藝品並ニ意匠圖案

○出品者ノ範圍

出品者ハ主催各縣下在住者又ハ試驗研究機關ニシテ當該出品物ノ製作者若ハ自己ノ爲ニ出品セシメタル販賣業

者

○出品ノ部類

一、商工省海外蒐集參考見本品、全工藝指導所試作見本及全陶磁器試驗所製作見本參考品

二、聯合各縣下ニ於ケル試驗研究指導機關試驗品

三、聯合各縣下在住當業者試作品又ハ製作品

○出品物ノ鑑査及審査

出品物ノ鑑査及審査ハ各縣ヨリ一人宛其ノ所屬長官ヨリ推薦シタル者ヲ鑑査員及審査員ニ會長囑託シ鑑査長及

審査長ハ商工省技術官ニ委囑シテ之ヲ行フ

○出品物ノ賣約

商工省所屬參考品及非賣品ヲ除ク出品物ノ賣約ノ取扱ヒヲ爲ス賣約手数料トシテ賣價ノ五分ヲ徴收ス

○入場料

無料

第二節 規則

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會規則

第一章 總則

第一條 本會ハ九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會ト稱シ長崎、福岡、佐賀、熊本、鹿兒島、宮崎、沖繩、大分各

縣聯合ヲ以テ之ヲ主催ス

第二條 本會ハ九州沖繩各縣ノ工藝試作品ヲ陳列展示シテ工藝品ノ改善指導並ニ製作獎勵ニ資スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ昭和十二年七月二十日ヨリ七月二十六日迄七日間別府市濱脇海岸大分縣殖産館ニ於テ開催シ事務所ヲ同館内ニ置ク

第四條 本會ノ經費ハ聯合各縣負擔金其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第二章 職 制

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會 長 一 名

副 會 長 若 干 名

理 事 若 干 名

幹 事 若 干 名

委 員 若 干 名

第六條 會長ニハ開催地縣知事ヲ副會長ニハ會長ノ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 理事、幹事及委員ハ會長之ヲ囑託ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

理事、幹事及委員ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第九條 本會ニ顧問及參與若干名ヲ置ク顧問及參與ハ會長之ヲ推薦ス

第三章 出 品

第十條 出品物ノ範圍ハ輸出ノ目的ヲ以テ試作シタル工藝品並ニ意匠圖案ニ限ル但シ左ニ掲グルモノハ出品スル事ヲ得ズ

一、衛生風俗ニ害アリト認ムルモノ

二、發火其ノ他危險ノ虞アリト認ムルモノ

三、製作後一年以上ヲ經過セルモノ

四、既ニ公開展示シタルモノ

五、追加注文ニ應ジ得ザルモノ

六、前項ノ外出品ニ適セズ出品ノ價值ナシト認ムルモノ

出品物ハ一人十點以內トス

第十一條 出品者ハ主催各縣下在住者又ハ試驗研究機關ニシテ當該出品物ノ製作者若ハ自己ノ爲メニ製作セシメタル販賣業者ニ限ル

第十二條 出品申込ハ昭和十二年七月一日迄別紙様式ニ依ル申込書ヲ所屬各縣ヲ經由シ事務所ニ提出スルモノトス

第十三條 出品物ハ昭和十二年七月十日迄別紙様式ノ出品目錄ト共ニ所屬各縣ニ提出シ各縣ハ速ニ之ヲ取纏メ事務所ニ送付スルモノトス

第十四條 出品物ノ陳列及裝飾ハ本會ニ於テ之ヲ行フ但シ出品物ノ特別陳列ヲ希望スル者アル場合ハ之ニ要スル設備

及裝飾費用ハ出品者ノ負擔トス

出品物ノ搬入及搬出ニ要スル費用ハ出品者ノ負擔トス

但シ出品各縣迄取纏メ返送ノ場合ノ運賃ハ本會ニ於テ補助スルコトアルベシ

第十五條 出品物ハ鑑査ヲ經テ之ヲ陳列ス

第十六條 出品陳列ノ場所、面積ノ割當及陳列位置等ハ開催縣ニ於テ之ヲ決定ス

出品者ハ出品物ノ陳列ニ關シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第十七條 出品物ニ關シテハ本會ニ於テ賣約又ハ取引契約ヲ斡旋ス

第十八條 出品人ハ出品物ノ賣約手數料トシテ賣價ノ五分ヲ本會ニ納入スルモノトス

第十九條 出品物ハ本會ニ於テ十分保護ヲ爲スト雖運送途中ノ損害、盜難、天災、事變、其ノ他不可抗力ニ依ル損害ニ對シテハ其ノ責ニ任ゼズ

第二十條 本會ノ指定シタル期限内ニ出品物ヲ搬出セザル時ハ出品人ノ費用ヲ以テ之ヲ返送スルコトアルベシ

第二十一條 出品物ハ出品者ノ承諾ヲ得且ツ本會ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ撮影シ又ハ模寫スルコトヲ得ス但シ本會ニ於テ之ヲ撮影シ又ハ刊行セントスル場合ハ此ノ限りニ在ラズ

第四章 鑑査及審査

第十二條 出品物ハ本會ニ於テ鑑査及審査ヲ行フ

鑑査及審査ノ方法ハ本會ニ於テ之ヲ定ム

第十三條 鑑査員及審査員ハ各縣一人トシ各縣知事ノ推薦シタル者ヲ會長囑託ス

鑑査長及審査長ハ主務省技術官ニ委嘱スルモノトス

第二十四條 審査ハ鑑査ニ合格シタル出品物ニ付之ヲ行フ

第二十五條 出品者ハ鑑査及審査ニ對シテ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得ズ

第五章 雜則

第二十六條 開會時限ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ時宜ニヨリ伸縮スルコトアルベシ

第二十七條 本會ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲會期中講演會、懇談會等ヲ開催ス

第二十八條 本會事務執行上必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會出品申込書

(申込期限昭和十二年七月一日)

氏名
住所
縣
郡市
村町
番地

種類	番號	品名	點數	單價	摘要

摘要欄ニハ出品物ノ附屬品個數等ヲ明記シ陳列ニ付テノ希望ヲ記入

右貨會規則ヲ確守シ出品致度此段申込候也

昭和十二年 月 日

大分縣殖産館内 (別府市)

九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會係 御中

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會出品目録

(搬入期限昭和十二年七月十日)

氏名
住所
縣
郡市
町
村
番地

種類	番號	品名	點數	單價	價額	摘要

右出品候也

昭和十二年 月 日

大分縣殖産館内 (別府市)

九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會係 御中

(備考) 種類欄へ竹、木、金、漆、陶、布帛等ニヨリ種類別スルコト

出品物添付傳票

縣市		出品番號第		品名	價格	圓	錢
號	摘要	出品人氏名	住所				

第三節 役員

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會役員

會長 前會長 副會長 顧問 全會 全會 全會 參與

大分縣知事 全分縣部 別府市長 大津市長 中津市長 別府市長 大津市長 中津市長 別府市長 別府市長 別府市長 別府市長 別府市長 別府市長 別府市長 別府市長

粟屋仙吉 白松篤樹 越野菊雄 小野廉三 朝吹龜三 竹岡吉太郎 西原左太郎 猪俣喜藤 九

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會
事務分擔

第四節 事務分擔

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	委	全	幹	理	全	全
大分縣商工技師	地方商工技師	全	全	大分縣商工技師	全	全	大分縣商工主事補	全	全	大分縣商工主事補	員	員	事	事	大分市助役	中津市助役
西村吉男	井口三郎	岡本晴雄	鈴木一	安達利	井上重	早田親	伊東美	大久保美	山本嘉	吉田肇	吉野武	加地卓	佐藤勝	久藤久	欽恒	員

一、出品及賣約係

委員

一、陳列、設備及裝飾係

委員

大分縣商工主事補
大分縣殖産館書記
全 看守人
全

早田登
福田六郎
矢野豐
惣川千子

一、宣傳係

委員

大分縣商工主事補
全 商工技師

伊東親美
鈴木利一

一、出品物批評懇談會係

委員

地方商工技師
大分縣商工主事補
全 商工技師
全 商工技師
全

井口三郎
伊東美
早田登
安達利
鈴木一
西村吉男
岡本晴雄

一、會計係	全	全	大分縣屬	山本嘉章
二、鑑査、審査係	幹事	大分縣殖産館書記	井上重夫	
以上ノ部長	大分縣殖産館長	姫野治良		
委員	大分縣商工技師	安達欽一		
全	全	鈴木利一		
全	全	岡本晴雄		
全	全	西村吉男		
委員	地方商工技師	井口三郎		
全	大分縣屬	大久保渡		
全	大分縣商工主事補	伊東親美		
全	全 商工技師	鈴木利一		
委員	全 地方商工技師	井口三郎		
全	大分縣商工技師	鈴木利一		
委員	地方商工技師	井口三郎		
全	大分縣商工技師	安達欽一		

一、鑑査長、審査長係	委員	全	全	岡本晴雄
以上ノ部長	季員	全	全	早田晴登
大分縣商工主事補	大分縣商工主事補	伊東親美		
大分縣工業試驗場長	大分縣工業試驗場長	加地卓一		

第五節 經費豫算

第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會經費豫算

科 目	豫算	備考
大分縣負擔	六〇〇圓	
國庫補助	八〇〇	
其ノ他團體負擔	六〇〇	別府市、大分市、中津市、日田町及別府商工會議所
費上手數料	一〇	
聯合各縣負擔	四二〇	長崎、福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、沖繩ノ各縣負擔各六〇圓
雜收入	一	
計	二、四三一	

支出ノ部

科目	豫算高	備考
裝飾費	二三〇	
監視人及人夫費	一五〇	
宣傳費	三〇〇	
圖書印刷費	一〇〇	
通信運搬費	二八〇	
消耗品費	五〇	
協議會費	三〇〇	
鑑査費	三〇〇	
雜費	一〇〇	
豫備費	二七〇	
計	二、四三一	

第六節 出品物ノ陳列

當業者試作品及製作品並ニ聯合各縣下試驗研究指導機關試作出品物ハ會場タル別府市大分縣殖産館階下陳列棚全部七十四小間ニ新ニ多數ノ雛段ヲ設ケ更ニ壁面ニ三十二小間ノ陳列台ヲ新ニ設備シ此ノ合計一〇六小間ヲ各縣別ニ區劃陳列セリ

商工省ヨリ借受ケタル海外市场蒐集參考見本品、工藝指導所、陶磁器試驗所試作參考見本品ハ全館二階會議室ノ陳列セリ

列台ニ雛段ヲ新設シテ陳列展示セリ、此ノ小間數約三〇ナリ、各縣ノ陳列小間數ハ長崎一〇、福岡一五、大分三五、賀一〇、熊本一〇、宮崎三、鹿兒島一〇、沖繩七外ニ鑑査ニ合格セザル即賣品ノ陳列場所六ヲ配當セリ
會場玄關入口ニハ會場略圖、陳列品ノ觀覽順序ヲ示ス指導標ヲ配置シ觀覽ノ便ニ供シタリ

第七節 會期中ノ狀況

天候	觀覽者數	備考
昭和十二年七月二十日(火) 晴	六九〇	〔審査長ノ審査批判講演及貿易業者及片山大阪府立貿易館通商課長ノ出品物批評懇談會開催〕
七月二十一日(水) 晴	五一七	
七月二十二日(木) 晴	四九六	
七月二十三日(金) 晴	五七五	
七月二十四日(土) 雨	五六四	
七月二十五日(日) 暴風雨	七七	
七月二十六日(月) 曇	三九八	
合 計	三、三一七	

會期中七月二十四日(暴風雨)ヲ除キ天候ニ恵マレ來觀者三千三百七十七人ニ上リ會場位置交通至便ナリシ爲カ初日ヨリ當業者其ノ他一般ノ來觀多ク其ノ成績見ルベキモノアルヲ思ハシム
二十日行ハレタル審査長批評講演會及貿易業者ノ批評懇談會ニ於テハ特ニ商工省谷内技師及片山大阪府立貿易館通商課長ノ出席ヲ見關係各縣技術官、貿易業者、出品者、生産業者等約二百名ノ來場アリテ熱心ナル講評ト批判質疑等

行ハレ頗ル盛會デアツタト共ニ地方工藝振興上大ナル效果ガアツタト信ズル、尙開會ニ先チ在別府新聞記者招待會ヲ
開催シ本展覽會開催趣旨ノ宣傳ニ努メタリ

賣 約

本展覽會ニ於ケル出品物賣約高ハ總額一二六圓九三錢ニシテ比較的僅少ナリキ、本會ノ目的トスル處ハ將來工藝品
ノ改善發達ヲ促スニアリ、而シテ此ノ賣約品ヲ品別ニ見ルト木竹製品ハ總額ニ於テ最モ多ク窯業製品之ニ次グ、又
價格ニ於テ見ルトキハ比較的格安品ガ多カツタ

各縣別賣約件數及金額表

縣名	布		窯業		漆工		木竹		雜		計	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
長崎縣	1	5.96	5	3.40	1	2.00	1	1.50	1	7.20	6	4.90
福岡縣	1	1.72	1	1.72	1	1.61	1	1.92	1	8.00	1	1.56
大分縣	1	3.26	1	3.26	1	3.26	1	3.26	1	1.70	1	1.70
佐賀縣	1	3.50	1	3.50	1	3.50	1	3.50	1	1.40	1	3.00
熊本縣	1	1.30	1	1.30	1	1.30	1	1.30	1	1.70	1	2.67
宮崎縣	1	1.30	1	1.30	1	1.30	1	1.30	1	1.40	1	3.00
合計	5	19.64	24	11.00	5	11.50	5	11.00	5	39.50	11	13.10

縣名	布	窯業	金	工	漆工	木	竹	綜	合	雜	計
鹿兒島縣	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13.10
沖繩縣	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20.50
合計	10	2	2	2	2	2	2	2	2	2	33.60

第二章 出 品

第一節 一、出品總數

縣名	布		窯業		金		工		漆工		木		竹		綜		合		雜		計	
	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額	件數	金額
長崎縣	3	2.00	11	1.63	1	4.00	8	5.00	1	5.00	1	3.00	1	3.00	1	1.90	3	3.00	1	1.00	3	5.00
福岡縣	26	11.20	11	3.00	16	15.00	17	9.70	1	7.00	7	10.00	1	1.00	1	1.90	7	11.00	1	1.00	7	17.00
大分縣	2	4.00	1	5.50	2	10.80	2	10.80	1	12.00	1	5.00	1	5.00	1	1.90	3	19.00	1	1.00	3	21.00
佐賀縣	1	5.00	1	9.70	1	10.80	1	10.80	1	12.00	1	5.00	1	5.00	1	1.90	3	19.00	1	1.00	3	21.00
熊本縣	1	8.80	1	4.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00	1	6.00
鹿兒島縣	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00
沖繩縣	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00	1	1.00
合計	47	33.00	37	23.83	49	50.40	52	38.50	5	38.00	12	33.00	5	33.00	5	33.00	12	50.00	5	33.00	12	50.00

二、聯合各縣下ニ於ケル試驗研究指導機關試作品出品

縣名	布		窯業		工漆		木工		竹綜		合雜		計
	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	
長崎	三	五〇〇〇	二	二〇〇〇									二四
福岡	三	二二〇〇	三	一〇〇〇									三三
大分			四	一八〇〇									四
熊本			一〇	一〇〇〇									四
熊本													四
鹿島													四
沖繩													五
合計	三三	一八二〇〇	一八	五〇〇〇	一六	三六〇〇	一六	三六〇〇	一六	三六〇〇	一六	三六〇〇	一八八

三、聯合各縣下營業者試作品又ハ製作品出品

縣名	布		窯業		工漆		木工		竹綜		合雜		計
	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	
長崎	一	七〇〇	三	一五〇〇									三三
福岡	一	一六〇〇	三	一五〇〇									三三
合計	二	二三〇〇	六	三〇〇〇									六六

縣名	布		窯業		工漆		木工		竹綜		合雜		計
	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	
大分	二	七〇〇	一	五〇〇									三三
熊本	二	八〇〇	一	七〇〇									三三
鹿島			一	一六〇〇									三三
沖繩			七	一四〇〇									三三
合計	二二	二九〇〇	九	三六〇〇									六六

第三章 鑑査及審査

第一節 鑑査及審査要項及日程

- 推選賞 新規製品ニシテ輸出品トシテ適當ナルモノ
- 特選賞 技術優秀ニシテ改善ノ跡顯著ナルモノ
- 有功賞 工藝振興上有功ナルモノ
- 一、本展覽會出品物ノ鑑査及審査ハ工藝振興ノ趣旨ニ則テ之ヲ行フベキモノニシテ之ヲ敷衍スレバ輸出向工藝品トシテ改善試作セラレタル新規製品ニシテ
- 一、使用ノ目的ニ合致シタルモノ又ハ機能上改善セラレタルモノ
- 二、意匠ノ創意的ナルモノ又ハ改善顯著ナルモノ
- 三、製作技術優秀ナルモノ又ハ新シキ手法ヲ加ヘタルモノ

- 四、需要地ニ於ケル趣味嗜好ヲ考慮シ輸出増進上效果アルモノ
 - 五、價格適切ニシテ相當量ノ生産化ヲナシ得ルモノ
 - 六、現在ノ輸出品ヲ改善シ更ニ需要喚起ノ見込アルモノ
- 等タルベク從ツテ左記ノ如キモノハ之ヲ避クルコト即チ
- 一、内地需要ノミヲ目的トシテ輸出品トシテ適當ナラザルモノ
 - 二、海外市場ノ需要ニ適合セルモ單ナル模倣ニ過ギザルモノ
 - 三、輸出向工藝品トシテ適當ナルモ已ニ輸出セラレタルモノ
 - 四、單ニ藝術的價值ノミヲ有スルニ過ギザルモノ

以上

審査 鑑査 日程	
七月十八日	日曜日 午前九時 鑑査
七月十九日	月曜日 午前九時 審査
七月二十日	火曜日 午後一時……三時審査長ノ審査批判 午後三時……六時貿易業者ノ批評懇談會

第二節 鑑査委員

鑑査長	商工技師	谷内治橘
鑑査員	地方商工技師	白石岩太郎
福岡縣	商工技師	小池岩太郎

一、總數

第三節 鑑査及審査成績

大分縣	地方商工技師	加地卓一
佐賀縣	全	一條茂喜司
熊本縣	全	田島蕃樹
宮崎縣	全	梨本正太郎
鹿兒島縣	全	谷崎正人
沖繩縣	技手	浦北勝二

品 種 別	鑑 査		審 査		陳 列 數
	出 品 數	不 合 格 合 格	出 品 數	不 合 格 合 格	
布 帛	一三二	一六五	一〇八	一〇八	二一〇
窯 業	三六一	一七五	四六六	二四二	二四六
漆 工	四三二	一四五	四一七	三〇三	四一七
金 工	一四二	一三三	一四五	三六八	一四五
木 竹	二八〇	二四七	三八九	三九九	二八九
人 員 數	二八〇	二四七	三八九	三九九	二八九

四、大分縣

品 種 別	計								品 種 別
	雜 計	綜 合	木 竹	金 工	漆 工	窯 業	布 業	帛 業	
	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	
出品數	一三〇	二	一	六八	二	三二	二四	一一	鑑
不合格	六一	八二	一二	二二	二二	〇七	二四	一一	數
合格	二五	一一	二	二四	一四	二八	一一	三	不合
格	五七	一一	二	一四	一四	二八	一一	三	格
查	二	二	一	四三	二二	二一	一一	一一	查
格	八八	七〇	一二	一八	二二	八九	一一	一一	格
審	二	二	一	四三	二二	二一	一一	一一	審
數	八八	七〇	一二	一八	二二	八九	一一	一一	數
不合	二	一	二	二二	二二	二一	一一	一一	不合
格	五六	五八	一二	六三	二二	二一	一一	一一	格
合	七〇	五八	一二	六三	二二	二一	一一	一一	合
查	二二	二二	二	一一	一一	一一	一一	一一	查
格	四四	二二	二	五五	一一	七七	一一	一一	格
陳 列 數	二	二	一	四三	二二	二一	一一	一一	陳 列 數
	八八	七〇	一二	一八	二二	八九	一一	一一	
	一四	七〇	一二	一八	二二	八九	一一	一一	

五、佐賀縣

品 種 別	計								品 種 別
	雜 計	綜 合	木 竹	金 工	漆 工	窯 業	布 業	帛 業	
	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	人 員 數	
出品數	二〇					二〇			鑑
不合格	七四					五一			數
合格	四					四			不合
格	九七					九七			格
查	一					一			查
格	一五					一五			格
審	八七					六四			審
數	一五					一五			數
不合	八七					六四			不合
格	一四					一四			格
合	六五					五三			合
查	一一					一一			查
格	二二					二二			格
陳 列 數	一					一			陳 列 數
	一五					一五			
	八七					六四			

六、熊本縣

品 種 別	鑑		品 種 別
	出 品 數	不 合 格	
	合 格	查	
	出 品 數	不 合 格	
	合 格	查	
	陳 列 數		
	二〇		二〇
	七四		五一
	四		四
	九七		九七
	一		一
	一五		一五
	八七		六四
	一五		一五
	八七		六四
	一四		一四
	六五		五三
	一一		一一
	二二		二二
	一		一
	一五		一五
	八七		六四

品 種 別	布 業 人 員 數	窯 業 人 員 數	漆 業 人 員 數	金 業 人 員 數	查		陳 列 數
					出 品 數	不 合 格	
	二 三六	一 二三					
	二 三六	一 二三					
	二 三三	一 二一					
	三 三三	二 二二					
	二 三六	一 二三					

八、鹿兒島縣

計	雜 業 人 員 數	綜 合 人 員 數	木 竹 人 員 數	金 工 人 員 數	漆 工 人 員 數	查		陳 列 數
						出 品 數	不 合 格	
	二 四二	一 一九	一 一九	一 一二	一 一二			
	二 四二	一 一九	一 一九	一 一二	一 一二			
	二 四二	一 一九	一 一九	一 一二	一 一二			
	二 四二	一 一九	一 一九	一 一二	一 一二			
	二 四二	一 一九	一 一九	一 一二	一 一二			

品 種 別	布 業 人 員 數	窯 業 人 員 數	查		陳 列 數
			出 品 數	不 合 格	

七、宮崎縣

計	雜 業 人 員 數	綜 合 人 員 數	木 竹 人 員 數	金 工 人 員 數	漆 工 人 員 數	窯 業 人 員 數	布 業 人 員 數	查		陳 列 數
								出 品 數	不 合 格	
	一 三〇	二 五七	四 七九	一 一八	三 八四	四 八八	一 二二			
	四 八三	一 二九						二 七	三 一	一 一六
	一 二二	三 三八	四 七九	一 一一	二 六七	三 五七	一 一五			
	一 二二	三 三八	四 七九	一 一一	二 六七	三 五七	一 一五			
	一 一四	二 二七	四 五七		二 二二	三 一三	一 一四			
	一 三三	一 一一	二 二二	一 一一	四 四四	四 四四	一 一一			
	一 二二	三 三八	四 七九	一 一一	二 六七	三 五七	一 一五			

觀覽人員	參商 考工 品省	計						縣名	出品人員	出品点数	推薦賞	特選賞	有功賞	備考	
		沖鹿宮熊佐大福長	兒	繩島崎本賀分岡崎	縣	名	出品人員								
三三一七人	一九三點	一九五	一六	一三	二二	一九	八一	二八	二五	九四	一五	三三	三三	三三	一、推薦賞 新規製品ニシテ輸出品トシテ適當ナルモノ 二、特選賞 技術優秀ニシテ改善ノ跡顯著ナルモノ 三、有功賞 工藝振興上有効ナルモノ 四、工藝ニ關スル官公立ノ指導所又ハ研究機關ノ出品物ニ對シテハ審査ヲ行ハズ
		九四八	五五	七三	二二	一七	二八	一五	七四	一九	一三	一五	一四	一四	

一、受賞及出品狀況ノ一
 第四節 受賞及出品狀況

計	雜
八員數	八員數
五七六	
一一	
五六五	
五六五	
四九	
四六	
五六五	

品種別	九、沖繩縣					
	綜	木	金	漆	窯	布
合竹工工業帛	人点	人点	人点	人点	人点	人点
員數	員數	員數	員數	員數	員數	員數
出品數				四三	一四	
不合格					一	
合格				四三	一三	
出品數				四三	一三	
不合格				三	一〇	
合格				三五	一一	
陳列數				四三	一三	

計	雜綜合木			
	人点	人点	人点	人点
員數	員數	員數	員數	員數
一七二				三七
一三				一三
一七三				三六
一七一				三四
六九				三二
七七				二二
一七一				三六

二、受賞及出品状況ノ二

外國市場蒐集參考品 商工省 貿易局
米國育紐蒐集品

出納番號	市場番號	品名	數量	外貨	邦貨	備考
二、七二六	一	コンバクト	一ケ	〇、九四	三、二九	木工
二、七二八	三	洋服	一九枚	一、二六八	四、四三八	
二、七一九	四	洋盆	一ケ	〇、五〇	一、七五	
二、七二二	七	盆	一	一、五〇	五、二五	金
二、七二四	九	水盆	一	三、五〇	一、二二五	練物
二、七二七	二	盆	一	一、五八	五、五三	
二、七二八	三	赤盆	一	一、三九	四、八七	
二、七二九	四	赤盆	一	〇、一六	〇、五六	
二、七三〇	五	白盆	一	〇、三四	一、一九	
二、七三一	六	女帯	一	三、〇〇	一、〇五〇	
二、七三四	九	女帯	一	二、九五	一、〇三三	
二、七三五	〇	女帯	一	〇、九五	三、三三	
小計						
			一二點			

倫敦蒐集品

二、七四〇	一	盆	一	一〇、〇六	九、〇〇	
二、七四一	二	盆	一	七、〇六	六、四三	
二、七四三	四	テーブル掃キ及受皿	一組二ケ	六、〇九	五、七九	
二、七四九	〇	書箋	一	一、二〇六	二、七八六	
二、七五一	二	灰皿	一	五、〇六	四、七一	
二、七五四	五	バター皿ナイフ付	二ケ一組	六、〇六	五、五七	
二、七五六	七	蠟燭	一	一〇、〇六	九、〇〇	
二、七五七	八	チーズ、バター	一	五、〇六	四、七一	
二、七五八	九	蠟燭	一	六、〇六	五、五七	
二、七五九	〇	ハンド、パツグ	一	一、九一	一、七〇七	
小計						
			一〇點			

埃國納維蒐集品

二、七六一	一	ペンキ繪皿	一ケ	六、〇〇	三、九四	木
二、七六三	三	木製塗箱	一	一、五〇	七、五四	木
二、七七〇	〇	煙草消シ	一	八、〇〇	五、二五	木、金綜合
二、七七二	一	七寶灰皿	一	一六、〇〇	一〇、四九	金
二、七七七	二	クローチ	一	一八、〇〇	一一、八一	金
二、七七九	七	ベルト	一	七、五〇	四、九二	木、金綜合
二、七七八	九	ベルト	一	七、五〇	四、九二	雜
小計						
			一〇點			

二、八八二	二、八八三	二、八八五	二、八九二	二、八九三	二、八九四	二、八九五	二、八九六	二、九〇二	二、九〇三	二、九〇四	二、九〇六	二、九〇九	二、九一〇	二、九一一	二、九一三	二、九一四	二、九一五	二、九一七	二、九二二	二、九二三
一〇	一一	一三	二〇	二一	二二	二三	二四	三〇	三一	三二	三四	三七	三八	三九	四一	四二	四三	四五	五〇	五一
花	硝子	硝子	塗	塗	塗	煙	刻	灰	長	帽	塗	裁	調	味	ベ	テ	煙	裂	地	帖
瓶	張	盆	皿	皿	盆	盆	草	入	手	掛	盆	入	箱	入	皿	掛	入	本	帖	帖
一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ	一ケ
一三、〇〇〇	二、五〇〇	一、六〇〇	二、三三〇	〇、七〇〇	〇、五〇〇	一、二二五	二、二二五	二、九〇〇	四、七五〇	〇、三三〇	五、五〇〇	一、三三〇	四、五〇〇	〇、六五〇	〇、七〇〇	六、八八〇	六、三三〇	一、九六五	五、八九四	一、四七四
一八、二五〇	三、五一一	二、二二五	三、三〇〇	〇、七〇〇	〇、四二〇	一、七五〇	三、一六〇	四、〇七〇	六、六七〇	〇、四九〇	七、七二〇	一、九〇〇	六、三三〇	〇、九一〇	〇、七〇〇	六、八八〇	六、三三〇	一、九六五	五、八九四	一、四七四
金	金	木、硝子綜合	金	金	練物	金	金	金	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木



二、八八一	二、八八〇	二、八七六	二、八七四	二、八七三	二、八七三	二、八五四	二、八五八	二、八六三	二、八六四	二、八六六	二、八六七	二、八七二	二、八四六	二、八四七
九	八	四	二	一	一	五	一	一	一	一	一	一	六	七
茶	呼	ナ	ク	玩	玩	七	七	紙	紙	玩	玩	紙	紙	ボ
道	呼	フ	ナ	具	具	寶	寶	工	工	具	具	工	工	ール
具	具	キ	キ	馬	馬	小	小	額	額	額	額	額	額	製
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	盆
部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	盆
分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	分	盆
六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ	ケ
組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組	組
五、 ^{馬克} 一〇〇	二、四五〇	一、七五〇	四、五〇〇	五、 ^{馬克} 一〇〇	二、四五〇	一、七五〇	四、五〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	一、二五〇	〇、七五〇
七、 ^四 一六	三、四四	二、四六	六、三二	七、 ^四 一六	三、四四	二、四六	六、三二	七、 ^四 一六	三、四四	二、四六	六、三二	七、 ^四 一六	一、〇八	〇、六五
木	金	金	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	雜	金
硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付	硝子碗付

伊太利羅馬蒐集品

二、九二九	一	革製名刺入	一	二〇、〇〇〇	三、六九	革製
二、九三〇	二	革製名刺入	一	三〇、〇〇〇	五、五四	革製
二、九三一	三	革製名刺入	一	一五、〇〇〇	二、七七	革製
二、九三二	四	絹裂地	一	五、四五	一、〇六	
二、九三三	五	絹裂地	一	四、九五	〇、九一	
二、九三四	六	絹裂地	一	一六、七五	三、一三	
二、九三五	七	バク	一	一二、五〇	二、二二	セルロイド金屬線
二、九三六	八	ボン	一	五五、〇〇	一〇、一五	木
二、九四一	一三	白粉	一	二八、〇〇	五、一七	木
二、九四五	一七	ビーズ	一	三〇、〇〇	〇、五五	
二、九四六	一八	ク	一	一五、〇〇	二、七七	
二、九四七	一九	小首	一	三〇、〇〇	〇、五五	
二、九四八	二〇	籠飾	一	一五、〇〇	二、七七	

小計 一三點

佛國巴里蒐集品

二、九四九	一	船形喫煙具	一	八五、〇〇	一三、九〇	木、金綜合
二、九五七	九	匙	一	一八、〇〇	二、九四	金
二、九五八	〇	皿	一	四五、〇〇	七、三六	金

小計 一三點

二、九六一	一三	染色盆	一	二一、〇〇	三、四四	金
二、九六四	一六	リキユールセット	一組六ヶ	三五〇、〇〇	五七、二五	硝子
二、九七一	二二	額	一	二一、〇〇	三、四四	木
二、九七四	二六	盆	一	五二、〇〇	八、五一	木
二、九七七	二九	ポール	一	八、〇〇	一、三一	ポール製
二、九七八	三〇	ク	一	一一、五〇	一、八八	ポール製
二、九七九	三一	緑色盆	一	五九、八〇	九、七八	ポール製
二、九八一	三三	リ	一	九、二五	一、五一	
二、九八二	三四	ク	一	九、五〇	一、五五	
二、九八九	四一	薬味挽キ	一	一〇、〇〇	一六、三六	木、金綜合
二、九九一	四三	ポール塗筆入	一	一三、五五	二、二二	ポール製
二、九九三	四五	ク	一	九、一〇	一、四九	ポール製
三、〇一〇	六二	縁塗煙草箱	一	一六〇、〇〇	二六、一七	金
三、〇一四	六六	砂糖入	一	九五、〇〇	一五、五四	木、硝子綜合
三、〇一七	六九	ラツカー白粉入	一	五〇、〇〇	八、一八	木
三、〇一九	七一	鳩置物	一	一五〇、〇〇	二四、五四	木
三、〇二一	七三	革張トランプ入	一	一四〇、〇〇	二二、九〇	木
三、〇二二	七四	イシ	一	四五、〇〇	七、三六	金
三、〇二九	八一	刻煙草入	一	二五、〇〇	四、〇九	金
三、〇三六	八八	魚模菓子箱	一	一〇〇、〇〇	一六、三六	紙
三、〇三七	八九	鳥模菓子箱	一	五五、五〇	九、〇八	紙

小計 二四點

試作参考品

番 號	品 名	數 量	備 考
七三九	ボンボン入	一ケ	寄木應用工藝品
九八七	毛糸玉ホルダー	一ケ	小木工藝品
八一五	シガーカップ	一ケ	寄木應用工藝品
九五〇	シガレットポラクス	一ケ	〃
一一一八	新聞雜誌入	一ケ	木通蔓應用工藝品
一一二四	リキールセット	一ケ	コップ六ビン一
一一二五	ビール籠	一ケ	木通蔓應用工藝品 (ビン二付)
七九九	果物籠	二点	藤應用工藝品
八〇〇	果物盛	一ケ	ステンレス應用工藝品
一一八三	角盛	一ケ	〃
一一七七	灰皿	一ケ	〃
一一八七	レモン絞り	一ケ	〃
一一八八	洋酒キャビネット	一ケ	漆皮應用工藝品 コップ六ビン二シエーカー一
一一四七	チーズ入	一ケ	漆器様地ノ研究試作品 防濕塗料注入ノモノ
一一四一	小筥	一ケ	〃
計		一七點	

試作参考品

番 號	品 名	數 量	備 考
一	サーベス皿 金欄手菊畫	一	
二	全 色繪落葉模様	一	
三	全 陶試紅金彩藻魚汝	一	
四	全 染付日本風景	三	
五	菓子皿 紙型魚模様	二	
六	全 角形交跡	一	
七	全 長方形ゴム版魚模様	一	
八	果物皿鳥形染付	二	
九	花瓶 染付鶉模様	一	
一〇	花盛 定窯	一	
一一	花瓶 黄釉角	一	
一二	掛花生金欄手熨斗形	一	
一三	置物 カハウソ	一	
一四	全 龜釉彩	一	
一五	灰皿 蛙釉彩	一	
一六	ボンチャイナ一、照明具兎	一	
一七	全 コーヒー碗皿	三	
一八	全 花盛	一	
一九	陶器辰砂灰皿葉形	一	

有功賞			推薦賞			有功賞		
全	全	全	全	全	全	全	全	全
罐詰セット	ナイフ置 ケーキ皿	菓子器 ビール呑	飾り壺	ケーキ皿	指輸入	頸飾入	罐詰セット	指洗ヒ
一組	半打	一	一	一組	一	一	一組	一
二、〇〇〇	六、〇〇〇	三、五〇〇	二、〇〇〇	一五、〇〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇
全	口石 猶衛	今村三之助	全	辻繁治	中里森三郎	全	深野勝壽	今村壽一郎
全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全上	全	全上	全上	全上	全上	全上	全上
	六八五		八四〇	八七五ノ一	八三〇	八二〇	九四五	
								東彼杵郡折尾瀬村八四八
								東彼杵郡上波佐見町

特選賞				推薦賞			龜甲	
全	全	全	全	全	全	全	全	全
花瓶	三ッ揃	洋酒セット	ベリーセット	文房具セット	洋酒セット	ベリーセット	鉢	眞珠入カラー止
二	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組	一組
全	全	非賣	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	四、〇〇〇	五、〇〇〇	九、五〇〇
全	全	長崎縣窯業所	今村成規	上田廣次	全	家波佐見高等	波田勳平	菊地堅一
全	全	東彼杵郡上波佐見町	全上	全上	全上	全上	全上	全
			五六九	七三				長崎市麴屋町五二
								東彼杵郡下波佐見村三九一
								上波佐見町一五一
								二、二八五
								松尾三一
								小柳吉藏
								全
								福重武次郎
								全
								全
								全
								全
								全
								全

有功賞	推薦賞	特選賞
全 塗物	全 金工	全 金屬
元込根堀ステッキ仕込 二間半六 本次 鐵網花模様 菓子器 葡萄模様 サイダ盆 金魚模様白粉入 椿花模様 白粉入 洋花模様 白粉入 三葉模様 白粉入 春圖 白粉入 ケーキボール	全 籃胎漆器 手付果物盛 竹ニギリ付 給仕盆 No.1 全 No.3 手付 小皿 飲物運セット 長角給仕盆 長隋圓 龜甲コーヒ盆 ベリーセット 全 平皿	
一	一	一組
五、五〇〇 八、〇〇〇 五、〇〇〇 三、五〇〇 三、〇〇〇 三、五〇〇 二、〇〇〇 一、五〇〇 一、二〇〇 一、一〇〇 二、〇〇〇 七、〇〇〇 一、四、五〇〇 一、四、五〇〇 四、二〇〇 七、五〇〇 一、三、五〇〇 九、五〇〇	全 浮羽工業學校 全 赤松商店 全 宮崎政一 全 八幡市上本町一丁目	全 浮羽郡田主丸町四六五 全 久留米市米屋町二一

推薦賞	特選賞	有功賞
全 玩具	全 漆器	全 紙器
カフス釦 Aゴールドグラス 花生 B銀チラシ茄子形 C赤ヒビ焼 灰皿 A黒色 B赤ヒビ焼 果實盛 菓子器 ゴールドグラス 杯洗	全 象 ライオン 熊 豹 豚 籃胎漆器 應用盆 皿敷 ナフキン ケーキ受 懐中鏡 車上用 元込櫻塗ステッキ 二間半六本次	全 金物 ステッキ 釣竿
一	一	一包
一、〇〇〇 一、五〇〇 八、〇〇〇 二、五〇〇 一、五〇〇 二、五〇〇 七、五〇〇 八、五〇〇 七、五〇〇 非賣 八、〇〇〇 非賣 八、〇〇〇 全 八〇〇 全 八〇〇 全 八〇〇 全 八〇〇 全 一、〇〇〇 非賣 一、〇〇〇 七、〇〇〇 二、〇〇〇	全 寺崎勝藏 全 中島祥晴 全 久留米市蟹川町六〇 全 久留米市篠山町一九七 全 福岡市明治町 全 八幡市西通町一丁目 全 小倉市日明町三〇四	全 松本順六 全 鈴木興三郎 全 田中屋本店 全 川崎桂次 全 久留米市篠山町一九七 全 福岡市明治町 全 八幡市西通町一丁目 全 小倉市日明町三〇四

大分縣

受賞品名	數量	價額	出品者名	出品者住所
白竹盛籠	一	七、五〇〇	岩尾直	別府市永石通八丁目
藤製切花入	一	九、五〇〇	井坂良一	別府市羽衣町
漆器應用 白竹盛籠	一	一〇、〇〇〇	日高篤馬	全
竹製厨籠	一	二、一〇〇	白石美穂	全
竹製電氣スタンド	一	五、〇〇〇	實山十三日	別府市南町庚申佛
竹製植木鉢カバー	三ケ一組	七、五〇〇	財津元	別府市朝見町三九四七
白竹應用盛籠	一	三、五〇〇	門田二郎	別府市朝見區
漆器應用 白竹盛籠	一	一〇、〇〇〇	日高壽馬	別府市羽衣町
菓子器	三ケ一組	三〇、〇〇〇	安部英吉	別府市上野口
ボンボン入	五	三五、〇〇〇	全	全
全	二	八、〇〇〇	全	全
竹人形	一	四、五〇〇	全	全
竹製バツクル	四	一、二〇〇	山本勇	別府市永石通三丁目
漆器應用 竹製蕨入	一	一、〇〇〇	賤津元	全
竹製金屬應用 ベタ入	五	九〇〇	河村鐵治	別府市露温泉前
金屬應用 菓子器	一	二〇、〇〇〇	日高壽馬	別府市羽衣町
蕨入	一	三、〇〇〇	全	別府市濱町
全	一	四、五〇〇	全	別府市住吉町
全	一	六、〇〇〇	全	全

特選賞	推薦賞	竹製品	數量	價額	出品者名	出品者住所
全	全	竹製ベン皿	一	二、〇〇〇	堀淳一	別府市
全	全	竹製應用蕨入	一	二、五〇〇	全	別府市
全	全	白粉入	三	六、〇〇〇	小田光雄	別府市
全	全	木製蕨入	二	七、〇〇〇	安達久生	別府市松原通五丁目
全	全	木製小宮	二	九、〇〇〇	小田光雄	別府市
全	全	竹製 カウスボタン	二	二、〇〇〇	荒金保	別府市此花區
全	全	ハンカチ小宮	一	五、〇〇〇	淺見真吾	別府市北石垣
全	全	白粉入	二	七、〇〇〇	佐藤憲一郎	別府市御幸通り
全	全	盆	一	一七、〇〇〇	江門藤三郎	別府市朝見區
全	全	アイスケーキ セット	一	一七、〇〇〇	安部秀夫	別府市御幸通二丁目
全	全	ティテール	一	一〇、〇〇〇	後藤秀繁	別府市此花町
全	全	コーヒ盆	二	二、〇〇〇	長野繁	別府市朝見町三九四七
全	全	木製小宮	一	一〇、〇〇〇	全	別府市北石垣
全	全	白竹應用盛籠	一	八、〇〇〇	後藤真吾	別府市不老町
全	全	竹製盛籠	一	五、〇〇〇	實山十三日	別府市朝見町三九四七
全	全	白竹應用盛籠	一	五、〇〇〇	全	別府市朝見町
全	全	籃胎カラ入	一	三、五〇〇	全	全
全	全	全	一	九、〇〇〇	千馬萬吉	別府市松原

		特選賞																						
		竹製	寶舟	オランダ舟	白竹製盛籠	白竹黒竹 入盛籠	白竹夏目形 盛籠	テールセルセンター	クツシヨ	象と黒人	小舟	全	全	全	全	全	全	全	全	綜合品	木製品	全	竹製品	
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		釣花生	白竹盛籠	ツゲ製バツクル	ツゲ製真人	スクリンツゲ製	ツゲ製釘	電気スタンド	白竹丸型 釣花籠	竹人形奴	竹人形奴	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		五〇〇〇〇	三、五〇〇	一〇〇〇〇	三〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二二〇〇〇	一一、五〇〇	九〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	八〇〇〇〇	三五〇〇〇	一一五〇〇	一一五〇〇	二〇〇〇〇	一、五〇〇	六〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四〇〇〇〇	四、五〇〇	二、五〇〇	二五〇〇〇	二〇〇〇〇
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		別府市永石通八丁目	岩尾竹籃工場	全	全	全	竹本成美	全	全	全	全	全	全	全	全	松本金三郎	中田春子	全	全	全	全	全	全	今富秀二
		全	全	全	全	全	別府市柳町	全	全	全	全	全	全	全	全	別府市旭通九丁目	全	別府的ヶ濱	全	全	全	全	全	別府市北濱町八一八

		特選賞																						
		竹製人形	大黒瑞福	エビス瑞福	安來師	毛槍持奴	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

特選賞	漆	人形型 ボンボン入五號 全	三五〇	吉田福彌	大分市役所産業課
	全	シガー入 レース張線ト海老茶色 六號	七〇〇	全	全
	全	シガー入 漆分	三、七〇〇	阿部寅吉	大分市下柳町
	全	シガー入 波形摘附洗朱色漆	三、七〇〇	全	全
	全	シガー入 赤魚摘附黒色漆	三、七〇〇	全	全
	全	シガー入 圓柱形黄色漆	三、七〇〇	全	全
	全	菓子器 赤色漆線模様	四、二〇〇	全	全
	全	インクスタンド 兼ペン皿	六、二〇〇	全	全
	漆、金	組立式本立	三、二〇〇	阿部精一	全
	全	ビール盆 漆朱ト黒漆	四、七〇〇	全	全
	全	白粉入 椀形赤色漆	二、二〇〇	全	全
	全	白粉入 黄ト茶色漆分	二、二〇〇	全	全
特選賞	木	コーヒー盆 (寄木張)	六、五〇〇	安部貞章	大分市大手通
	全	コーヒー盆 (八角形)	七、五〇〇	清田貞夫	大分市南新町
	全	丸形シガー入 (寄木張)	六、八〇〇	安部貞章	大分市南新町
特選賞	全	シガー入 (抽出式)	六、〇〇〇	木部甚輔	大分市長池町
	木、金	八角形毛糸入器	七、八〇〇	宮崎龍美	大分市南新町
	竹、漆	竹、漆應用ペン皿	二、二〇〇	工藤嘉七郎	大分市名ケ小路町
	竹、木、漆	木竹製吸取器	三、〇〇〇	前田隆司	大分市西上市町
	竹、漆	竹製ペトバーナイフ	一、〇〇〇	全	全
	木、漆	ビール盆	四、〇〇〇	宮崎龍美	大分市南新町
	木、漆	カラー入	七、〇〇〇	木本甚輔	大分市大道町

有功賞	木	コーヒー盆	六、五〇〇	小野松男	大分市金池町
	全	七島細工 金巻ステッキ	六、五〇〇	安部萬章	大分市大手通
	全	七島細工 ステッキ	六、〇〇〇	衛藤萬平	大分市大道町五〇〇
	全	七島細工 手提籠	一、六〇〇	全	全
	全	七島細工 靴敷	二〇〇	全	全
	全	長手盆	五、五〇〇	榎本村太	中津市魚町
	全	果物盛	四、五〇〇	全	全
	全	花立	四、〇〇〇	全	全
特選賞	全	小箱	三、〇〇〇	全	全
	全	巻賣入	五〇〇	全	全
	全	葉巻入	七、五〇〇	廣畑政利	中津市古魚町一六四一
	全	書翰セット	九、〇〇〇	全	全
	全	巻煙草入	一、四〇〇	中津市工業科	中津市中神町
	全	松皮細工	一、四〇〇	全	全
有功賞	竹細工	全	非賣品	全	全
	松皮細工	全	一、五〇〇	全	全
	寄木細工	全	五〇、〇〇〇	友松秀峯	中津市殿町
	全	ストープ前衝立	三三、〇〇〇	井手善一	日田郡日田町
	全	彩漆花文 乾漆花瓶	五五、〇〇〇	全	全
	全	彩漆乾漆 花器	二七、〇〇〇	佐藤益吉	全
	全	乾漆八角 花器	三〇、〇〇〇	石橋伊三郎	全
	全	乾漆遊環付 黒花器	三〇、〇〇〇	全	全
	全	乾漆百合 花瓶	三〇、〇〇〇	森山松郎	全

特選賞	特選賞	特選賞	有功賞	推薦賞	有功賞	陶磁器
全	全	全	全	全	全	全
箱入 錦大机大形ツエリセット 置物文鎮魚	箱入 床置殿上の鷹 箱入 錦トノボ蓮繪灰皿 箱入 錦桐鳳凰繪花瓶 箱入 錦藤繪大花瓶 獅子畫花生 古伊萬里寫シ 壺	飾地文山水 桶形花器 鳳凰雲詰 六寸花生 山水水指シ 浪千鳥茶壺 團扇立	婦人用飾釦 南天 磁製アローチ 磁製カフス釦	灰皿魚游 全	婦人用飾釦 ニツ菱形 全 テマリ大	置物文鎮蛙 灰皿 六ツ輪付 辰砂釉花器 四ツ輪付 辰砂釉花器 櫻花縁 辰砂釉花器 花器 花盛器 灰皿竹 灰皿椿 カフス釦 ブドー カフス釦 骸骨 全 トマト 全 柿 カフス釦 飾ボタン 全 染付果物セット 白雲磁(神使猿) 奉公置物 仿柿右衛門風 大水呑 全 シガー灰皿 釉裏紅靈鳥紋 飾リ皿
一	一	一	一	一	一	一
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平
全	全	全	全	全	全	全
佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽

特選賞	特選賞	特選賞	有功賞	特選賞	陶磁器
全	全	全	全	全	全
箱入 錦大机大形ツエリセット 置物文鎮魚	箱入 床置殿上の鷹 箱入 錦トノボ蓮繪灰皿 箱入 錦桐鳳凰繪花瓶 箱入 錦藤繪大花瓶 獅子畫花生 古伊萬里寫シ 壺	飾地文山水 桶形花器 鳳凰雲詰 六寸花生 山水水指シ 浪千鳥茶壺 團扇立	婦人用飾釦 南天 磁製アローチ 磁製カフス釦	灰皿魚游 全	婦人用飾釦 ニツ菱形 全 テマリ大
一	一	一	一	一	一
一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平	久間 瑩平
全	全	全	全	全	全
佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽	佐賀縣西松浦郡中樽

推薦賞	受賞	特選賞	有功賞
全	品種	磁器	磁器
全	陶器	布帛	木工
全	漆工	綉彩縹模樣 果物盛	染錦地紋 ボンボン入
全	全	連管一輪生	透模樣花生
全	全	鑄線草紋 果物皿	面(假裝行列用)
全	全	面(能面)	鍋島緞通
全	全	辰砂釉花瓶	
全	全	獅子紋青磁花瓶	
全	全	果物器	
全	全	流シ釉壺	
全	全	卓上花挿	
全	全	雜灰皿	
全	全	四方盆	
全	全	銘々盆	
全	全	煙草入	
全	全	六角盆	
全	全	香卓	
	熊本縣名		
	品名		
	點數		
	價額		
	出品者名		
	出品者住所		
	熊本市南千反畑町		
	熊本縣商工水産課		

推薦賞	品名	點數	價額	出品者名	出品者住所
全	墨彈獅子尺口 花瓶	一	六五、〇〇〇	香蘭合名會社	佐賀縣西松浦郡有田町二宮
全	枝垂櫻瓢形 花瓶	一	四五、〇〇〇		
全	三彩釉六寸 花瓶	一	五〇、〇〇〇		
全	大白唐獅子 置物	一	七〇、〇〇〇		
全	鷹インセンス焚	一	一〇〇、〇〇〇		
全	光線菱模樣 珈琲碗皿	六	九、五〇〇		
全	花形地紋紅茶碗	六	一五、〇〇〇		
全	染錦葉紋 ケーキ皿	六	八、〇〇〇	佐賀縣窯業指導所	
全	花盛器	一	六、〇〇〇		
全	鑽模樣 紅茶碗皿	六	五、〇〇〇		
全	花模樣 紅茶碗皿	六	六、〇〇〇		
全	變形一輪生	一	三、五〇〇		
全	冷水セット	一	五、〇〇〇		
全	ペン皿	一	二、五〇〇		
全	染錦丸形 インキ壺	一	一、八〇〇		
全	鐵砂釉金彩丸形 インキ壺	一	一、五〇〇		
全	角形茶失透釉 インキ壺	一	一、五〇〇		
全	角形縹模樣 インキ壺	一	一、五〇〇		
全	花模樣 灰皿	二	二、〇〇〇		
全	大目釉 灰皿	一	一、〇〇〇		
全	流線形 灰皿	一	一、〇〇〇		
全	綉彩蟹紋 果物盛	一	六、〇〇〇		
	佐賀縣窯業指導所				

受賞	有功賞	品名	品種	鹿兒島縣	出品者住所
		葉巻入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		櫛入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		パン立	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		果物入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		ビール台	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		燭台	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		菓子皿	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		白竹製新聞雜誌入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市加治屋町
		青竹製新聞雜誌入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市加治屋町
		着色製新聞雜誌入	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市加治屋町
		盛器	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市平之町
		大、中、小組物	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		六角盛籠	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		小箱	竹製	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		ボンボン入	竹器	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		コーヒー盆	竹器	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		半打組	竹器	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		手付菓子入	竹器	鹿兒島縣	鹿兒島市南林寺町
		錫製卓上ライター	金屬	宮崎市旭町三八	宮崎市旭町三八
		竹帖小箱	竹工	延岡市三ツ瀨町	延岡市三ツ瀨町

推薦賞	受賞	品名	品種	宮崎縣	出品者住所
		全 椿模様 大	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全 瓊瑤模様 小	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		カラージュッキスレース張	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		立棒模様	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		カラージュッキスレース張チユリ	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		ツブ模様	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		ペン皿	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		煙草入	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		灰皿	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		皿付コップ	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		皿付コーヒー茶碗	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		桑盆	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		全	漆器	宮崎縣	熊本市上通町二〇
		錫製花生	漆器	宮崎縣	宮崎市旭町三八

特選賞	推薦賞
薩摩焼 全	全
水差セット	全
ゴンゾールセット	全
蓑入セット	全
刻煙草入さバイブ立	全
薩摩焼花盛器	全
電氣スタンド	全
プレスカードホルダーA	全
プレスカードホルダーB	全
花盛器	全
ケーキバスケット	全
ソウスボウト	全
灰皿	全
全	全
洋酒セット	全
パウダーボックス	全
アマンドケース	全
菓セット	全
バター入レ	全
白粉入	全
果物盛	全

一三、〇〇〇	七、五〇〇	五、七〇〇	五、〇〇〇	四、八〇〇	六、〇〇〇	五、〇〇〇	二、三、〇〇〇	七、五〇〇	六、五〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇	一、二、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	三、五〇〇	二、五、〇〇〇	二、八、〇〇〇	四、五〇〇	一、二、五〇〇	一、〇、〇〇〇	四、六〇〇
全	全	全	大	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	慶
			辻																		田
			宇																		泰
			吉																		輔
全	全	全	鹿	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	鹿
			兒																		兒
			島																		島
			市																		市
			東																		大
			千																		黒
			石																		町
			町																		八
																					七

特選賞	有功賞
全	竹器
全	ボンボン入赤塗
陶器	白粉容器
全	荳セット
全	竹板花台
全	四方削り手付花器
全	ハギ目組手花器
全	煤竹電氣笠
全	ステッキ
全	帽子掛
全	靴拭キ
全	黄楊製
全	バックル
全	カフス釦
全	薩摩焼
全	珈琲セット六枚揃
全	卵スタンド
全	レモンシポリ
全	雞頭酒器
全	花鳥模様額皿
全	透シ彫刻菓子器
全	彫刻透シ模様反入菓子皿

八、〇〇〇	八、〇〇〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇	一、六〇〇	四、〇〇〇	三、六〇〇	三、五〇〇	五、〇〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	七、〇〇〇	一、五〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	鹿
																					兒
																					島
																					市
																					南
																					林
																					寺
																					町
																					一

有功賞	漆器	莫入 U字型線	二、三〇〇	沖繩漆工藝組合	沖繩縣那覇市工業指導所内
全	全	金口莫入 空色格子	二、二〇〇	全	全
全	全	莫立	二、二〇〇	全	全
全	全	ネクタイ入 黒玉散	二、二〇〇	全	全
全	全	小箱 格子	二、四〇〇	全	全
全	全	小箱 變り型格子	三、五〇〇	全	全
全	全	魚型点散	一、八〇〇	全	全
全	全	カッブセット丸	六、〇〇〇	全	全
全	全	角	四、〇〇〇	全	全
有功賞	陶器	金口莫入 赤格子	二、二〇〇	全	全
全	全	鳥花文 電氣スタンド台	一、五〇〇	新垣榮徳	沖繩縣那覇市壹尾町一〇
全	全	人物文 電氣スタンド台	一、〇〇〇	全	全
全	全	唐草文 電氣スタンド台	五〇〇	全	全
全	全	横線 電氣スタンド台	五〇〇	全	全
全	全	灰皿 赤釉球手付	三、〇〇〇	沖繩縣工業指導所	沖繩縣那覇市
全	全	灰皿 赤釉魚形	一、〇〇〇	全	全
全	全	琉球南蠻焼 獅子耳龍巻花瓶	三、八〇〇	黒田英氏	沖繩縣那覇市天妃町二三四
全	全	熱帯魚透シ彫花瓶	四、五〇〇	全	全
漆器	全	丸型カラー入 附ボタン入	六、〇〇〇	琉球漆器工業組合	沖繩縣那覇市若狭町
全	全		六、〇〇〇	全	全
全	全		六、〇〇〇	全	全

第四章 審査講評及講演會ノ開催

第一節 審査講評及講演速記録

日時 昭和十二年七月二十日午後一時ヨリ
 場所 大分縣殖産館大廣間
 出席者 聯合各縣工藝關係職員及當業者約二百五十人

加地工業試験場長 是ヨリ開會致シマス、開會ニ先キ立チマシテ一言オ断トワリ致シマス。實ハ越野會長ガ出席スル筈デアリマシタガ御存知ノ如ク恰モ時局重大ナル關係上市町村長會議其他各團體會議等ヲ開ラクコトニナツテ居リマス關係上本席ニ列席スルコトガ出来マセンノハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ已ムヲ得ザル事情デアリマシテ不肖私ニ代表セヨトノ御命令ガゴザイマシタノデ私ガ代表スル次第デアリマス其ノ点快ヨク御承知ヲオ願ヒ致シマス。就キマシテハ此ノ九州沖繩各縣展覽會ハ第四回目ノ開會デアリマシテ本日其レニツキマシテ本席ヲ拜借致シマシテ審査長殿ニオ禮ヲ申シ上ゲタイト存ズルデアリマス。審査長殿ハ遠路暑サニモ拘ラズワザ／＼當地ニ御出張下サイマシテ連日ニ亘タリマシテ色々鑑査御査下サイマシタコトヲ衷心ヨリオ禮ヲ申シ上ゲマス、尙本審査ニツイテノ講評及講演ニツキオ願ヒ致シマシタ所直ニ御快諾下サイマシテ茲ニ本會ヲ開催スルニ至リマシタコトヲ衷心ヨリ重ネテオ禮ヲ申シマス亦各縣審査員各位ニ於カレマシテハ御遠路ノ所ヲ連日暑サニモ拘ラズ熱心ニ審査ニ携ハレマシテ無事ニ此ノ審査ヲ了致シマシタコトニツキ、茲ニ衷心ヨリ篤ク御禮ヲ申シ上グル次第デアリマス。尙ホ御出席下サイマシタ皆サンニ一言オ禮ヲ申シ上ゲマス。暑サニモ拘ラズ本會開催ニ當リマシテ斯ク多數御出席下サイマシタ各位ニ對シ敬意

ヲ表シオ禮ヲ申シ上グル次第デアリマス。

開會ノ時間ガ遅クレマシテ甚ダ恐縮ニ存ジマスガ已ムヲ得ザル事情ノタメ遅クレマシタ譯ケデ茲ニオ詫ビヲ申シ上
ゲル次第デアリマス。

夫レデハ是ヨリ開會致シマス。

審査長商工省商工技師谷内治橋氏ノ審査ニ批評並ニ講演ヲヤツテ頂キマス

審査長商工省商工技師谷内治橋氏

審査ノ報告ヲ致シマスニ先キ立チマシテ商工省ヲ代表シマシテ一言皆サマニ御挨拶ヲ申シ上ゲマス

九州沖繩各縣聯合試作品展覽會ヲ此ノ度ビ當地ニ開催サレルニ當リマシテ主催縣ノ方々縣當局ノ方々ハ勿論聯合各
府縣ノ營業者貿易業者ノ方々ガ非常ニ御熱心ニ御協力下サイマシタノデ御覽ノ通りノ展覽會ヲ開催スルニ至リマシタ
コトハ此ノ仕事ニ關係ヲ持チマス私トシテ非常ニ皆様ニオ禮ヲ申シ上ゲナケレバナラヌト思フノデアリマス。御承知
ノ如ク毎年全國的ニ色々ノ展覽會トカ博覽會トカ云フヤウナモノガ相踵デ開催サレマシテ向上ヲ見ツアルノデアリ
マスガ各縣ノ皆サンニ對シ出品ノ勸誘ヲ致シオ暑イニモ拘ラズ色々御懇談ヲ拜聽シ御出品ヲ拜見致シマシタガ新タラ
シイ試作品ニ御盡力下サイマシタコトヲオ禮申シマス本春私ガコチラニ參リマシテ二三才目ニカ、ラヌ方モアリマス
ガ大部分才目ニカカツタ方バカリデアリマスガ今回展覽會開催ニ當リマシテ再ビ審査長トシテコチラニ參ルヤウニナ
リマシテ昨日ト一昨日九州各縣ノ審査員ノ方々ト皆様ガ御苦心ニナツタ試作品ヲ拜見サセテ頂キマシタノデアリマス
ガ各縣ノ審査員ノ方々ノ非常ニ熱心ナル御協力ニ依リマシテ本日其ノ結果ヲ發表シ得ルニ至リマシタコトハ全ク審査
員ノ方々ノ御協力ノ賜モノデ厚クオ禮ヲ申シ上ゲタイト思ヒマス今回出品物ニ對シテ審査ヲ致シマシタ結果推薦賞特
選賞有功賞ノ三ツニ分カチマシテ品物ノ優劣ヲ表示シテゴザイマス出品物ノ總点数ヲ申シ上ゲマスト竹製品、陶磁器

漆器其他ヲ合セマシテ八百三十九点ノ出品ガアツタノデアリマス是ヲ出品セラレマシタ方カラ申シマスト百八十一人
ノ方々カラ此ノ展覽會ニ御出品ニナツタ譯デアリマス其レニ先キ程申シ上ゲマシタ三ツノ標準ニ依ツテ審査致シマシ
タ結果推薦賞十九特選賞三十三有功賞三十三合計八十五点ト云フ數字トナツタノデアリマス。御承知ノ如ク推薦賞ト
云フノハ新ラタニ出品セラレマシテ將來コウユウモノガ輸出品トシテ適當デアルト思ハレタモノヲ推薦ト云フ名前デ
表彰致シマシタ。特選賞ハ圖案其他製作上技術ガ立派デ優秀ナモノデアリ從來ノ技術モ非常ニ改善セラレ新タニ工風
セラレタ跡ガ能ク見ヘルヤウナモノヲ特選ト致シマシタ。有功賞ハ以上ノ如キモノヨリ更ラニ廣イ意味デアリマシテ
其ノ縣ノ仕事トシテ從來非常ニ努力ヲサレ其ノ縣ノ工業的点カラ非常ニ重要ナルハ勿論優秀ナモノデナケレバナリマ
セン。ソウユウヤウナ意味デ有功ト云フモノヲ定メタノデアリマス、所デ御覽ニナリマスト分カリマスガ今回ノ展覽
會ハ其ノ出品ノ選ビ方ト申シマスカ品物ノ良イトカ悪イト云フコトハ別トシテ甚ダ異ナツタト思フノデアリマス。オ
手許ニ極ク簡單ナ印刷物ヲ差上ゲテオキマシタカラ御覽ヲ願ヒマスガ此ノ九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會ト云フ
モノハ商工省デ特ニ各縣ノ皆様ニ御協力ヲ御願ヒスル譯ハ此ノ展覽會ハ品物ヲ賣ツテ儲ケルト云フコトガ直接ノ目的
デハナイノデアリマス、昨年モ私ハ此ノ展覽會ヲ扱ヒマシタガ工藝的仕事ノ改善其他ニツイテ指導シテ頂クコトモ直
接ノ目的デハナイノデアリマス能ク出品者ノ方々トコウユウモノヲ指導スル各縣ノ方々ト夫レヲオ扱ヒ下サル貿易業
者ノ方々ト私等ガ能ク懇談致シマシテ將來ドンナ風ニ工藝的ニ加工シタ品物ガ海外市場ニ出ルヤウニナルカソウユウ
風ナ改善ヲ目的トスル展覽會デアリマス。從ツテ其ノ展覽會ヲ御覽ニナツタ皆サマニ一言申シ上ゲテ置キタイノハ私
ノ意見ト其レヲ直接御取扱ニナル輸出業者ノ方々トノ見方ガ異ナルト思ヒマスガ意見ノ異ナルト云フコトハ理想デア
リマシテ意見ノ違ヒガアリマシテモ差支ナイコトデアリマス人ノ見方ト云フモノハ色々ナ点ニツキ異ナツテ居リマス
ガ是ヲ指導シテ頂ク方ト貿易ヲ扱ハレル方トデ其ノ出品ニツキ研究シテ行クト云フコトハ非常ニ良イコトデハナイカ

ト思ヒマス。總體的ニ技術的ニ比較シテ之ヲ批評致シマシテ攻メルモノハ改メテ行ク以上ノ様ニ廣ク意見ヲ聞イテ輸出業者ノ方ノ意見ヲ聞イテコウユウモノガ向フノ市場ニ向クトカ色々ノ批評ヲ聞キ色々販賣方法其他ニツキ研究スルト云フコトハ必要ナコトデアリマスノデ兩方ノ意見ヲヨクオ聞キニナリマシテ皆様ノ研究御參考ニシテ頂キタイ。此ノ点私カラモヨク皆様ニオ願ヒシテオキタイト思ヒマス。商工省トシテハコウユウ様ニ各府縣ニ聯合展覽會ト申シマスカ各地方々々ニ於テ展覽會ヲ七ツ開催致シマシタ。即チ御承知ノ方モアリマセウガ北海道東北方面ガ一ツ關東方面ガ一ツ北陸地方ニツ東海道方面ガ一ツ近畿方面ヲ一ツトシ中國四國及九州沖繩ト云フ風ニ**プロツク**ヲ設ケマシテ展覽會ヲ開催致シマシタ其ノ展覽會ノ内容ガ充分改メラレタカドウカハ別問題トシテ能ク此ノ工藝品ヲ研究スル、コウユウヤウナ意味ニ私共ガ考ヘテヨイト思ヒマス然シナガラ展覽會ノ結果ガドーユウ風ニナルカト申シマスト此ノ展覽會ハ生産者方面ノ意見ヲ充分聞イテ商品トシテ扱ハレル輸出業者ノ意見モ充分聞イタ上デ今後造クラレル品物ヲ改善シテ行ク此ノ点ガ大事ナ点デアリマシテソウユウヤウニ皆様ガ品物ヲ製作シテ頂キタイ商工省ハ御承知ノ如ク工藝展覽會ヲ毎年開催シテ其レニ出品シテ頂ダキ其ノ内ノ優秀ナモノヲ外國ニ持ツテ行ツテ日本ノ工藝品ノ展示會トカ或ハ展覽會ヲ開催致シテ居リマス昭和八年ニ**シカゴ**ニ第五回展覽會ヲ開催致シマシタガ要スルニ日本ノ工藝品ヲ紹介シテ幾分デモ多ク購買シテ貰フ即チ展覽會其ノモノ、目的ガ從來ノ市場ヨリ新ラタニ販路ヲ見付ケルト云フコトニ主タル目的ヲ置クモノデアリマシテ商工省トシテハコウユウ方面ニ工藝的仕事トシテ「**シカゴ**」ニ此ノ展覽會ヲ毎年春開催シテ工藝品ヲ紹介シテ來ツタノデアリマス亦工藝的仕事トシテ得意先キノ家族程度ヲ考ヘテソウユウ方面ノ仕事ニモ最も積極的ニ獎勵シナケレバナリマセン。各縣當局ノ御協力ニ依リマシテ斯ウユウモノヲ開催シテ居ルノデアリマス申シ上ゲルマデモナク日本ノ工藝的商品トシテ海外ニ出シタモノデ不可ナカツタモノ、理由、色々理由モアラウト思ヒマスガ惡イ安イト云フヤウナ傾向ニアツタヤウニ思ヒマス亦日本ノ商品ガ安イト云フ所カラ自分ノ産業ヲ保護スル意

味カラ色々櫛壁ヲ設ケテ自分ノ國ノ産業ヲ發達サセヨウトシテ關稅ヲ高カクシタリシマヌノデ安イト云フコトガ決シテ絶對的條件トハナラナクナリマシタノデ此ノ方面モ能ク研究シナケレバナラヌト思フノデマス。尙ホ茲ニ一言申シ上ゲテ置キタイコトハ此ノ展覽會ノ出品等ニツイテモ非常ニ立派ナモノデモ安イモノハ入賞シナイ、役人ト云フモノハ餘リ立派デナクテモ高級的ナモノヲ探ルト云フヤウナ考ヘラシテ居ラレル方ガ間々アラウト思ヒマスガ私共ハソウユウヤウナ事柄ニツキドーコウ云フノデハナク先キ程モ申シ上ゲタヤウニ工藝的技術トシテ誇リ得ルニ足ルヤウナ品ソウユウ物ヲ成ル可ク此ノ展覽會デ選ビマシタ關係上安イモノガ落チルト云フコトニハナラナイノデアリマスガ値段段ノ高イモノ高級的ナモノニ本當ノ技術ガ現ハレルト云フ結果トナルヤウニ考ヘルノデアリマス。商工省ガ展覽會ヲ開催スルニ方タリマシテモ値段段ガ安ク商品價値ノ高イモノ、ソウユウ物コソ私共ガ理想トシテ獎勵シナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス。ソウユウヤウナ意味デ今度ノ此展覽會ノ開催モ實ニソウユウ所ニアルノデアリマス。此ノ展覽會ノ開ラカレルノハ第四回目デアリマシテ其ノ内容モ充實シタコトハ確カデアルト思フノデアリマス其ノ出品トシマシテモ昨年ヨリ進歩シタヤウニ思ハレ各縣ノ技術ガ非常ニ伯仲シテ來タコトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス一回ヨリ二回乃至三四回ト會ヲ重ネル度ビニ技術ノ**レベル**ガ一般ニ高カクナリ各縣ガ非常ニ伯仲シテ技術ニ餘マリ優劣ノナイヤウナ傾向ニ進ンデ來ツタヤウニ思ヒマス。聯合展覽會ニ關係シテ居ル私トシテ特ニソウユウ事ヲ感ジタノデアリマス各府縣ノ展覽會ヨリ一層此ノ地方ノ展覽會ニ對シテ熱意ト申シマセウカ熱心ト云フヤウナモノヲ其ノ製品ニ見ラレルト云フコトヲ韓々ト私ハ感ジタノデアリマス、展覽會ニ出品サレタ内容ハ昨年ヨリ製品ハ減ツテ居リマスガ良クナツテ居ルモノガ多イ實ニ立派ナモノト云フヨリモ商品的ニ多少デモ賣レル様ナ商品的ノ物ガ此ノ展覽會ニ見ヘテ來ツタ様デアリマス是レハ今日マデ能ク聞ク所デアリマスガ、展覽會出品デ賞ハ貰ラツタガ一向賣レナイト云フ様ナ非難ヲ受ケルコトガアリマスガ是レハ多少技術的ニ關係ガアル結果ソウユウ風ニ御覽ニナルガモ知レマセンガ其ノ趣旨ハ決

シテソウユウ様ナモノデアリマセン各縣ノ品物ヲ一ワタリ拜見致シマス前ニ私ハ鑑査審査ヲ行ヒマス當時各縣ノ審査員ノ方々ト相談シテ居ルノデアリマス。ソコ造クラレタ品物ノ目標ガ違ツテ居ルト思ヒマス、私ハ此ノ品物ヲ賣ラウトシテ御造リニナルモノト、ソウユウ点ヲ考ヘズニ慢然ト何ニモ決メズニオ造リニナツタモノモアルヤウデアリマスガ是レハドウシテモ製作大綱トカ云ツタモノヲハツキリシテ置カレタイ勿論ソウユウモノガ必ズ賣ルデアラウト云フコトハ申シ上ゲラレマセンガ需要ヲ喚起スルト云フコトハ餘リ例ガナイノデ此ノ点ニ就イテモ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス。モ一ツハ滋味ト申シマスカ其ノ人デナケレバ能ク分カラナイヤウナノガ幾分アツタノデアリマスガ一ガイニ外國人ハ日本人程滋味ガ分カラナイト云フコトヲ聞キマス、夫レハ日本人ガ長イ踏襲ニ依リ特ニ滋味ノ如キモノヲ美ト云フコトニナツテ居リマスガ滋味ヲ含マレテ造クラレタハデナモノハ立派デハアリマスガ大衆向キデナイ商品ハ成ル可ク需要ノ多イ大衆向キニ依マルヤウニ御研究ヲ願ヒタイ夫レカラ此ノ展覽會デアリマセンガ色々新タニ造クルト云フコトカラ工藝出品ヲ新ラシク造ルタメニハ不便ヲ忍ンデマデモ形等ヲ變ヘルト云フ間違ツタ考方ガアルヤウニ見受ケラレマスガ此ノ製品ト云フモノハ實際ニ賣レル實用價值ノ充分アルモノヲ拵ヘルト云フコトガ必要デアリマス各縣ニ於テモ單ニ此ノ製品ヲ展覽會ノミニ造ルト云フ様ナ大キナ缺陷ガナイカト思フノデアリマス、其レカラ昔カラアツタヤウナ試作品モ見受ケラレルノデアリマスガ是等ニ對シテモ御注意ガ怠リ勝チノヤウニ思フノデアリマス夫レカラ其ノ次ニ一般ニ作品ガ堅タ過ギルト云フコトデアリマス、日本デ出來ル工藝品ハ仕事ニクダケタ感ジガナイ、是等ニツイテモ御研究ヲ願ヒタイ是等ハ國內的ノ商品デハナイカト考ヘタノデアリマス、是ハ各コトガ肝心デアアル材料ノ關係ニモ依ルト思ヒマスガ非常ニ毒ツイ色彩ヲ並ラベタモノモアリマスガ是ハ地方的ノ考ヘカラ來タモノモアルト思ヒマス、此ノ地方的ノモノヲ綜合製作シテ其ノモノヲ練ツテ甘ク應用スル亦其ノ地方々々ノ代表的ノモノ詰マリ、大分縣デ申シマスト竹製品ノ如キモノデ甘クナツタモノガ出テ居リマスガ私ハコウユウ異ナツ

タ色々ノ材料、竹トカ金屬トカラ巧ミニ應用シテ用途ニ適スル様工風シタモノガヨイト思ヒマス能ク地方ニ參リマスト何ンデモヨイカラ金屬デモ硝子デモ只タ單ニ綜合的ナ製品ガアリマスガ是レハドーカト思ヒマス只ダ綜合的材料ヲ使カツタダケデナク所謂適材適所主義ニ工風サレテ綜合製品ノ効果ノ現ハレルモノヲ考ヘル、コウユウ点ニツキ將來特ニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス。尙ホ九州各縣ハドノ地方デモ材料ハ豊富デアリマスガ其ノ製品ガドーモギコチナイ感ジガ致シマスガ、モ一少コシオトナシイ地方的ニモ其ノ製品ガモ一少コシ何ントカナナイモノカト思ハレルモノガアリマス非常ニ品物ガコリ過ギテ居ル傾向ガ一般ニアリマシテ申上ゲルマデセナク工藝ガ進ンデ來レバ來ル程一般ニ時代ノ流レト申シマセウカ竹材ニシテモ單純ナ形ヲ帶ビル傾向ガアルト思ヒマス之ハ能ク御記憶下サイマシテ將來御參考ニ願ヒタイト思ヒマス亦能ク調和スル材料ノ色調ト云フコトニツイテモ今後一層御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス品物全体ニツイテソウユウ様ナ感ジヲ致シタノデアリマス。

各縣ノ出品ノ大体ニツキマシテハ九州各縣聯合試作品展覽會ニ關シテハオ手許ニ廻ツテ居リマスカラ其レヲ御覽下サレバ大体各縣ノ御趣旨ガ能ク分カラウト思ヒマスガ長崎縣カラ申シマスト長崎縣ハ此ノ地方ノ特色漆器ベツ甲製品其他二三点出テ居リマスガ、矢張此ノベツ甲製品ガ良イヤウニ思フノデアリマス、殊ニ本縣ハ有名ナベツ甲細工ノ土地デアリ特種ナモノトシテ外ニナイ長崎縣代表的ノモノデアツテ外ニナイノデアリマスカ是ヲ應用シテモ一ツ工風シタラ面白イモノガ出來ルノデハナイカ一層御進歩ガ願ヘレバヨイノデヤナイカト思ヒマス。其レカラ其ノ次ハ福岡縣デアリマスガ本縣ハ矢張裝飾品製造ガ代表的ノモノデ殊ニ此度出品サレテ居リマス製品ハ非常ニ新タラシイ加工ノ点ニドーカト思フ点モアリマスガ材料ノ關係デアルト思ヒマスガ非常ニ優秀ナモノガ出來タト思ヒマス、唯ダ博多織ノネクタイ等ハ之レハモ一少シ工風シナケレバナラヌカト思ヒマス、八幡ハ製鐵所ノ材料ヲ採ツテ居ラレルガ之レハ結構ナコト、思ヒマスガモ一少シ應用ノ方法等ヲ考ヘタラ面白イモノガ出來ハシナイカト思ハレマス。其ノ次ハ

久留米ノラントイ漆器等ハ福岡縣ノ代表的ノモノデ用途ニ適スルトカドーカハ別モノトシテ非常ニ新ラシイ方法ニツキ工風サレタコトハ非常ニ結構ナコト、思ヒマス。硝子製品ノ中デモ面白イモノモアリマシタガ、モウ少シ新ラシイ味ヲ考慮シタラ將來ヨイノヂヤナイカト思ハレマシタ、其ノ外工業試験場カラ色々ノ試作品ガ出テ居リマスガ之レハ新タラシク研究ヲ練ツテ作クラレタモノデアリマスカラ無論優秀デアリマスガ、將來尙ホ一層御工風ヲ願ヒタイト思ヒマス。次ニ佐賀縣ノ出品ハ中々進ンデ居ルヤウニ思ハレマシタ。緞通等モ此ノ前ヨリハ中々良イモノガアツタノデアリマス。其ノ次ニ熊本縣ノ出品ニツイテ申シ上ゲマスガ熊本縣カラ出テ居ル漆器ハ結構ナモノガ多ク殊ニ從來市ノ研究所ガアリマシテ特ニ立派ナモノガ出來ルノデアリマスガ私共トシマシテハ惜ムラクハ當業者ガ何ゼソウユウモノヲ利用シナイカト云フコトヲ非常ニ熊本縣ノタメ惜ンデ居ツタノデアリマスガ今度ノ試作品ニ依リ當業者ノ間ニ普及サレ殊ニ優秀ナ技術ガ進歩シテ居ルコトガ見ヘテ居ルノハ洵ニ御同慶ニ堪ヘナイノデアリマス。各縣ニ於カレテモ一層御留意ヲ願ヒタイノデアリマス。申シ上ゲルマデモナク其ノ地方ニ古ルクカラ發達シタ工藝品ヲ現代ノ生活ニビツタリ合ツタ商品ヲ一個デモ餘計ニ造ルト云フ風ニ進ンダ方宜イノヂヤナイカト思ヒマス。亦ソウユウ風ニ進ンダ方ガ結構ナコト、思フノデアリマス。宮崎縣ノ出品モ多少アリマシタガ宮崎縣ハ材料ガ優良デ昭和十年頃カラ縣當局ガ工藝品ノ指導ヲサレテ居ルノデアリマスカラ當業者ガソウユウモノヲ利用スル亦最近工業試験場モ出來タノデアリマスカラモ一少コソソウユウモノヲ利用シテ當業者ガ出品ニナツタラ宜シイト思フノデアリマス、夫レカラ竹材ノ高級品ガ二三點出テ居リマスガ漂白トカ色付ケトカ云フモノニツキ竹材工藝品ニハ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス。其ノ次ニ鹿兒島縣ノ出品デアリマスガ、本縣ハ本年度ハ新ラシイモノモアリ概シテ昨年ヨリ一段トヨクナツタト思ヒマスガ特ニ薩摩燒ハ古カラノ代表的ノモノデ之レモ非常ニ進歩ノ跡ガ見ヘルノデアリマスガ、尙ホ意匠ノ点ガドウカト思ハレマスモノモアリマスカラ今一段御工風ヲ願ツタラバト思ヒマスコウエウ多少ドウカト思ヒマス夫レカラ竹製品

モ色々ノモノガアリマシタガ之モモ一息ト思ヒマスモ一片試作シナケレバナラヌト云フ様ナ感じガ致シマス、市ノ研究所等毎年宜シイモノモ研究シテ居ラレルカラ當業者ノ方々ガ更ラニ之ヲ利用セラレルコトガ或ハ遲ヒノヂヤナイカト思ヒマス、之等利用サレンコトヲ申シ上ゲテ置キタイト思ヒマス、次ニ沖繩縣ノ漆器ハ天惠的漆器ノ生地トシテ優秀ナモノデ品物ニ狂ヒガ來ナイ海外デモ沖繩縣ノ漆器ダケハ狂ヒガ來ナイトコトデアリマス。殊ニ其ノ品物モ最近長足ノ進歩ヲシテ來タヤウデアリマス、大分縣ハ我國ニ於ケル竹ノ產地トシテ日本デ一番デアリマス、日本ニ於テ竹ノ產地モ澤山アリマスガ本縣ノ竹ノヤウナ優秀ナモノハナイノデアリマス、夫レカラ竹籠竹人形ソウユウモノガ中ニハ金屬ヲ配シタモノガアリマスガ特ニ人形ハ實用ニ適スルカドーカハ別トシテ相當輸出サレテ居ルトノコトデアリマスガ部分的ニ申シマストマダ改善ノ餘地ガアラウト思ヒマス、人形ノ如キモソウユウオ考ヲ以テ技術モ立派デアリマスカラドーユウ風ニスレバ能ク賣レルカドーユウ風ニスレバ一番ヨイカノ御研究ガモ一ツ必要ト信ズル、シガラツトケース等立派ナ技術ノ應用範圍ヲ廣クシテ貿易ニ適スルモノヲ造ツテ頂クコトガ非常ニ必要ヂヤナイカト思ヒマス。中津ハ木工品ガ最近出來タモノモアリマスケレドモ製作ガヨイト云フヨリモ將來技術方面ニ色々約束サレテ居ルタメ寧ろ現在考ヘラレテ居ル考方ハ積極的ニ商品ヲ造クルト云フコトニ多少遅レテ居ルノデハナイカト思ヒマス、日田漆器等ハ結構ナモノト思ツタノデアリマス。

各縣ノ出品等ニツキ大体一口ニ申シ上ゲマスト矢張長崎ノベツ甲細工鹿兒島ノ陶器大分縣ノ竹製品等良イモノハ確カニ或ル進ミ方ヲシテ居ルト私ハ感じタノデアリマス。

最後ニ今回ノ出品物ニ對シテドーユウ点ガ審査員ガ見テ良イ点デアツタカト云フト陶器カラ申シマスト長崎縣ノ花瓶等今マデニナイ新ラタナモノヲ造クラレタ其ノ点ガ非常ニ良イト思ヒマスガ尙ホ其ノ形應用範圍ト云フモノニ更ラニ御留意ヲ願ヒタイ。

福岡縣ノ硝子菓子器等ハ非常ニ日本的デアアル点方面白ク技術モ立派デアルガ上ノ方ガ重ク下ノ方ガ輕イ感ガスル其ノ点ハ何ントカオ考ヘテ願ヒタイ亦チコレトセツト等ハ上繪モ生地ト綜合的ニ能ク纏ツテ居ルト思ツノデアリマス、先キ程申シマシク様ニ市ノ研究所デ從來御研究ニナツテ居ツテ事ヲ當業者ガ應用シクモノモアリマシテ新味ト云フ点デドーカト思ハレマスノデソウユウ点ニ御留意ヲ願ヒタイノデアリマス、花瓶ノ形ニシマシテモ免角ク平凡ニナリ易イノデアリマスカラ此ノ点モ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス。

日本ノ漆器ハ御承知ノ通り外國デハ絶對ニ出來ナイノデアリマスガ狂ヲ生ズノデ折角向フニ持ツテ行ツテモ實用ニ適シナイト云フ所カラ三百萬圓ノ輸出ガ三十萬圓ニ減ゼラレタノデアリマス、此ノ日本特殊ノ工藝品ヲ海外ニ輸出ヲ企テラレルナラバドーシテモソウユウ様ナ需要ノ多イ商品ニ日本獨得ノ技術ヲ應用シテ殆ンド狂ノナイモノソウユウ点ニ改善ヲ加ヘテ行ツテ結構ナモノガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、其他大分縣ノ竹製品熊本縣ノ製品等アールユウ技術ヲ有ツテ居ラレルカト思フト満足ニ堪ヘナイノデアリマスガ組合セ材料等今マ少ク御工風アツテヨイト思ヒマス沖繩縣ノコーラン方漆器ハ先程モ申シ上ゲマシク様ニ本縣特有ノモノデアリマスガ大キナモノハ出テ居リマセンガ構圖ニ一寸面白イモノガアツト思ヒマス。次ニ金屬デハ鹿兒島縣ノ出品デセツト等形模様等特有ノ感じヲ見セテ居ルコトハ良カツタト思ヒマス、尙錫器等非常ニ長足ノ進歩ヲ見ルコトガ出來タノデアリマス、福岡縣ノ作品ニツイテハ先程モ申上ゲマシク通り御研究ヲ願ヒタイト思ツタノデアリマス、最後ニ長崎縣ノベツ甲細工等モ一ツ何ントカ其ノ意匠等ニ御工風ガ必要デナイカト拜見致シタノデアリマス
ソウユウ様ナコトデ私ノオ話ヲ終ハリタイト思ヒマス」

加地工業試驗場長

只今ハ長時間ニ亘タリ各縣ノ出品物ニツキ微ニ入り細ニ亘タリ各方面ノ御講演ヲ下サイマシ

テ九州各縣ノ輸出工藝ヲ將來如何ニシテヨイカト云フ途ヲオ示メシ下サイマシクコトニ對シ厚ク御禮ヲ申シ上ゲマス本御講演ニ依リマシテ各製作ニ當リ之ヲ有効ニ適用シ工藝ニ對スル時代ノ流ニ應ジテ之カラ如何ニシテ吾々ハ進ンデ行クカト云フコトニ對シ其ノ方針ト確信ヲ與ヘテ下ザツタコトヲ確信スル次第デアリマス、ドウカ本講演會ノ趣旨ヲオ波ミ取り下サイマシテ吾々ハ各縣ノ區別ナク九州沖繩各縣ノ工藝ニツキ國家ノクメ貢獻進展ニ御助力ヲ願ヒ致シマス。御承知ノ通り時代ハ非常時ニ直面シテ居リマス、折柄所謂非常時産業ノ助長發達ニ貢獻セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス。茲ニ本席ヲ借りマシテ審察長殿ノ長時間ニ亘リ御講演下サイマシクコトヲ重ネテ厚クオ禮ヲ申シ上ゲマス、亦講演ニ對シ長時間ニ亘リ御靜聽下サイマシク皆サマニ對シオ禮ヲ申シ上ゲテ本會ヲ閉ジタイト思ヒマス時間ガ餘リナイノデアリマシテ非常ニ切迫シテ居リマス關係上引續キ批評懇談會ニ移リタイト思ヒマス。之ヲモチマシテ審察講演會ヲ閉ヂタイト思ヒマス。

第五章 批評懇談會開催

日時 昭和十二年七月二十日午後三時ヨリ
場所 大分縣殖産館 大廣間

第一節 批評委員

株式會社會我商店 萩原敬介
ウインクレル商會 橋本濱次郎

- 盛進合資會社
 - 川島辰太郎
 - 伴野貿易株式會社
 - 荒瀬順治
 - 加藤物産株式會社
 - 木村榮太郎
 - 大阪府立貿易館通商課長
 - 片山彌六
- 出席者 聯合各縣工藝關係職員及當業者約二百五〇人

第二節 批評懇談會速記録

姫野殖産館長 今回九州沖繩各縣聯合主催ヲ以テ工藝試作品展覽會ヲ開催致シマス機會ニ本日各縣ノ出品ニツキ貿易業者ノ方々夫レカラ指導者及當業者其他關係各位方御列席下サイマシテ批評懇談會ヲ開催スルニ至リマシタ所炎暑ノ折柄斯ク多數御出席下サイマシタコトヲ深く感謝致シマス。本展覽會ハ御承知ノ如ク、出品物ヲ嚴密ニ鑑査審査ヲ致シマシテソウシテ其ノ結果出品關係ノ方々ニ將來改善發達ヲ促ガスト云フコトガ主要眼目トナツテ居ルノデゴザイマスガ更ニ之レガ効果ヲ大ニスルタメ大阪神戸等ノ方面カラ實際貿易ニ從事シテ居ラレル所ノ貿易業者ノ方々ト此ノ方面ニ精通シテ居ラレル大阪府立貿易館片山通商課長ニ御臨席ヲ懇請致シマシタ所直チニ斯ク御出席ヲ得マシタコトニ對シ厚クオ禮ヲ申上グル次第デゴザイマス。惜テ此ノ工藝品ニツイテハ政府初メ各指導機關及當業者、其他關係方面デ努力セラレタ結果非常ニ改善進歩致シマシタガ尙ホ研究改良ヲ要スル點ガ多々アルト存ジマスノデ御臨席ノ貿易業者ノ方々ヲ始メ指導機關並ニ關係方面ノ方々ヨリ夫々異ツタ立場カラ御覽ニナツタ御腹藏ノナイ卒直ナ御意見ノ御發表ヲ願ヒ之ガ改善振興ヲ計リタイト存ジマス、就キマシテハ只今カラ片山大阪府立貿易館通商課長及各貿易業者ノ方々カラ順次御意見ノ發表ヲ願ヒ致シタイト存ジマス、終ツテ生産者其他指導機關、各關係方面ノ方々ノ御意見

ノ發表ナリ御質疑ナリヲ願ヒ致シマス。簡單デアリマスガ本懇談會開會ニ當リマシテ主催縣ノ一人トシテ御挨拶傍々才願ヒ致ス次第デアリマス。

懇談會 (貿易業者ノ批評)

加地工業試驗場長 夫レデハ是カラ御懇談ヲ願ヒシタイト思ヒマス。私カラ御指名致シマス出品物ニ對シテ片山サンニ御批評ヲ願ヒタイト存ジマス。

片山大阪府立貿易館通商課長 今回ノ皆サン方ノ出品ニ對シテ批判ヲ言ヘト云フ譯デアリマスガ、大体ニツイテハ只今谷内技師ガ商品別亦ハ地方別ニ色々詳シクオ話ガアリマシテ、私ノ言ヒタイコトモ大概言ハレタノデアリマシガ、折角デスカラ一言申上ゲテ見タイト思マス。

今度ノ出品物ニ對シテ批判ト云フ事モ言ヒタイノデアリマスケレドモ御承知ノヤウニ工藝品ト云フモノガ製作者側ニ立チマシテドシテ必要ダト云フコトヲ一寸簡單ニ申シ述ベテ見タイト思ヒマス、日本ノ貿易品デ國內デ使ツテ居ルモノヲ其ノマ、海外ニ持ツテ行クモノハ殆ンドナイノデ一旦輸出向キトシテ製作サレルノデアリマシテ彼ノ綿布ノ如キモノデモ日本デハ廣巾三十二吋ノモノガ五十吋六十吋ト云フヤウニワザ／＼造ツテ輸出シテ居リマス。デアリマスカラ總テ輸出向キデナケレバイケナイノデ國內デ使カツテ居ルモノヲ其ノマ、ナレバ詰マリ駄目デアリマス、日本ノ國ダケガ國內デ使ツテ居ルモノヲ其ノマ、向フニ持ツテ行クコトガ出來ナイノデ日本ハ非常ニヤリ悪イノデソコデ、一生懸命勉強シテ二十五億圓ノ輸出ノ理想ヲ有ツテ居ルノデアリマスガ大体ニ商品ハ日本品ガ安イタメニ賣レルノデアリマスガ之レガタメ亦色々障礙モアリマスガ外國ノ人口ガ二十億ニ達シテ居ルト申シマスカラ皆サンノ御努力ニ依リ商品ノ種類ニ依ツテハ消化力ハ充分アルノデアリマス。夫レカラ安イ値段デ造クルト云フコトモ必要デアリマ

シテ向フニ行ケバ二割三割中ニハ商品ニ依ツテ十割以上高クナル商品ガアルノデアリマス。一錢ノ商品ガ十錢ニ賣ラレル品物ニ依ツテハ十五錢トカ二十錢ニ賣ラレテ居ル之レハ商品ノ噸數トカ荷役關稅ニ依ツテ負擔ガ重クナル譯デアリマシテ大量注文ガ參リマシテ纏マツタ金ヲ儲クル上ニ於テモ工藝家ノ努力ニ待ツテ其ノ商品ニ價值付ケル外ハナイノデ關係當局ノ間ニ於テモ工藝ノ將來ト云フコトニツキ一生懸命ニナツテ居ルノデアリマス。夫レカラ海外生活ヲ無視シテハ駄目デアリマス、日本人ハドウモ向フノ事情ニウツイ、日本ノ商品ガ向フノ生活ニ合致シナイト云フ点ガ多々アルノデアリマス。日本ノ工藝家トシテモドンナ商品ガ向フノ生活ニ合フカト云フコトヲ考ヘテ造クラナケレバ不可ナイノデアリマス。吾々ニシマシテ海外ニ於テハ今コウユウモノガ流行ツテ居ルトカ、コウユウモノ、コウユウ格好ノモノガ賣レテ居ルト云フヤウナコトヲ調ベテ始終皆サンノ御覽ニ供シ參考ニ供スル次第デアリマスガ、コウユウ根本事情ヲ無視シ唯ダ丸ツキリ見當ヲ立テズニ送ツテ居ルト云フコトハ吾々ノ遺憾ト思ツテ居ル所デアリマス。ソウユウ事ニ依ツテ商品ヲ造クルト云フコトガ第一ノコトデアリマシテ、ドンナモノヲ造ルカトイフ標準ヲ立テルト云フコトガ必要條件デアリマス。日本ニハ中々立派ナモノガ出來ルガ夫レヲ「イギリス」ナリ「アメリカ」ニ持ツテ行ツテモ使フコトガ出來ナイモノモ澤山アルノデアリマス。之レハ向フノ生活ヲ無視シテ失敗デアリマス。コウユウコトニ對シテハ出來ルダケソウユウ場合ニハ皆サンガ御留意下サルナリ吾々ニ御諮リ下サルヤウ又ハ貿易業者ノ方々ニ御尋ネニナツテ根本ニ違ツタモノヲオ送りニナラヌヤウオ願ヒシマス、之レガ先ヅ第一番ノ條件カト思ヒマス。今度ノ展覽會デモソウユウ感ジノスル品物ガ多々アルノデアリマス。之レハ日本人ナラ或ハ買フカモ知レマセンガ「アメリカ」邊リヘ持ツテ行ツテ果シテ賣レルカドウカ又別府ノ籠ニシマシテモ仲々立派デハアリマスガ輸出品トシテ歐羅巴「アメリカ」ニ向クカドウカハ未ダ疑問ガアルノデアリマス。品物ガ立派ト云フダケデハ不可ナイノデアリマス。輸出ト云ヘバ立派ニ造レバヨイト云フ譯デハアリマセン、中ニハ内地ノ實需品デナイモノモアルノデアリマスカラ出來ルダケ實

需品ヲ造ルト云フコトガ當面ニ於テ必要デアツテ又ソウナケレバナラヌノデアリマス。例令一ベン二ヘン賣レタカラトテ夫レニ依ツテ日本ノ産業ガ恒久的ニ良イト云フコトハナイノデアリマス。先ヅ安ク實需品ヲ造ルト云フコトニナラナケレバナラヌト思ヒマス。尙ホ具體的ノコトニツイテハ後程述べマセウガ此ノ方面ノ貿易ヲヤツテ居ラレル方々ト指導サレル皆サントノ間ト私ノ意見ガ表裏スルカモ知レヌガ御勘辦ヲ願ヒタイ、オ役所デコシラヘタノカモ知レマセンガ「ボン」ノ入レト云フ小サイ丸イモノガアリマスガ、ボンノト云フ言葉ハ日本デ使フ言葉デボンノ入レト云フ言葉ハ外國デハ聞イタコトガナイ、之レハ小サイコンベイ糖ノヤウナ小サイオ菓子入トシタ方ガヨクハナイカト思フノデアリマス。是等ハ餘程御注意ガ必要デアラウト思ヒマス、又チコレイト入レト云フモノガアリマスガ向フデハチコレイト入レルモノハナク何ンニ使フカ分カラナイモノモアル、是等モ能ク其ノ調和ト云フコトモ考ヘナケレバナリマセン。是等モ指導ノ皆サン方デ御留意ガ肝要デアリマス。私個人トシテ甚ダ露骨ナ話ヲ致シマスガ彼ノオ盆ハ隨分立派ナモノガアメリカ、歐羅巴邊ニ大分出テ居リマスガ食糧品等ヲ乘セテオ客人ニ運ブ運搬器デアリマス。之モ品物デ仕舞ヘバ用ヲ爲サナイノデ卓子ノ上ニ飾ツテ置クト云フコトハ殆ンドナイノデアリマス又アメリカ邊リデモ生活ノ簡易ヲ計ル傾向ガアリマシテ成ル可ク金ノカ、ラヌヤウニ工風サレ台所ト食堂等モ接近シテ居ツテオ客サンニ食糧ヲ運搬スル必要ガナク台所カラ直グ持ツテ行クト云フ有様デ殆ンド此ノ盆ト云フモノハ役ニ立タナクナツタノデアリマス。是等モ能ク向フノ事情ヲ知ラナイト無駄ナモノヲ造ルト云フコトニナリマス、尤モホテルトカ大キナ所デハ使ツテ居ル所モアリマスガ、夫レモ小サイモノハ使ハズ大キナオ盆ヲ使ツテ居ル有様デアリマスガ普通ノ家庭デハ此ノオ盆ハ絶對ニ使ツテ居ナイノデアリマス、夫レヲ一生懸命ニナツテ研究サレルト云フコトハドーカト思ヒマス点デアリマス。前ニ申シマシタヤウニ小サナモノハ使ハズニ二尺カ三尺位ノ大キナモノヲ使フノデアリマスカラ、ソウユウオ盆ハ工藝品トシテノ餘地ガアルノデアリマス、此ノオ盆モ大体ハ金屬製ノモノガ多ク木製品漆器等ハ使ハナ

イノデアリマス。夫レカラオ茶盆デアリマスガ、オ客ヲ呼ンダリシタ時オ客サント一所ニシヤベリナガラオ茶ヲ飲ムト云フ風デアリマスガ之モ最近ハ電氣茶ワカシガアツテ大キナ盆ノ上ニ全部ヲ乗セテ運ブモタン式ヤリ方デアリマス。オ茶ヲ一々オ盆ニ乗セテオ客ニ運ンデ行クト云フヤウニ作ラレタオ盆ハアメリカ人歐米人全体ニ用ヲナサナイノデアリマス。此ノオ盆ハ物ヲ運ブ代リニ裝飾的ノ價值ハ勿論アルノデアリマスガ、家庭生活ニ平均シナケレバナラス。若シソウユウモノヲ造ルナラ其邊モ考ヘテ拵ラヘテ欲シイ詰マリ日本ノ生活ト白人ノ生活トハ違フト云フコトデアリマス。此ノオ盆モ生活ニ合フ様ニ應用スルコトハヨイガ無駄ナ裝飾ヲ施スソウユウ事ハ研究シテ見ル必要ガアル。夫レカラ陶器デモ漆器デモ餘リ感ジノ強イ繪ハイケナイノデアリマス、鶏トカ、鼠トカ、馬トカ、牛トカ云フヤウナモノハ食慾ヲ起サセナイノデアリマス、ソウユウ家畜ノモノヨリ果物ノ繪ノ方ガヨイノデアリマス。豚トカ、牛トカ、鶏トカ七面鳥トカノ繪ヲ見ルト夫レノ日常ノ生活状態ヲ思ヒ出サセテ食慾ヲ減ズト云フノデアリマスカラ、吾々ガ繪ヲ書クニシテモ此ノ邊ヲ能ク考ヘテ書ク方ガ良イト思ヒマス、書イタ繪ガ如何ニ優秀デアツテモ彼等ノ趣好ニ合ハナケレバナラス、折角技術ヲコラシテ造ツタモノデモ向フデハ何ソノ感ジモシナイノデコンナ損ナ話ハナイト私個人トシテモ考ヘテ居リマス。夫レカラモ一ツ中上ゲタイ点ハ大分縣デ造ラレテ居ル所ノ非常ニ立派ナ竹ノ盛籠デ細イ竹デ非常ニ綺麗ナ竹デ造ラレタモノデアリマスガ之レニ「リンゴ」トカ「バナナ」等ヲ乗セテ其ノ果物ヲオ客ニ廻ソウトスレバ卓子ニ傷ガ付ク、デアリマスカラ之ハ勳カスノハ禁物ト云フコトニナル、ソウナルト外ノ人ハ見テ居ナケレバナラスコトニナルノデ之レハ果物ヲ盛ルヨリ花ヲ盛ル籠トシタラヨカラウト思フノデアリマス。硝子器ニ花ヲ盛ツテ籠ニ乗セタラ宜カラウト思フノデアリマス。之レハ果物ヲ盛ル籠ニシタノガ不可ナインデヤナイカト思ヒマス。夫レカラ米國邊リデハ部屋ノ裝飾ハ夫人ノ手デヤリマスガ、是レハ主婦ノ勤メノヤウニナツテ居リマシテ先ツ一番ニ壁紙ヲ決メル其ノ部屋ニ相應ハシイ壁紙ヲ貼ル天井ハ大体其ノマ、デアリマスガ「クリーム」色トカノ色ヲ配ンテ下ハ

濃ク上ニ行ク程薄クナル其レカラ之ヲ標準トシテ部屋ノ中ノ家具全部モ此ノ壁紙ト調和ノ取レルモノヲ揃ヘル電氣スタンドニ至ルマデ調和ヲ取ツテ備ヘルト云フ風デアリマスカラ電氣スタンドニシマシテモ單純ナ色ガヨイト思フノデアリマス。先程モ谷内技師ガ言ハレタ通り日本ノ製作品ハ其ノ色ニシテモ巧ミニ過ギテ居ルト言ハレタガ私モ其レヲ言ヒタイノデアリマス。何ンデモカンデモ色々ノ物ヲ使フト言ツタヤウナ考ヘハ抑々間違ヒデアル調和ノ取レタモノデナケレバ不可ナイノデアリマス。色々ナモノヲ餘リ使ヒ過ギスト云フコトガ非常ニ必要ナコト、思フ、皆サンニシテモ其處ニ苦心ガアラウト思ヒマス。次ニ色ノ配合デアリマスガ、之レハ吾々ガ屢々要望シテ居ル次第デアリマス。次ニワンサンブル組ニナツテ居ルモノハ一ツノ離レ離レノヤウナ感ジノスルモノハ不可ナイノデ調和ノ取レタ色合ヲ配合シテ作ルコトガ必要デアリマス。尙ホ詳シイコトハ時間ガ與ヘラレ次第述ベタイト思ヒマスガ實際貿易ニ當ツテ居ラレル方カラノ興味アルオ話商品取引關係、海外ノ事情等ヲオ聞キニナリ生産者トシテ業者トシテ其ノ内容ヲ忖度サルレバ參考ニナラウト思ヒマス。私ノ話ハ之レデオ仕舞トシマス。

川島辰太郎氏

只今ノ片山サンノオ話デ僕ノ言フコトハナクナツタノデアリマスガ二三オ話ヲシテ御參考ニ供シタイ。私ガ此ノ展覽會ヲ見マシタ所恰モデパートニ行ツタヤウナ感ガシタノデアリマス、値段ヲ見マシテ此ノ値段ガ餘リ高クデパートノヤウニ高イナート云フ感ジガシタノデアリマス。私共ノ取引先ガ二等國三等國ノ中南米アフリカデアリマスカラ、高イモノハ向フニ向カナイノデアリマス。私共業者トシテハモ一少シ安イモノデナケレバヤリ悪イノデアリマス、夫レカラ新ラシイ嶄新ナ品ガ出來レバ今マデ全然取引ノナカツタ土地デモ其ノ品ヲ持ツテ行ツテ取引ヲ開始シテ新ラシイ市場ヲ獲得スルコトガ出來ルト云フコトニナリマスカラ新ラシイモノガ出來タラ吾々ノ方ニ見セテ頂キタイト思フノデアリマス。試作製品ハドンノ大阪ノ殖産館ナリニ持ツテ來テ頂イテ吾々貿易業者ニ見セ

ルト云フコトが必要デアル幾ラ新ラシイ商品ガ出来テモ慢然シマツテ置カナイデドンノ提出サレタ方ガヨイト思ヒマス、コウユウ展覽會バカリデナクモ一少シ製作者ガ熱心ニヤツテ頂キタイト思ヒマス。新ラシイ品物ヲドクノ出シテ頂ケバ大阪ノ商人ト大分ノ貿易者、神戸ノ貿易者等ガ出會フ機會ガ多クナリ意見交換ガ絶ヘズ出来ルコトニナリ貿易業者ガ技術方面ノ懇談モ出来テ新ラシイモノガ出来ルト思フノデアリマスガ安イ高級品ヲ造ルト云フコトガ肝要デ歐羅巴北米方面ニハ需要ガアラウト思ヒマスガモ一少シ値段ガ安く出来レバ賣レルト思フノデアリマス。彼ノ人形等モ値段ニ依ツテハ南米メキシコ方面ニハ名古屋人形ガ大量出テ居リマスカラ賣レルドラウト思ツテ居リマス、夫レカラ日用品調度品等モ成ル可ク實用的ニハツキリシタ値段ヲ付ケテモライタイノデアリマス、是レハ一二ノ例デアリマスガ大分縣ニスリツバーノ事ニ付イテ手紙ヲ以テ照會シタコトガアリマスガ仲々返事ガ來ズ漸ク手紙返事ガ來タト云フ例ガアリマスガ、ソウユウ簡單ナ返事ヲ頂ク場合ハ電報ナリヲ以テ成ル可ク早く願ヒタイノデアリマス。私ノ方カラモ海外ヘ電報ヲ以テ返事ヲシナケレバナラヌノデアリマスカラ手紙返事ヲ頂イテ居テハ二三日遅レテ電報ヲ打タナケレバナラヌコトニナリマスカラ出来ルダケ敏速ニ頂キタイノデアリマス。夫レカラ注文品ニ對シテ箱代運賃等ヲ負擔シナケレバナラヌコトガアリマスガ、之レハ大阪ニ送ツテ頂ク時ハ運賃ハ出スヤウニシテ頂キタイ、即チ夫レダケ原價ガ安くナル勘定デアリマスカラ、夫レカラ尙ホ申シ上ゲタイコトハ輸出業者ハ大分縣、福岡縣等ハ大變不便ナ感ジヲ懷イテ居リマスガ右ノ様ナ次第カラ痛感サレルノドラウト思ヒマス。

萩原敬助氏

一應別府ニ於ケル展覽會ヲ見マシタガ、展覽會ノタメニ造ラレタ見本ガ相當澤山アルト思ヒマス。餘リ高價ナモノハ矢張賣レナイノデ矢張安イモノデナケレバ不可ナイト思ヒマス。運賃等ガ高イノデ日本デ五十錢スルモノハ向フデ一圓ニモナルノデアリマスカラ實際ソウユウ点ヲ考ヘテ造ラレタ賣行ガ増スト思ヒマス。日用品ニ

シマシテモ簡單ニ丈夫ニ造ツタラ何處ヘデモ向クト思ヒマス。私ハマダ能ク見テ居リマセンカラ詳シイコトハ申シ上ゲラレンマセンノデ之レ止メマス。

橋本濱次郎氏

私ハ佛蘭西方面ヲ主ニヤツテ居リマスガ、今マデ三年前佛蘭西ニ展覽會ヲ開催シテ商工省ガ初メテ、巴里ヲ有力ナ候補地ト致シタノデアリマスガ展覽會ヲ開催サレタ時ニ私ガ初メテ日本ノ工藝品ト云フモノヲ取扱ツタノデアリマスガ、日本ノ雜貨ト云フモノハ値段ハ安イケレドモ商品ハ悪イタメニ今マデ非常ナ苦勞ヲナメタノデアリマス。然シ需要者ハ從來日本品ノ安イモノバカリ使ツテ居リマスガ、歐羅巴ノ先進國ハ競争ノヒドイ所デアリマスガ、ドーシテモ日本品ト競争ハ出来ナイト云フノデ、是等ガ団体ヲ組織シテ日本ノ輸入品ハ絶對的ニ入レナイ方法ヲ採リツ、アリマスガ、之ハ當然カモ知レナイト私ハ思ツク。日本ハソナ安イモノヲ造ツテ良イモノヲ造ルト日本ノ工藝品ヲ世界ニ宣傳シヤウト思フノデアリマス。賣レル要素ハ有ツテ居リマスカラ努力シテ居ル其處デ一時二十人位使ツテ盛ニ働イタ結果日本ノ工藝品ハ大分宣傳サレタノデアリマスガ、私ノ經驗談カラ多少皆様ノ御參考ニナレバ幸ト存ジテ居リマス。元來工藝品ヲ賣ルト云フコトハ非常ニ難ヅカシイ事デ矢張り値段ガ高イ、今度ノ展覽會ニ出テ居ル値段デハ吾々ハ賣ラレナイノデアリマス。貿易業デモ一番困ルコトハ値段ノ高イコトデアリマス。展覽會ノミノ値段デナク實際取引ノ出来ル値段ヲ付ケテモライタイノデアリマス。非賣品ガ澤山出テ居リマスガ、參考品トシテ出サレタノデアリマセウガ出品ハ矢張今後取引ノ出来ル品物ヲ出シテモライタイノデアリマス。向フデ開カレル展覽會等ニモ此ノ非賣品ガ出テ居マス、日本品ノ紹介デアリマセウガ、如何ニ立派ナ品物デモ注文ノ出来ナイモノハ何ンモナラヌノデ非賣品等ハ寧ロ出シテモラハヌ方ガヨイト思ヒマス。夫レカラ私共ノヤウニ南米ノ如キ二三等國ト取引スルモノハ米國ヤ佛蘭西デ賣ラレルヤウナ値段ガ付ケテアツテハ賣レナイノデアリマス。大分縣デ造ラレル品モ中々

高イ高級工藝品デアリマスガ、運賃ガ非常ニ高イノデ其ノ品物ガ大變高クナルノデ佛蘭西人ガ金ヲ持ツテ居ルトハ云ヘ中々賣レ悪イノデアリマス。從ツテ吾々貿易業者ハ非常ニ難カシイノデアリマス。亦コウ云フコトガアリマシク、展覽會ニ出テ居タ品ヲ注文スルト遅クナツテ返事ガ來テ格好ヲ忘レタカラ寫眞ヲ撮ツテ送ツテ吳レト言ツテ來タノデ仕方ナク百貨店デ寫眞ヲ撮ツテ送ツテヤツタ所色ヲ忘レタカラ知ラセテクレト云フコトデアツタ。色ハ寫眞ニ撮ル譯ニイキマセンカラ手紙デ返事ヲシマシタガ、コウユウコトデハ仕方ガナイト思ヒマス。吾々ガ折角商工省ノ展覽會デ其ノ出品ニツキヤカマシク言ハレルダケ立派ナモノデアリマスガ、然シ右ノ様ナ点ニツイテモ一少シ日本ニ居ラレル指導ニ立タレル方々ガ御注意ヲ願ヒタイ、大分縣ノ工藝品ニシマシテモ餘リ立派ナモノハ賣レマセン。佛蘭西人ニシマシテモ安イ品物デナイト吾々モ賣レ悪イノデアリマスカラモ一少シ地方ノ方々ガ自覺シテ頂キタイノデアリマス。大分縣カラ出テ居リマスシガレットケース等六圓ト云フ正札ガ付イテ居リマスガアレデハ賣レマセン、値段ハモ一ウ少シ勉強ヲ願ヒタイ。福岡縣ノ博多織モ、モウ少シ何ントカシテ頂キタイト思ヒマス。展覽會展示會等ヲ開催シテ折角宣傳シテモ賣ラレヌモノヲ幾ラ紹介シテモ何ンニモナラヌノデアリマス。夫レカラ一寸シタコトデスデ電氣スタンド等モ意匠等モコウユウ点ニ御注意ノ上造ツテ頂キタイト思ヒマス。要スルニ餘リコツタモノデナク全体ニ淡色ニシテ頂キタイノデアリマス。此ノ邊デ止メテオキマスガ、先程片山サンノオ話ノ内ニモアリマシタヤウデスガ實際煙草カ菓子入レノヤウナ小箱ガアリマシタガ、アレハ小箱トシタケデハ佛蘭西人等ニハ何ニ使フノカ分リマセンカラアレ等ハ小箱トセズニ、菓子入レトカ、煙草入レトカ、ハツキリシタ方ガ宜イト思ヒマスアトハ懇談會ニ讓リマス。

木村榮太郎氏

私ノ話ハ簡單ニ申シ上ゲマス。先刻各縣品物ニツイテ色々御話ガゴザイマシタガ、大變立派ナモノバカリデアリマスガ、成程非常ニ高イ之レハ個々ニツイテハ先程オ話モアリマシタカラ申シマセンガ出品物ニツ

キマシテ私ガ豫メ思ツテ居リマスコトヲ御參考マデニ申シ上ゲタイノデアリマス。即チ賣レル品物、賣ルタメノ品物、品物ヲ賣リ込ム、ソウ云フ意味カラ之ヲ賣ルベキ商人ト提携スルト云フコト、之レガタメニハ批評會ト云フヤウナモノモ結構デアリマス。批評會ナリ、研究會等ヲ常設シテ頂キタイ、研究會ハ色々參考ニナラウト思ヒマス。次ニ私ノ申シ上ゲタイコトハ時々品評會ヲ催シテ頂キタイ、ソウシテ優秀ナ品物ヲ造ル、造ツタ品物ヲ出品スル、ソレカラ出品スル時ニ自己テストヲシテ頂キタイノデアリマス。比較的最もモヨイモノハドゥユウ風ニスルカト云フコトハ、先程色々註文モアリマシタガ値段ヲ詳細ニ掲ゲテ賣レ行キ方面ノ流行品ヲ考慮シテ商品ヲ造ルト云フコトガ一番良イ考ヘ方デヤナイカト思ヒマス。彼ノ均一店ハ十錢均一トシマスレバ總テ十錢デアリマスガ、五錢マデ拵ヘルモノモアリ、七錢五厘ノモノモアリマスガ之レガ、十錢均一デ賣ラレルト云フコトニナツテ居リマス。此ノ均一ハ何ンデモ構ハズソウユウ値段デ賣ルノデアリマスガ、之レニハ亦色々方法ガゴザイマスガ、要スルニ色々品物ヲ造ツテ之レガ販賣ニツキ一所ニナツテ決メナケレバナラヌ試作品ニシマシテモソウユウ風ニシテ出品スルト云フコトニナレバ參考ニナルト思ヒマス。相手ニ此ノ品ガ向クガ値段ガ之レデ宜イカドカ亦ドゥユウモノガ流行シテ居ルカト云フコトヲ研究スル必要ガアル、デスカラ漠然タル輸出商品ヲ造ラズ出來ルナレバ熱心ナオ方ニオ寄ニナツテ頂キ研究シテ拵ラヘルソウユウ研究會ノヤウナモノヲ常設スル方ガヨカラウト云フ事ヲ私ハ一言申上ゲマス。僅カデゴザイマスガ御參考ニナリマシタラ結構デゴザイマス。

荒瀬順次氏

私ノ方デハ色々ノ製品、輸出品ヲ扱ツテ居リマスノデ外國人ハドンナモノヲ最も好ムカト云フコトヲ一言御參考ニ申シ上ゲマス。日本ノ商品ハ色々形ノ良イモノ其ノ技術ノ方面カラモ色々ナヨイモノガアリマシテモ其ノ格好ガ非常ニ複雑デ箱ニ嵩ミマシテ目方モ非常ニ超過スル是等ノ事ハ一寸シタモノデモ大体二割以上ニナリ二割

以上ニ超過スル三圓五圓ノモノガ向フニ持ツテ行クト七割八割中ニハ十割ニモナルノデアリマス。日本品ガ十圓ノ價値ニナルノデアリマス。支那ハ知ラズ日本ハ世界ノ一等國トシテアメリカ聯邦デモ獨逸デモ佛蘭西デモ賣レルノデアリマスガ日本ヨリ節約状態デアリマシテ五十錢ノ品物ガ一圓ニモナレバ一寸賣レ悪イノデアリマス。デアリマスカラ能ク品物ヲ撰擇シテ試作サレト云フコトガ適切デナイカト思ヒマス。先キ程モ申シ上ゲタヤウニ「サイズ」ノ大キイモノデ運賃ヲ高ク取ラレマスカラ小カクナルヤウニナレバ運賃ガ非常ニ助カルノデアリマス。下ニ出テ居リマス竹筒等モ取ツ手ヲ取り外スヤウニシタラ「サイズ」モ小サクナリ非常ニ便利ダト思ヒマス。夫レカラ私共ガ取扱ツテ居ル雜貨デ數百点ノ内八割九割ハ全部二三錢乃至一圓マデ、アリマス。二三圓ノ品ハ殆ド皆無デアリマスガ此ノ下ノ品物ノ中ニハ二度ト出来ナイ品ガ出品サレテ居リマス。アメリカ邊リカラ註文ヲ受ケテモ二度ト出来ヌ品物ガ出シテアルノデアレワ考ヘモノデ幾ラ註文ヲ受ケテモ之ニ應ゼラレルヤウニシナケレバナラヌ、始終其ノ用意ガアルヤウデナケレバ駄目デアル。現在竹ノ製品ハ日本ノ獨占ニ出来ルモノデアツテ支那竹ト云フノガ多少アルガ、世界的ニ出ルノハ矢張日本ノ竹ダケデアリマス。日本ノ竹ハ福岡、大分ニ最モ立派ナ竹ガ出来ルト思ヒマス。ソウシテ冬ノ期間ニ山カラ切り出スノデアリマスガ雪ガ二尺モ三尺モ積ル所ハ出スコトハ出来マセンガ、大分縣ハ雪ガ少イカラ好都合デアリマス。デアリマスカラ、大分縣ニハマダノ餘地ガアリマス、十二三尺カラ二十尺カラノ竹ガヨカラウト思ヒマス。ソレカラ日本ノ漆器殊ニオ盆等色々ノ繪ガ書イテアリマスガ、例ヘバ魚ノ繪ニシマシテモ立派ニ出来テ居ルシテモ此ノオ盆ニ物ヲ乗セルト其ノ魚ノ尻尾ダケシカ見ヘヌノデ洵ニ變ナモノニナリマス、折角苦心シタ圖案モ向フデハ餘リ喜バレマセン、之レハ下ニ陳列シテアル輸出品参考品ヲ御覽ニナレバ分リマスヤウニオ盆ハ大体無地ニナツテ居リマス。是レハ大体無地ノ方ガヨイノデアリマス。夫レカラコツブノ台デモ向フデハカチツト音ノスルノヲ嫌ヒマスカラ其ノ邊モ御参考マデニ申上ゲテ置キマス。

懇談會

加地工業試験場長 貿易業者ノ方々並ニ片山通商課長殿ノ批判ニ關スル御説明ハ濟ミマシタカラ皆サンノ懇談會ニ移リタイト思ヒマス。左様ニ御願致シマス。夫レカラ一寸申上ゲテ置キマスガ展覽會ニ非賣品ガ多カッタト云フ御説デアリマシタガ御尤ト思ヒマス。此ノ非賣品ニツキマシテハ實ニ大分縣ガ非賣品ガ比較的ニ多カッタヤウニ思ヒマスガ、此ノ非賣品ハ普通ニ賣ラナイト云フダケデ注文ハ幾ラデモ引受ケラレル非賣品デアリマスカラ一言オ斷リ申上ゲタイト思ヒマス。

宮崎縣 一寸片山サンニオ尋ネ致シマスガ向フノ調度品ハ大体壁ヲ基調トスルヤウニオ話ガアリマシタガ、今後吾々トシテ輸出品ヲ製作致シマス場合大變難カシヤウニ思ハレマスガ。

片山通商課長 ソンナコトハアリマセンガ私ノ申シ上ゲマシタコトハ最近ソウユウ心持チノモノガ多イト云フコトヲ御参考マデニ申上ゲマシタダケ共ノ基準ヲキチヨメンニヤツテ居ルト云フ意味ヂヤナイノデ融通ノ利クモノデ宜イデス。

宮崎縣 橋本サンノオ話ニモアリマシタガ安イモノヲ造ルヤウニトコトデアリマスガ、ドノ程度ノモノデスカ。

橋本氏 一圓マデナラ幾ラカ有望ダラウト思ヒマス。

宮崎縣 コツブ等ノ台ハ音ノスルノハ駄目トコトデアリマスガ竹等デ造ツテハ如何デセウカ。

荒瀬氏 夫レモ面白イカモ知レマセン。

氏名不詳 折角取引ガ出来ルニシテモ値段ガ競争ノ結果取引ガ出来ンコトガアリマスガ之レハ生産者ガ値段ヲ

競争シテ濫賣スル結果粗製濫造ト云フ結果トナリ、之レハ何ントカ商工省邊リテ統制シテ頂イタラ宜カラウト思ヒマス。貿易業者ノ方々モ餘リ値切ラヌヤウニオ願ヒ致シマス之レハ何ントカ關係ノ方々デ考ヘテ頂キタイト思フノデアリマス。

木村氏 大阪邊リデハ各同業者ガ組合ノ如キモノヲ作ツテ此ノ値段ヲ統一シテ居リマスガ、此ノ方法モ宜カラウト思ヒマス。

石川氏 萬年筆ノ軸ヲ竹デ拵ヘタラト色々研究シテ居リマスガ如何デセウ。

木村氏 夫レハ思付キハ仲々結構デスガ目下萬年筆モ安イノガ出來ルヤウニナツタノデ竹材等デ立派ニ造ルト却ツテ高クナルノデ考ヘモノデス。

加地試験場長 夫レデハ此ノ程度デ閉會シマス。閉會ニ當リマシテ一言御挨拶申シ上ゲマス、片山通商課長ヲ始メ貿易業者ノ皆様ガ長時間貿易ニツイテ各方面ニ亙リ實際ニ即シテ御懇切ナル御説ヲ拜聽シマシテ有ガタウゴザイマス。吾々輸出品製作ニ干與致シマス者ハ實際ニ即シテ御懇切ナル御説ヲ聞キマシテ洵ニ有効ニ存ズル次第デアリマス。愈々各縣ノ工藝品ハ漸次進展シ得ルト存ズルノデアリマス。茲ニ司會者ト致シマシテ皆様ニ厚クオ禮ヲ申ス次第デアリマス。亦御出席ノ皆様ニハ此ノ暑サニモ拘ラズ此ノ席ヲ大分オ立チニナリマシタガ御熱心ニ御懇談下サイマシテ所期ノ目的ヲ達成致シマシタコト、感ジマシテ、一言簡單デアリマスガオ禮ト御挨拶ヲ申上ゲテ閉會トシマス。

片山通商課長 私カラモ御挨拶申上ゲマス。幸ヒ大阪、神戸カラ貿易業者ノ方々ガワザ／＼御出下サレ、亦皆サシモ非常ニ熱心ニ御研究ニナリマシテ吾々モ非常ニ心強ク思ツテ居リマス。吾々ノ足ラザル所ハ多々アリマスケレドモ今後オ役ニ立ツコトガアレバ何ンデモオ手傳ヒシタイト思ツテ居リマス、出來ルダケ今後モコウユウ會ヲオ願ヒシマス。尙ホ神戸、大阪方面ノ貿易業者ノ各一流所ガオ揃ヒデワザ／＼オ出下サツタコトハ非常ニ犠牲デ、貴重ナ時

間ヲ三日間モ費サレタコトハ非常ニオ氣ノ毒デアルコトヲ知ツテ居ルノデ特ニ私共カラオ禮ヲ申シタイト思ヒマス。尙ホ關係皆様ニモ私カラ厚クオ禮ヲ申シ上ゲマス。 「終リ」

拜啓 此ノ度ノ輸出業者トノ懇談會ノ席上吾々業者ノ中ノ**ウインクレル**商會ノ人ガ話シタ事ノ一部ヲ下記ノ通り私カラ訂正シテ載ク

ソレハ値段ノ件デ**ウインクレル**商會曰ク

一個五十錢乃至一圓以下ノ品物デ無ケレバ絶対ニ輸出不可能デアルカラ、ソノ標準ノ物ヲ製作サレタシ。ト云ウ様ナ意味台ノ事ヲ申シ上ゲタケレド之ハ解釋スル人ニトツテ、且ツ一本氣質當地方ノ製造家ガ汗ト智ノ結晶ヲ以テ製作シタ物ガ例ヘバ事實ハ三圓デ出來ル原價カモ知レヌ物ヲ五圓ト書イテ提出シタカモ知レヌガ如何ニ安ク切りツメテモ一圓デハ出來ヌ物ガ數多ク有ルカモ知レナイ。此ノ場合ソノ輸出價值ガ無イト斷言シテシマウノハ當地工藝品ノ發達ヲ阻止スル様ナ事態ヲ惹起スル恐レアルヲ感ジ書信ヲ以テ此ノ點ヲ貿易業者ノ立場トシテ釋明スル次第デアル。

一、外國貿易業者ハ殆ンド三井、三菱ノ如キ大會社以外ハ各々得意先ヲ限ラレテキル。例ヘバ

歐洲ノ如キ(特ニ獨乙、**フランス**)高級商品ノ消費土地ヘ、餘程考ヘナイト「安カロウ悪カロウ」式ノ物ヲ持ツテ行ツテモ「又カ」ト思ハレタリ、或ハ自國ノ優秀ナ製品ト比較シテ邦品ノ下劣サヲ笑ウデアロウ。故ニ斯クノ如キ市場ヘハ今回出品ノ中ニ數多適當ナ商品ノ有ツタ事ヲ申上ゲタイ。

二、又二、三等國ノミノ相手ニ(此ノ二、三等國ト云フ事ニ就イテ閉會後加藤物産ハ自分ノ取引先ガカラ遠慮シテアルト云ハレタ方ガ二、三オラレタガ絶対ニ遠慮ト云フ美德ノ表レカラ申上ゲルノデ無ク、吾々ノ客先ハ南米ノ淺黒イ顔ノ人等或ハ、**アフリカ**ノ眞黒イ顔ヤ肌ノ持チ主等ガ主ナノデアル)商賣シテアル者ニトツテ、

一ヶ二圓ヤ三圓ノ高級ナ歐洲物ヲ見セテモ買ヘナイ生活程度ノ人達バカリト云フトアマリ極端ダガ一寸吾々
ガ見テモ贅澤品ト思ヘル物ハソノ値段ガ高ケレバ高イ程受ケナイ。尤モ業者ノ方々ガ目先キノ商賣ハ出來ナ
クテモ日本品ノ價值ヲ海外ノ安物ヲ常ニ見ツケテキル人々ニ認識サセル目的ナレバ又何ヲカ云ハンヤダガ、
恐ラク誰モガ現在ノ生活ニオビヤカサレテキルモノト斷言スル。

以上(一)及(二)ヲマトメテ結論シテ見ル。

製造家ハ考案シタ品ハ各地ノ殖産館或ハ物産館ノ大阪或ハ神戸分館へ送り分館カラ、各ソノ商品ヲ消化シ得ル適當
ナル輸出業者ニ提出セシムレバ輸出業者ハ適切ニ且ツ懇切ニソノ商品ノ使用價值等ヲ教示スル事ト確信スル。

旅館 博多驛前

綠 屋 ニテ

加藤物産株式會社大阪支店

木 村 榮 太 郎

第六章 聯合各縣出品狀況說明

九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會ニ際シテ

審査長商工省商工技師

谷 内 治 橘

全國的ニ分布シテ固有ノ發達ヲ遂ゲタ工藝技術ヲ應用改善シ海外需要地ニ於ケル趣味嗜好ニ合致シタ工藝商品ノ輸

出ヲ盛ンニシテ從來ノ市場ヲ維持スルト共ニ更ニ増進ヲ圖ラントスルノガ商工省デ計畫シテキル工藝振興ノ趣旨デア
ル。

商工省デハ我國工藝ノ發達助成ニ關シテハ廿數年來商工省工藝展覽會ヲ開催シ或ハ陶磁器試驗所、工藝指導所等ノ
指導機關ヲ設置シ又ハ地方ノ工業研究試驗機關等ノ整備等ニツキ種々ノ方法ヲ講ジテ來タノデアアルガ最近ノ國際情勢
ト我國ノ國情ニ鑑ミ特ニ積極的ニ施設計畫ノ必要ヲ認メテ昭和八年度以降地方ニ於ケル之レガ指導員ノ設置海外需要
地ノ情況調査、見本ノ製作、改善サレタル新規商品ノ海外ニ於ケル展示會等ヲ地方廳ノ御協力ヲ得テ實施愈々工藝ニ
關シテノ認識ヲ深メ之レガ産業化ニツイテノ氣運ヲ醸成シテ來タノデアアルガ其ノ多クハ中小商工業ノ生産デアアル關係
上早急ナル効果ヲ期待スル事ハ極メテ困難ナ事ニ屬スルノデ過去ノ實績ニ微シ漸ク認メラレントスル斯業ノ爲ニ今後
一段ノ御協力ヲ願ヒタイト思フ。

此度當地デ開催サレタ九州沖繩聯合展モコノ趣旨ニ基クモノデ聯合各縣ノ非常ナル熱誠ニヨリ一回トソノ内容ヲ
充實シ我國産業工藝ノ伸展ニ貢獻シツ、アル事ハ御同慶ニタヘナイ所デアアル。

從ツテ本展覽會ノ鑑査査ニ當リテハ専ラ輸出向實用工藝品ヲ第一義トシテ嚴正公平ニ之ヲ行ヒタイト思フ。

之レガ方針ニツイテハ鑑査査員會ニ於イテ左ノ方針ヲ決定シタ即チ生産改善ノ目的ヲ第一トシテ

- 一、使用ノ目的ニ合致シタルモノ又ハ機能上改善セラレタルモノ
- 二、意匠ノ創意的ナルモノ又ハ改善顯著ナルモノ
- 三、製作技術優秀ナルモノ又ハ新シキ手法ヲ加ヘタルモノ
- 四、需要地ニ於ケル趣味嗜好ヲ考慮シ輸出増進上効果アルモノ
- 五、價格適切ニシテ相當量ノ生産化ヲナシ得ルモノ

六、現在ノ輸出品ヲ改善シ更ラニ需要喚起ノ見込アルモノ等デ輸出品デ比較的見込薄ノモノヤ單ナル外國製品ノ模倣ニ過ギザルモノ又ハ美術工藝的價值ヲ持ツテキルニ過ギナイ様ナモノハ省クコトニシタノデアアル。

然シ乍ラ嚴密ニ云ヘバコノ地方ニ於ケル展覽會及輸出工藝的ノ見地ヨリ未ダ充分デアルトハ云ヘナイト思フノデ生産方面ヨリノ改善、販賣方面ヨリノ批評ヲ事業ノ參考ニ供セラレテ御努力ヲ願ヒタイト思フ。
以下ハ各縣ヨリノ審査員ガ特ニ當該縣ノ工藝事情ヲ説明セラレタモノデアアル。

長 崎 縣

審査員 白 石 盛 香

本縣ノ工藝品ノ中デ、今回出品サレタモノハ、陶器漆器、鼈甲細工品、金工品、布帛加工品等デアツテ、布帛加工品ヲ除ク他ノモノハ何レモ數百年ノ歴史ヲ有シ、長崎ノベツコ細工、三川内波佐見ノ陶磁器等ハ國內到ル所ニ著名デアアル。而シテ此等工藝品ノ指導啓發ニ當ツテハ長崎市ニ、商工獎勵館ガアリ、尙佐賀縣境近クノ折尾瀬村及ビ上波佐見町ノ二ヶ所ニ縣立窯業指導所ノ本、分場ガアツテ陶磁器工藝品ノ改善ニ努力中デアアル。

尙此ノ外五島ノ珊瑚ヲ加工セシ裝身具等モ相當ニ有名デアアル。然シテ前述ノ各種工藝品共近時ハ海外輸出ヲ目的トスル意匠圖案ノ改善指導ニ努力シテキルガ本縣斯業ノ將來ノ伸展ニ資スベキ大ナル目標デナケレバナラス。尙、從來ノ内地向製品ノ高級化ヲ計ルベク目下三川内燗等モ白磁染付ヲ特長トスル地方色ヲ生カシ極力古來特有ノ美技ヲ殺サヌ様指導シテキルガ、輸出向トシテハ、色素地、色釉ノ應用、形狀模様、用途及ビ組合寸法等ニツキ目下研究指導中デ

アツテ機械ロクロ製、色釉、色素地應用、形狀ノ研究等ヲナシ其ノ試作品ノ一部分ヲ指導所ノ出品トシテ陳列サレテキル。
長崎市内ニテ製スル鼈甲、漆器ノ加工品ノ内、今回ハ、漆、金、鼈甲ノ綜合製品ヲハジメ其ノ他、金工品、布帛品等ノ出品ニモ形狀模様ノ新規ナル商品ヲ見ルニ至リ縣内ニモ今ヤ工藝振興ニツイテノ關心ヲ高メテキル。

福 岡 縣

審査員 小 池 岩 太 郎

指ヲ屈スルニ布帛製品ガ有ル。

福岡縣出品點數百七十四點中、百三點先ヅ場内キツテノ特殊存在トデモ云フベキダラウ。

久留米地方ヲ中心トスル久留米緋關係、福岡地方特産ノ博多織關係等之等、永年ノ傳統ト技術ヲ誇ル布帛製品ハ、然モ盛り上ラレタル新時代意識ニアラユル現代趣好ノ要求ニ應ジテ、新品種選定、色彩文様轉換等廣ク内外市場ノ開拓ニ邁進スル姿ヲ見ルノデアアル。

絹、綿、毛緞通、マツト、或ヒハ籃更紗、カーテン生地等ノ國武特許緋合名會社出品物、又ハ新興袋物ヲ目指スハ
ンドバック、書狀入、ケース其他クツション、テーブル掛、壁貼リ生地、ネクタイ等博多織關係即チ之デアアル。

筑後地方一團ヲ中心トスル蘭製品、掛川ハ從來モ滿洲、支那、印度、アメリカ、南米方面ニ輸出サレツ、アルモ、一段ノ新規需要ヲ呼ブベク柄合、色彩ノ研鑽サレタルヲ見ルノデ有ル。

生地ノ堅牢ト色彩ノ典雅ヲ誇リ來リタル籃胎漆器ニ於テモ、生活様式、推移ト趣味嗜好ノ變遷ハ徒ニ舊態墨守ヲ赦サズ、意匠形態ノ研究ト、色彩ノ明朗化ハ刻下ノ喫緊事トナル所デアツテ、サービス盆、ペリーセット、菓子盛等之

ガ輸出向新製品へノ轉換ヲ計ルベク目下試作途上ト見ナスベキデアラウカ、八幡市ニ於ケル美裝鋼板應用金屬製品ハ其ノ新興途上ニ於ケル意氣見ルベキモノ有リ、其ノ生産組織ノ擴充ニ依リ或ヒハ輸出向製品トシテ前途有望ノ物ナラント思惟サレルモノデアアル。尙ステンレス應用ノ卓上鏡等其ノ津洒タル姿ハ近代人ノ感覺ニウナツカサレル物ガアラウ。ゴールトグラスト銘打タレタル中島祥晴氏出品ノ硝子製品ハ氏多年ノ研究ニ係ル獨自ノ製品ニシテ正ニガラス工藝界ニ於ケル一新生命ヲ開キタル物ト云フベク、之ガ品種、形態ノ的確ナル選定ト、判斷ニ依ツテハ大イニ輸出振興上寄與スベキ物トミラレルノデアアル。

其他、紙器、竹製品、動物人形等以上傳統特産品ノ新規需要へノ換起、新興製品ノ勃興、兩者相競ツテ、多岐、多彩、一路輸出振興へノ路ヲ歩ム姿ヲ見ラレルデ有ラウ。

福岡縣出品物内譯

布帛製品	百三點	陶製品	十一點
籃胎漆器	二〇點	金屬製品	十三點
竹製品	二點	窯業製品	十一點
動物人形	十一點	紙器	三點

大分縣

審査員 加地卓一

古來吾ガ大分縣ニハ歴史ニ誇ル傳統的工藝品至ツテ少ク僅ニ別府ヲ中心トシタル竹細工ガ土産品トシテ店頭ヲ賑ハ

シ中津ノ指物、日田漆器ガ唯一産業工藝品トシテ縣下ヲ風靡シ居タルニ過ギナイガ近時工藝振興ニ對スル氣運ガ全國ニ漲リシヨリ急激ナル發展ヲ示シ竹工、木工、漆器ニ七島蘭ニ多角的發展ヲ續ケ今ヤ當業者モ指導者モ一致協力前途ノ光明ニ向ツテ飛躍的躍進ヲ示シツ、アル現況デアアル。即チ別府ヲ中心トスル竹細工ハ其ノ生産額ニ於テモ又生産量ニ於テモ全國ニ冠タル盛況ヲ示シ年産額百五十五萬圓、従業員壹千名ト稱セラレ、全國有數ノ副業的産業トシテ注目ヲ引キツ、アル。最近竹人形ニ於テハ其趣味嗜好外國人ニ適シタル結果海外市場ニ輸出サレタルモノ昨年度ノ統計ニ於テ貳拾萬圓ヲ突破スル現況ニアルハ、吾々ノ誠ニ意ヲ強クスル處デアアル。斯ク盛況ヲ示シテ居ル竹細工モ其歴史ヲ顧ル時僅ニ、三四十年ヲ經過シタルニ過ギナイモノデ明治十七年創立ノ徒弟程度ノ工業學校ニ竹籃科、漆器科ヲ置キ其製作技術ヲ專習セシメタノニ始マリ惜クモ學校ハ中途廢止サル、ノ不運ニ遭遇セルモ其子弟ハ永ヘニ養ハレ改良ニ改良ヲ加ヘラレ別府泉都ノ世界的宣揚ト共ニ隆盛ヲ來シ新意匠相次イデ起リ今ヤ當縣重用産業ノ地位ヲ占メ振興竹細工トシテ本展覽會ニ試作シタル竹ニ配スルニ漆器金屬ヲ以テセル作品ハ將來益々期待サル可キ製品ト思料セラル。

次ニ當縣ニ誇ル工産品トシテノ黄楊細工ガアル。其纖細巧妙ナル技巧ハ他ノ追從ヲ許サナイ製品デ内外ノ賞讃ヲ博シ近時木製小工藝ノ喜バル、世界的風調ニ乘シテ試作シタルペーパーナイフ、シガレットケース、ボタン、バツクル等ノ巧妙ナル技工ハ見逃シ得ナイ作品デアアル。

又、竹小口ト黄楊金屬ノ綜合製品ハ其技工、着想ノ妙共ニ見ルモノノ注意ヲ喚起スル作品デアアル。

新興産業都市大分、中津市ノ木工界ハ近時益々小工藝品製作ニ其熱意ヲ表シ着想、技工共ニ其面目ヲ一新シ、前途ニ對シ多大ノ希望ヲモトラシタルコトハ本縣ノ爲メニ誠ニ意ヲ強クスル處デ將來本縣木工中心地トシテ一大飛躍ヲ遂グ可ク期待サルル處實ニ甚大ナルモノガアル。

日田漆器トシテ其堅牢ヲ誇ル日田漆器會社ハ近時漆器漆地ノ改良ニ着眼シ多年ノ研究ハ酬ヒラレ絶對ニ狂ヒノ生ジナイ乾漆漆器漆地ニ成功シ本試作出品物ハ總テ此ノ漆地ヲ以テ製作シタルモノデ其製法ハ今ヤ特許出願中ナルモノ内部ニ漆、麻布、金網其他ノ材料ヲ以テ原板ヲ作りプレスニヨリ製作シタルモノデ近時狂ハザル漆地トシテ「ペークライト」「アルマイド」其他種々ナル漆地ノ研究モ漆器漆地トシテ未ダ充分デナイ時、此ノ乾漆漆地ノ成功ハ實ニ本邦漆器界ノ爲メニ萬丈ノ氣ヲ吐クモノト云フモ敢テ過言デハナイト信ズ、近時漆器輸出ノ不振ノ一ツハ漆器漆地ノ改良ニアル時此ノ漆地研究ノ前途ハ實ニ洋々タルモノデアル。

本展覽會試作品ハ表面何等木製漆地ト異ナル處ハナイガ、日田漆器會社多年苦心ノ結晶試作品ニシテ觀覽者ノ特ニ注意ヲ喚起スル次第デアル。

佐賀縣

審査員 一條茂喜司

佐賀縣ノ燒物ハ朝鮮ヨリ來レル李參干ノ歸化ニ依ツテ其ノ技術ハ移植セラレ約三百年ノ歴史ヲモツテキテソノ後柿右衛門ヲ初メ幾多ノ名工出デ色鍋島古伊萬里ノ特色アル逸品ヲ製出シテソノ和聲内外ニヒビキタレドモ近來ノ製品ハ三四ノ大工場ヲ除ク外ハ製品ニ於テモ又其ノ生産高ニ於テモ余リ振ハズ近年ハ尾濃地方ニ押サレ氣味デアル。ソノ原因ハ原料關係ニヨルモノモアレド余リニ傳統ノミニ囚ハレ時代ノ趨向ニマツチスル様ナモノヲ作ル者少ク明治時代ニヤツテ居ツタモノト近來ノ作品ト余リ變リハナイト思フ。

我々指導機關トシテハ技術的ノ改良研究ハ勿論ナレドモ圖案形態嗜好ニ於テ近代人ノ用途ニ適合スル様ニシテモツ

ト宏ク内地ハ勿論海外ニモ大イニ有田燒ノ特長ヲ持ツタ製品ヲ作り大ニ發展サシタイト思ツテキル。ソノ意味ニ於テ此度ノ我々ノ指導機關ニ於テハ古イ傳統ヲ有スル有田燒ノ特長、古伊萬里、柿右衛門、色鍋島等ノ模様ヲ近代的ニモデイファイシテ用途ニ於テハナルベク現代ノ生活ニアテハマルモノヲ作ラウト試ミテキル。

尙元來佐賀縣ニハ磁器以外ノ燒物ハ少カツタガ我々ハ日本最古ノ陶磁器發生地トシテ如何ナル燒物デモ出カシタイト思ツテ研究シタ結果「クリーム陶器」「昭和唐津」等ノ新製品ヲ試ミタ。

陶業者ニ於テハ近來非常ニ目覺メテ來テ青年工藝家ヲ初メ古イ工場ニ於テモ彫刻ニ、圖案ニ、釉藥相當研究ヲ重ネ最近ニテハ文展ヲハジメ商工展ソノ他幾多ノ展覽會ニ入選スル者ガ輩出シタ。近來ハ内地ハモトヨリ海外輸出ニ於テモ相當ノ進出ヲ見ツツアツテ高級美術品ヲハジメ日用飲食器、室内裝飾品、文房具、帶止カフス釦等ノ裝身具又ハ工業的方面ニ於テハ硝子、耐酸磁器、建築陶材、火鉢、樽、瓶類ノ容器等ノ製品ニテ年産額有田ヲ中心ニ約三百數十萬圓ノ産出ヲシテキル。

此外鍋島緞通及假裝用マスク等ノ出品モアルガ之等ハ今後段々研究シテ海外ノ需要ニ適スル様ニ改良ヲ加ヘタナラバ輸出向トシテ將來性アランカト思ハル。

熊本縣

審査員 田島蕃樹

出品總點數 一六二點 人 員 二二名
其品目、金屬工藝、陶磁器、漆器、木竹工藝、布帛加工品其他雜類等多種多樣デ孰レモ輸出向工藝試作品トシテ相

當研究シタルモノデアルガ本縣ノ尤モ特異性ヲ持ツモノハ木竹工藝ト漆器デアル。

木材ハ球磨連山ニ産スル地茶、柞、山柿、櫟等ノ特種柰ハ他縣産ノ夫レニ比シ一種獨特ノ美觀ヲ有スルモノデ之レヲ材料トシテ其ノ地柰ノ美ヲ飽クマデ發揮スベク「ラツカー」仕上ラシタモノデアル。

竹材ハ大分縣ニ次ギ良質ノモノデ然モ大分縣ト全ク行キ方ヲ異ニシタ所謂漂日竹器、或ハ球磨耕地社團人ノ高級竹製品デ未ダ意匠ノ足ラザル所ハアルガ他縣産トハ自ラ感ジノ異ナル行方アルヲ發見スルノデアル。

漆器ハ細川幽齋公時代ノ特別獎勵ニヨリ發達シタモノデアルガ現今マデ常ニ内地需用ニノミ没頭シ輸出ト云フ觀念ニ缺ケテ居タノデアルガ此度遅レハセナガラ意匠ノ轉換ヲナシ始メテ輸出向トシテノ試作ヲ行ツタモノデアル。塗料作業ニハ自信ガアルガ新試作品トシテノ出品物ニ對シテハ各方面ノ充分ナル御批判ヲ願ヒタイ。

次ニ舉ゲ度イノハ本縣固有工藝ノ隨一トシテ肥後象嵌ト細川候御窯トシテノ高田焼、小代焼並ニ水ノ平焼之ニ加フルニ新進鶴城焼デアル。

本來ガ陶器デ全ク日本趣味ニ終始シタモノデアル爲メ本會ノ趣味ニ添ハナイ處ガ多々アル事ヲ遺憾ニ思ツテ居ル。布帛加工品ハ肥後獨特ノ肥後紬ヲ素地トシテ「ローケツ」染トシテ仕上ゲタモノデ、絹紙應用ノ日傘ハ研究日尙淺ク意匠ニ技巧ニ未ダ遺憾ノ點ハアルガ養蠶縣トシテノ本縣ノ行クベキ一ツノ方法ト確信シタイ。

最後ニ本縣工藝指導機關トシテ唯一ノ存在タル市立商工研究所ノ出品デアル漆器、木竹製品ニ毅然トシテ一頭地ヲ拔クノ觀ヲナシ本縣出品ノ誇リトスル所デアル。

宮崎縣工藝事情

審査員 梨本 正太郎

昭和十年度ノ統計ニ據レバ本縣ノ工業額ハ前年ニ比シテ三五パーセントノ増産デアリ林産物ハ全國第四位デアル。シカシ工業額ノ大半ハ延岡ノベンベルグ製品デアリ又林産物ノ如キハ大部分原料ノ儘移出セラレル。從ツテ縣内ノ工業ハ未ダ搖籃期ニ屬シ寧ロ明日ニ待クネバナラヌ状態デアル。

昭和十年度ニ於テ林産加工研究ノ一助トシテ縣工藝ノ指導機關設立セラレタレド之ハ現在アル工業ヲ如何ニ指導スルカノ爲メデナク原料ノ儘移出セラレツツアル林産物ニ何等カノ加工ヲ地元ニテ施ス術ノ探究ニ外ナラズ之ヲナスタメニハ差シ當ツテ勞力資源ノ涵養ヲ第一トセネバナラヌ現状ナノデアル。

右様ナ次第故本縣ノ場合ハ九州各縣ノ場合ト其事情ヲ異ニシ國家ノ方針タル工藝振興ニツイテモ他縣ノ範ヲ直チニ取ツテ之ヲ指針トスル譯ニハ參ラヌ。今日勞働力ノ涵養ニツイテ如何ナル方針ヲ持ツテ居ルカト云フニ、ソレハ「規格ニ合ツタ製品ヲ作り得ル」工人ノ養成デアツテ舊來ノ生産者ニ向ツテハ夜間講習ノ繼續開催ニヨリ之ヲ達成シ、又指導所内ニハ小學卒業生ヲ收容シテ之ニ二ケ年間ミツチリ訓練ヲ施シテ居ル。若キ宮崎ガ之等ノ近代工業的訓練ヲ經タ勞働力ノ準備ヲ了シタ時ニハ地元ニテ興業ヲ盛ンセネバナラヌ。熟練工ノ都市集中、工業ノ集中化ニ對スル策ヲ講ズル必要ガアル。

本縣ニ於テモ現ニ多少ノ工藝的事業ガナイデモナイ。ソレハ延岡ノ家具、宮崎ノ盆類、都城ノ弓等デアアルガ、第一ハ地元ノ消費ニモ足ラズ、宮崎ノ盆類ハ移出セラレツ、アルモ、之ハ材料ノ強味デ出テ行クノデ未ダ精妙ナル加工技術ノ故デハナイ。弓ノ如キモ半加工品デ出テ行クノデアツテ、其他縣民ノ消費スル工産品一切ハ何レモ移入ニ俟ツノミデアツテ、漆器丈ケデモ年七十萬圓ノ移入高ヲ示シテ居ル譯デアル。

之ヲ以テ將來ハ單ニ移入額ヲ減少セシムル丈ケニテ多大ノ工藝的生產ガ期待セラル、譯デアアルノデ、目下本縣ニ於テハ所有角度カラ此問題ニツイテ、廣キ考究ガ進メラレツ、アル次第デアル。

要スルニ本縣工藝事情ハ現在ヨリモ將來ニ於テ大イニ伸展ヲ要スルモノガアル譯デアツテ此點デハ先進各縣ノ長所ヲ學ビ得ル特點ヲ有スルモノデアル。

鹿兒島縣

審査員 人 見 忠

鹿兒島縣ニ於ケル輸出向工藝品ト言ヘバ十指ニシテ止マラナイガ、差シ當リ薩摩燒、錫製品、竹製品、黃揚製品等ヲ學ゲナケレバナラナイ、何レモソノ素材ニ於テソノ技法ニ於テ固有ノモノデアリ、而モ輸出品トシテ相當量ノ販出ヲ見タモノモアル。殊ニ薩摩燒ノ如キハ傳統古ク「サツマ」ナル稱呼ヲ以テ海外諸國ニ喧傳セラレ、殆ド日本ノ陶器ノ代名詞タルノ觀アル迄ニ周知セラレテキルノデアルガ、今回ノ展示品ハ所謂輸出向薩摩燒ナルモノカラ聯想セラレル低俗ナル絢爛サヲ極力排シ外人ノ愛好措カザル淡卵色ノ高雅ナル生地ノ發揚ト用途ノ適應性ニ着眼シ試作セルモノデ技法ハ古來獨特ノモノナガラ、コレヲ新時代ノ形態ニ盛り主トシテ高級日用品ヲネラヒ新生活面ヲ拓イタノデアル。

マタ錫製品ハソノ原料ヲ縣内ニ仰ギ全國ニ於テ大阪ニ對抗スル唯一ノ産地タル盛名ヲ馳セ、商工省主催ノ工藝展及輸出展ニ於テ優秀ナル地方工藝タルノ折紙ヲ附ケラレテキルモノデ、技術ノ進歩ハ年々文字通りノ躍進振リヲ示シ、最近着色法ノ研究ソノ緒ニツキ面目ヲ一新スルニ到ツタ。

今回ノ出品物ハコノ新技法ヲ驅馳スルコトニ努メ即錫特有ノ色澤ニ配スルニ燻シ、艶消シ、着色等アラユル方法ヲ綜合シヨク錫ノ持味ヲ生カストトモニ新ラシキ用途トコレニ適合セル意匠ノ創作ニ重點ヲ置キ形成技術ノ如キモ旋盤加工ノ外、板金、切抜ノ技術ヲ加ヘ各種ノ新様式ヲ作成セルガ何レモ相當ノ効果ヲ得タモノト思フ。

竹製品ハソノ原料豐富ナルコト九州屈指ナルヲ以テ古ヘヨリ各種生産品ニ富ミ名産地トシテ名アルガ近來各地ニ竹工藝ノ勃興ヲ見ルニ及ビ殆ド全國ニ亘リコノ種製品ガアルガ獨リ孟宗竹幹ヲ利用セルモノハ蓋シソノ巨大ナルモノノ産地タル二ノ縣ニ止マリ本縣ノ如キモコノ特異ノ取材ニヨリ未ダ固有ノモノヲ確保シテキル。近來塗裝研究ニ力ヲ注ギ着々成果ヲ擧ゲテキル、今回ノ作品ニ就イテモ割竹製品ノ他コノ意味ノ作成ニ試ミノ手ヲ染メタ。

黃揚材モ又本縣ニ於テ大量ニ産シ早クヨリ櫛ノ産出アリト雖モ餘材アルヲ以テ更ニ輸出向工藝品ノ作製ヲ促シ服飾品ノ試作研究ニ努メテキル。

要スルニ本縣トシテハ特有ノ素材並技術ヲ以テ新ラシキ輸出品ノ作製ヲ指標トシ、指導獎勵ニ當ツテキル。今回ノ出品ハソノ片鱗ヲ示スニ過ギズトハ言ヘ、以テ前記指標ニ進ミツ、アル動向ヲ察知スルコトガ出來ル筈デアル。

沖 繩 縣

浦 北 勝 二

沖繩縣ノ漆器ニ關シ特ニ取上ゲテ御注意シテ頂キ度イト思フ點ハ、意匠並ニ其豐富ナル色彩ノ點デアル。

無論其他ニモ種々ノ特徴、例ヘバ強度ノ乾濕ニ堪ヘ得ル點(現在日本漆器ノ最大ノ缺點デアル)等々モアルガ、之ハ地方的ナ材料ノ持ツ特徴トシテモ以上ノ二點ハ數年來非常ナ苦心ノ存スル所デアル。

無論今回ノ出品物モ其ノ目標ヲ純然タル輸出品、特ニ歐米市場向ニ製作致シタ。從ツテソウ言フ角度カラ意匠ナリ其他色々御批判ヲ御願ヒシタイ。ソレカラ今一ツハ堆錦ノ技法デアル、古來ノ手法ヲ新シク生カシタ點デアル、最モ一二昔風ノ物モアルガ而シテ獨特ナル明朗性、新鮮ナ感じヲ出シ得タト思フ。

尙余分デハアルガ前述ノ諸工ノ研究改良ノ結果逐年歐米方面ニ輸出ノ増加ヲ見ル様ニナツタ事ヲ附記シタイ。次ニ陶器デアルガコレハ色々御批判モアラウガ、要スルニ一種沖繩縣特有ナブリミライープナ持味ヲ見テ頂キタイ。無論大量輸出スル様ナ實用品ト思ハナイガ、コレモ將來ノ改良改善如何ニ依ツテハ趣味品トシテ多少ノ輸出モ可能デアラウ。

先ヅ以上ノ様ナ觀點カラ充分ナ御觀察御批判ヲ御願ヒシ度イ。

第七章 九州沖繩各縣商工課長、全各市産業課長並ニ

同各縣市工藝關係官職員協議會

會期 昭和十二年五月六日、七日、八日ノ三日間
會場 大分縣殖産館 (別府市濱脇海岸)

第一節 協議日程

第一日 五月六日(木曜) 午前十時ヨリ
開會ノ挨拶 大分縣知事
別府市長
商工省工務局工業課
商工技師 谷内治橋
說明

協議事項 午後一時ヨリ上程

提出者ヨリ協議事項ノ説明

第二日 五月七日(金曜) 前日ニ引續キ午前十時ヨリ開會

決議

工場視察 午後一時ヨリ

第三日 五月八日(土曜) 別府市主催國際溫泉觀光大博覽會視察
閉會

第二節 出席者

(順序不同)

商工省商工技師	谷内治橋
長崎縣商工課長	福田忠光
同 商工技師	白石盛香
長崎市勸業課長	横山富士丸
福岡縣商工課長	奥田良三
同 商工技師	須藤雅路
同 商工技師	小池岩太郎
福岡市産業課長	佐藤弘

久留米市産業課長 待鳥 新太郎
 門司市社會課長 白杵 丈次郎
 小倉市産業課長 福江 正義
 若松市産業課長 大村 信雄
 大牟田市主事 小川 竹次郎
 八幡市産業課長 原田 知介
 同 商工技師 則元 醇郎
 戸畑市産業課長 坂田 利郎
 直方市産業課長 上川 虎吉
 飯塚市産業課長 山田 正藏
 福岡縣出品協會 今泉 政吉
 佐賀縣屬(商工課) 二宮 理善
 同 商工技師 加藤 平雄
 佐賀市技師 野中 卯三
 唐津市産業課長 猿渡 富茂
 熊本縣商工水産課長 今野 富造
 熊本縣地方商工技師 田島 蕃樹
 同 屬 茂見 補之

熊本市産業課長代 内田 鈴雄
 宮崎縣商工水産課長 鈴木 木太
 同 地方商工技師 梨本 正義
 宮崎市勸業課長 湯淺 正太郎
 都城市勸業課長 宮越 正人
 延岡市農林課長 甲斐 吉靖
 鹿兒島縣地方商工技師 谷崎 正一人
 鹿兒島市技師 土岐 純一
 沖繩縣工業指導所長 安屋 正量
 同 技師 田代 忠量
 那覇市勸業課長 屋嘉 宗恭
 大分市産業課長 同 技師 仲村 四郎
 同 技師 吉田 福彌
 別府市長 小野 廉
 別府市助役 猪股 喜藤
 別府市勸業課長 永松 登
 同 商工技師 井口 三郎
 同 書記 後藤 舍

- 一、第一項ノ展覽會ニ阪神地方等ノ貿易商ヲ招待ノ件 (大分縣提出)
- 一、本會ノ出品物中審査ノ結果優秀作品ノモノニ對シテハ特ニ中央及海外ニ於ケル展示會へ出品シ得ル途ヲ講ゼラレ度 (長崎縣提出)
- 一、將來工藝指導ニ關スル各種講習講演會等開催ノ場合ハ可成各縣ノ聯絡協調ヲ圖リタキコト (福岡縣提出)
- 一、九州沖繩工藝協會ニ美術部、觀光部、寫眞部ヲ設クルノ件 (宮崎縣提出)
- 一、輸出向漆器素地ハ如何ナルモノヲ最適トスルヤ各縣ニ於テ御研究ノモノニ就キ承リクシ (大分縣提出)
- 一、工業組合設立並ニ經營上特ニ注意ヲ要スル實際ノ狀況承リクシ (若松市提出)

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會規則案

第一章 總 則

第一條 本會ハ九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會ト稱シ長崎、福岡、佐賀、熊本、鹿兒島、宮崎、沖繩、大分各

縣聯合ヲ以テ之ヲ主催ス

第二條 本會ハ九州沖繩各縣ノ工藝試作品ヲ陳列展示シテ工藝品ノ改善指導並ニ製作獎勵ニ資スルヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ昭和十二年七月 日ヨリ 月 日迄 日間別府市濱脇海岸大分縣殖産館ニ於テ開催シ事務所ヲ同館内ニ置ク

第四條 本會ノ經費ハ主催者分擔金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第二章 職 制

第五條 本會ニ左ノ役職員ヲ置ク

- 會 長 一名
- 副 會 長 若干名
- 理 事 若干名
- 幹 事 若干名
- 委 員 若干名

第六條 會長ニハ開催地縣知事ヲ副會長ニハ會長ノ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 理事、幹事及委員ハ會長之ヲ囑託ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス
理事、幹事及委員ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

第九條 本會ニ顧問及參與若干名ヲ置ク顧問及參與ハ會長之ヲ推薦ス

一一二

第三章 出品

第十條 出品物ノ範圍ハ輸出ノ目的ヲ以テ試作シ又ハ製作シタル工藝品ニ限ル但シ左ニ掲グルモノハ出品スルコトヲ得ズ

- 一、衛生風俗ニ害アリト認ムルモノ
- 二、發火其ノ他危險ノ虞アリト認ムルモノ
- 三、製作後一年以上ヲ經過セルモノ
- 四、既ニ公開展示シタルモノ
- 五、追加註文ニ應ジ得ザルモノ
- 六、前項ノ外出品ニ適セヌ又ハ出品ノ價值ナシト認ムルモノ

出品物ハ一人十點以內トス

第十一條 出品者ハ主催各縣下在住者又ハ試驗研究機關ニシテ當該出品物ノ製作者若ハ自己ノ爲ニ製作セシメタル販賣業者ニ限ル

第十二條 出品申込ハ昭和十二年 月 日迄別紙様式ニ依ル申込書ヲ所屬各縣ヲ經由シ事務所ニ提出スルモノトス

第十三條 出品物ハ昭和十二年 月 日迄別紙様式ノ出品目錄ト共ニ所屬各縣ニ提出シ各縣ハ速ニ之ヲ取纏メ事務所ニ送付スルモノトス

第十四條 出品物ノ陳列及裝飾ハ本會ニ於テ之ヲ行フ但シ出品物ノ特別陳列ヲ希望スル者アル場合ハ之ニ要スル設備

及裝飾費用ハ出品者ノ負擔トス

出品物ノ搬入及搬出ニ要スル費用ハ出品者ノ負擔トス 但シ出品各縣迄取纏メ返送ノ場合ノ運賃ハ本會ニ於テ補助スルコトアルベシ

第十五條 出品物ハ鑑査ヲ經テ之ヲ陳列ス

第十六條 出品陳列ノ場所、面積ノ割當及陳列位置等ハ開催縣ニ於テ之ヲ決定ス

出品者ハ出品物ノ陳列ニ關シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第十七條 出品物ニ關シテハ本會ニ於テ賣約又ハ取引契約ヲ斡旋ス

第十八條 出品人ハ出品物ノ賣約手數料トシテ賣價ノ一割ヲ本會ニ納入スルモノトス

第十九條 出品物ハ本會ニ於テ十分保護ヲ爲スト雖運送途中ノ損害、盜難、天災、事變、其ノ他不可抗力ニ依ル損害ニ對シテハ其ノ責ニ任セス

第二十條 本會ノ指定シタル期間内ニ出品物ヲ搬出セザル時ハ出品人ノ費用ヲ以テ之ヲ返送スルコトアルベシ

第二十一條 出品物ハ出品者承諾ヲ得且ツ本會ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ撮影シ又ハ模寫スルコトヲ得ズ 但シ本會ニ於テ之ヲ撮影シ又ハ刊行セントスル場合ハ此ノ限ニ非ス

第四章 鑑査及審査

第二十二條 出品物ハ本會ニ於テ鑑査及審査ヲ行フ

鑑査及審査ノ方法ハ本會ニ於テ之ヲ定ム

第二十三條 鑑査ヲ分ツテ第一次及第二次トシ第一次鑑査ハ豫メ出品各縣ニ於テ第二次鑑査ハ本會ニ於テ行フ

一一三

第二十四條 第一次鑑査員ハ各縣ニ於テ第二次鑑査員及審査員ハ各縣一人トシ各縣知事ノ推薦シタル者ヲ會長囑託ス
 鑑査長及審査長ハ主務省技術官ニ委囑スルモノトス
 第二十五條 審査ハ第一次及第二次ノ鑑査ニ合格シタル出品物ニ付之ヲ行フ
 第二十六條 出品者ハ鑑査及審査ニ對シテ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得ズ

第五章 雜 則

第二十七條 開會時限ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルベシ
 第二十八條 本會ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲會期中講演會、懇談會等ヲ開催ス
 第二十九條 本會事務執行上必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會出品申込書

(申込期限昭和 年 月 日)

種類	番號	品名	点数	單價	價	摘要

摘要欄ニハ出品物ノ附屬品個數等ヲ明記シ陳列ニ付テノ希望ヲ記入

氏名
住所 縣 郡市 村町 番地

右貴會規則ヲ確守シ出品致度此段申込候也

昭和十二年 月 日

大分縣殖産館内 (別府市)

九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會係 御中

第四回 九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會出品目錄

(搬入期限昭和十二年 月 日)

種類	番號	品名	点数	單價	價	摘要

右出品候也

昭和十二年 月 日

大分縣殖産館内 (別府市)

九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會係 御中

備考 (種類欄ハ竹、木、金、漆、陶、布帛等ニヨリ種別スルコト)

出品物添付傳票

縣市		出品番號第	
號	第	番	品
摘要	出品人姓名	出品住所	價格金
			圓
			錢
出品番號第		號	
品名	價格	住所	氏名
		看	守

第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會經費豫算案

收入ノ部

科	目	豫算	備考
縣費	負擔	六〇〇	
國庫補助		八〇〇	
其ノ他團體負擔		六〇〇	
賣上手數料		一〇	
聯合各縣負擔		四二〇	別府市、大分市、中津市、日田町及別府商工會議所 長崎 福岡 佐賀 熊本 鹿兒島 宮崎 沖繩各縣各六〇圓
雜收入		一	
計		二、四三一	

支出ノ部

科	目	豫算	備考
陳列設備費		三五〇	
裝飾及人夫賃		二三〇	
監視人及傳		一五〇	
宣書印刷費		三〇〇	
圖書搬		一〇〇	
通信運搬費		二八〇	
消耗品費		五〇	
協議會費		三〇〇	
鑑審査費		三〇〇	
雜備費		一〇〇	
計		二、四三一	

一、小間割ニ關スル件

(大分縣提出)

一、工藝振興施設經費ノ經常化並ニ増額ヲ圖ルノ件

(大分縣追加提出)

一、紀元二千六百年記念萬國博覽會參加ニ關スル件

(熊本縣追加提出)

第四節 協議會速記録

一一八

佐藤大分縣商工水産課長 大變才待タセ致シマシタ。只今ヨリ第六回九州沖繩各縣商工課長、各市産業課長並ニ同各縣工藝關係官職員協議會ヲ開會致シマス。

越野大分縣經濟部長

エー私ハ本縣經濟部長越野デアリマス。會議ニ先キ立チマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス。

今回第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會開催ニ關シマシテ協議會ヲ開催スルコトニ至シマシタコトニツキ關係縣民ニ代リ御禮ヲ申上ゲマス同時ニ斯ク多數御出席下サイマシタコトハ洵ニアリガタク、厚クオ禮ヲ申シ上ゲマス。

御承知ノ如ク、本邦ノ輸出貿易ハ昭和七年以來其ノ躍進ハ目醒シキモノガアリマシテ、殊ニ近年ハ世界各國ガ此ノ輸出ヲ防壁シ或ハ關稅橋壁ヲ設ケルトカ色々ナ事情デ此ノ躍進途上ニアル日本商品ノ輸入ニ防壁ヲ與ヘテ居リマスガ、其ノ障碍ニモ拘ラズ我ガ日本商品ハ是等ノ橋壁ヲ突破シマシテ益々新路ヲ開拓シ非常ニ目ザマシイ躍進ヲ續ケテ居リマスコトハオ五ニ洵ニ力強イ所デアリマス。殊ニ我ガ國工業品ガ世界ニ進出致シマスニツキ將來益々是等ノ消費ヲ増昂致シマスト共ニ製品ノ眞價發揚ニツキオ五ニ協力努力シテ居ルノデアリマスガ、中ニハ隨分組惡ナ製品ガ輸出サレル非難ノ聲ノアリマスコトハ眞ニ遺憾ナコトデアリマシテ、斯クテハ我ガ國ノ信用、日本ノ文化程度ヲ疑ハシムルコトナリ洵ニ残念ナコトデアリマス。此際一層關係當該者ニ於テ熱誠以テ工業ヲ獎勵シ一面販路擴張ニ努力致シタイノデアリマス。現在日本ニ於テ行ハレテ居リマス、是等獎勵ニ關シマシテハ工藝品ノ陳列、見本試作展覽會ノ開催等ニ依リ業者ヲ獎勵シマシテ技術ノ向上進歩ヲ計ツテ居リマスノデ、九州沖繩各縣ニ於カレテモ此ノ趣旨ニ依リ昭和九年以來長崎、熊本、福岡各縣ニ於テ夫々展覽會ヲ開催サレマシテ多大ノ成果ヲ收メラレタコトハ洵ニ御同慶ノ

至リデコザイマス。本年ハ我ガ大分縣ガ之ヲオ引キ受ケラシマシテ之ヲ開催スルコトニナリマシタガ之ニツキ充分オ打合セテ致シ萬全ヲ期シタイト考ヘマシテ本日御會合ヲ煩ハシタ次第ゴザイマス。何卒充分御意見ヲ御發露下サイマシテ展覽會開催ニ關シマシテ豫期以上ノ成果ヲ收ムルヤウ御聲援ヲ願ヒタイト思ヒマス。本日ハ實ニ私共ノ都合ニ依リ此ノ會議開催ガ遅レマシタ段ハ悪シカラズ御容恕ヲ願ヒ致シマス。一寸御挨拶ヲ申上ゲマス。

小野別府市長挨拶

私ハ別府市長ノ小野廉デアリマス。本日九州各縣市商工課長、其他各位ノ會議ヲ當地デ御開

催ニ相成リマシテ九州沖繩各縣當該官ガ我ガ國工藝ノ進展發達ニツキ慎重御協議ナサルコトハ洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ次第デアリマス。此ノ機會ヲ拜借致シマシテ我ガ別府博覽會開催ニ關シマシテ之レガ宣傳其他ニ關シマシテ多大ノ御同情ト御援助ヲ下サイマシタコトニツキ一言オ禮ヲ申上ゲマス。

御承知ノ如ク我ガ別府市ハ曩ニ溫泉大博覽會開催ヲ企テマシテ皆サマノ心カラノ御賛同ヲ得マシタガ此ノ博覽會ノ中心地ノ規模ノ廣大、設備ノ完全ニ連レ各地方ノ特産品ヲ多數御出品下サイマシテ亦溫泉觀光ノ設備ヲ整ヘルニ至リマシテ夫レガ原動力トナリマシテ全國各都市ノ御同情ニ依リ産業館、溫泉館、觀光館等ノ完備ヲ見タ次第デアリマス。去ル三月二十五日日出度開會致シマシテ、オカゲヲモチマシテ本年ハ中心設備タル産業本館、溫泉館、觀光館トモ何レモ優劣ナク遜色ナク燦然トシテ輝キ地方ニ一大異彩ヲ放チ、參觀者ヲ驚嘆セシメテ居ル次第デアリマス。而シテ開會以來天候ニ恵マレマシテ逐日入場者ハ増加シテ盛況ヲ呈シテ居ル次第デアリマス。之ハ皆サマノ深キ御同情ト絶大ナル御援助ニ依リマス所デ、茲ニ深ク謹ンデ御禮ヲ申上ゲル次第デアリマス。會期モ餘ス所數日ニナツテ居リマスガ幸ヒ今回此ノ會議ニ御參列アラセラレタ皆様ニモ何卒篤ト御覽下サイマシテ御批判下サイマシト共ニ尙ホ此ノ上ノ御指導等ヲオ願ヒ申シタイコトガ念願デアリマス。尙ホ重ネテ厚クオ禮ヲ申上グル次第デアリマス。

谷内商工省商工技師挨拶

コ、ニ御參集ノ皆サマノ内豫テオ目ニカ、ツクオ方モアリ未ダ一度モオ目ニカカツ

一一九

タコトノナイ方モアリマスカラ一應御挨拶申シ上ゲマス。私ハ商工省ニ於テ工業振興ニ關スル仕事ニ當ツテ居ルノデアリマス。此ノ會議ニ工業課長ガ參リマシテ皆サマニオ目ニカカリ御挨拶申シ上グル筈デアリマシタガ、種々會議ノ關係モアリマシテ來ルコトガ出來マセンノデ、私カラ代ツテ皆サマニヨロシク傳ヘテクレトノ事デアリマシタ。

御承知ノ如ク商工省ハ昭和八年六月カラ色々工業振興ニ關スル豫算ヲ計上致シマシテ各地方ノ工業産業ノ改善等ヲ講ジテ之レガ施設ヲ致シマシタガ、政府ノ計上致シマシタ仕事ハ非常ニ僅カデ經費モ僅カデアリマスノデ工業政策ニツイテモ遺憾ノ点ガ多イノデアリマス。吾々トシマシテモ是等ニ力ヲ盡シテ居ル次第デアリマス。是ニツキ吾々ハ皆様ニ工業振興ニツキ御盡力ヲお願いシタイノデアリマス。

御承知ノ如ク日本ニハ廣ク工藝ト云フ立派ナ技術ガアリナガラ其ノ言葉ノ響キト申シマセウカ只ダ夫レガ地許ノ仕事ノヤウナ響キヲ有タセラレル傾向ガアリマスガ、之ヲ廣義的商品トシテモ一少シ其ノ物ヲ一般ニ考ヘテ、廣イ意味ノ工藝的需給ヲ計ラナケレバナラス。私ハ左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス。夫レデハ過去ノ工藝品ハドユーモノデアリカト云フ面倒ナコトハ私ハ詮議立テヲナス考ヘハナイノデアリマスガ、先キ程會長サンノ言葉ニアリマシタ通り昭和八年度以降、日本ノ海外貿易ハ非常ニ進展、非常ニ躍進ヲ見テ居リマスガ、此ノ海外ニ持ツテ行カレル商品ノ内、恒久的工藝品ニ對シ非難サレヌヤウニ努力シタイ考ヘラ有ツテ居ルノデアリマス。今我が國産業上如何ナル需要關係ヲ有ツテ居ルカト云フコトヲ申シ上ゲマス、昭和七年ニ拾四億九百萬圓デアツタ日本ノ輸出ノ總額ガ昭和十一年ニハ貳拾參億九千六百萬圓ト云フ非常ニ躍進ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス。其ノ内工藝品及ビ工藝的技術ヲ應用スルモノガ大部分ヲ占メテ居リマシテ其ノ商品價値ヲ向上シ得ルニモ拘ラズソウユウモノニ對スル印象ガドウデアアルカト思フノデアリマス。尙ホ日本ノ海外輸出商品ハ食糧品、原料品、藥品等ノ製品全成品デ一般ニ全成品ト云フ大部分ハ工藝品デ工藝的改良ニ依ツテ其ノ産額ヲ非常ニ増大スルモノト私ハ考ヘルノデアリマス。先キニ申上ゲマシタ通り貳

拾參億九千六百萬圓ノ内工藝的改造ヲナン産額ヲ増大シ得ルモノハ拾參億九千九百萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマスガ其ノモノノ名稱ハ綿織物、人絹織物、絹糸織物、絹ハンカチ、メリヤス製品、帽子、釦、身邊裝飾品亦ハ陶磁器、硝子及ビ其ノ製品金屬製品機械ナド及其ノ部分品、玩具ソウユウヤウナモノガ此ノ全成品ノ内ニ包含サレテ居ルノデアリマス。其他色々モノガ此ノ全成品ニ含まレテ居ルノデアリマス。此ノ日本ノ商品ハ非常ニ安イノデアリマスガ、私ハ商品ガ安イカラ多ク輸出サレルトハ考ヘラレナイノデアリマス。安イト云フコトガ一番ノ武器デハナイノデアリマス。即チ外國デハ安イ日本ノ商品ガドシク輸入サレルノデ關稅ヲ高クシテ輸入制限ヲスルヤウ色々ノ割當テ制度ヲ設ケルトカ云フ様ニ關門ヲ創設シテ居ルト云フ有様デ日本デ從來一番ノ武器トシテ居ツタコトモ非常ニ弱メラレルト云フコトニナルノデアリマス。私ドモトシマシテモ從來任サレテ居タ仕事モナクナルト云フコトニナルノデアリマス。是レハドウシテモ根本的ニ其ノヤリ方ヲ變ヘナケレバナラスノデヤナイカト思フノデアリマス。値段ガ安イト同時ニ其ノモノガ實用的ノモノデナケレバナラス、ソウユウ趣旨デ活動スルコトガ大切デハナイカト考ヘタノデアリマス。今日日本ノ海外的工業品各種製品ガ外國ニ輸出サレマスガ殆ンド直接ニハ夫レガ不適當ナノデアリマス、夫レデ日本品ノ外國ヘノ輸出ニ對シ大イニ考究シナケレバナラスト云フ考ヘ方モ一部ニハアルト考ヘテ居ルノデアリマス。尤モ大工業國ニ精進スル上ニ於テ家内工業ノ發達モ必要デアリマスガ、一面日本品ノ外國向キニ對シテモ之レガ發達ヲ考究シナケレバナラスト思フノデアリマス。前述ノ趣旨ニ基キ相談相手ヲ求メラレルナラバソウユウコトニ携ハルノガ仕事デアアル、私達ノ仕事デアルト考ヘルノデアリマス。先キ程モ申シ上ゲマシタヤウニ輸出ノ約六割ニ達スル工藝全成品ガ漸次衰ヘツ、アルコトヲ認メマシタ結果モウ少シ日本品ヲ現在ノ國情ニ適シタ方法デ生産ノ方法ヲ改善シナケレバナラスト云フコトガ工藝振興等ト云フヤウナ仕事ノ上カラモ意義アルコトデハナイカト考ヘラレルノデアリマス。今一例ヲ以テ申シ上ゲマスト從來静岡デモ年産參百萬圓ソクノ小サイ家庭中心ノ如キ綿織物ガ相當大キナ

モノトナリ何千萬圓一億圓程度ノ生産額ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス。亦静岡漆器ノ如キモ近來十倍近クノ増進トナツテ居ルノデアリマス。コウユウコトカラ見テ私ドモハモツト躍進的ニ考ヘナケレバナラヌ大キナ問題デアルト考ヘルノデアリマス。ソウユウ風ナ考ヘ方ヲ以テ工藝品ト云フモノヲモウ一ペン吟味シナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス。所デ此ノ工藝品ト云フモノニ對シテ響トモ申シマセウカ特殊階級金持ノ間デハ立派ナ工藝品ト云フノハ形トカ色トカ立派デアレバヨイソウユウ考ヘ方ガアリマシテ我ガ國デハ、ズツト前カラソウユウ考ヘ方ガ自然認メラレテ來タノデアリマス。御承知ノ通り舊藩時代、昔ノ藩公時代ニハ其藩獨特ノモノヲ造ルト云フヤウナコトガ一種ノ誇リトシ同時ニ夫レガ對外的ニモ技術ノ標準トセシメラレタ結果其ノ業者モ其レヲ踏襲シマシテ技術的ニ精進シテ、賣ルト賣レナイトニ關係ナク商品の見地ヲ離レテ發達シマシタノデ私達トシテハコウ云フコトノ餘リ好マシクナイコトト思フノデアリマス。詰マリソウユウ人達ニ依ツテ發達シ、ソウユウ人達ニ依ツテ今日マデ繼續サレタ工藝品ト云フモノハ一般ニ向ク立派ナ工藝品トハ云ヘナイノデアリマス。昔ノ技藝一点張りト云フ考ヘ方ヲサレルト云フコトハドウカト思フノデアリマス。ソウユウヤウナ實用的ト非常ニ矛盾シタモノヲ全國的ニ持チ廻ツテ居ルノデアリマスカラ生産的ニ見マシテモ今日ハ其ノ生産高ハ少クナイノデアリマス。ソコデ是等ニ對スル特別ナ保護獎勵ニ依リマシテ獎勵サレマシタ結果全國一般ニ美シイモノガ色々出來タノデアリマスカ、是レハ只ダ一部ノモノニ造ラセタタメニ偏造的トナリ實用的ニ遠イ憾ミガアルノデアリマス。成ル程美シイモノガ出來マスガ一般ノ人ニハ非常ニ高イモノトナリ實用ニハ適シナイノデアリマス。然シ日本ニ於ケル工業ハ右ノ様ナコトカラ日本品ガ非常ニ美術的傾向ヲ多分ニ有ツテ居ルノデアリマスカ、大工業進出モ亦此ノ工藝品其ノモノト密接ナル關係ガアルト云フコトガ一般ノ人ニ分ツテ頂ケルト思フノデアリマス。即チ工藝的需給ガ工業ト避ケ得ラレナイ多分ノ素質ヲ有ツテ居ルト思フノデアリマス。從來ハ是等ノ点ニ關シテハ全然顧ラレナカツタノデアリマスカ吾々ハソウユウ点ニツキ強ク工業トニ密接ナル

關係ヲ有タシムルモノデアツテ、今日マデハ全然開放的傾向ガアツタノデアリマス。ソウユウコトノ結果工藝品ガ世情ト違ツタモノガ造ラレタ結果中小工業ガ萎靡退嬰ニ陥ラントシテ居ルノガ現在ノ狀況ナノデアリマス。デ、アリマスカラ全國的ニ工藝ノ振興ヲ計ラナケレバナラヌト思フノデアリマス。從ツテ工業的價値ガナケレバ世界ニ雄飛スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス。若シ是等ニ留意スルコトナク此ノママ放置致シマスレバ日本ノ文化ヲ疑ハシメ、製品ノ増産ハ最モ困難トナルノデアリマス、今マデノヤリ方デスト安ケレバドン／＼賣レルト云フノデアイモノヲ造ル、從ツテ悪クテモ造ルト云フヤウニナリマスノデ外國ニ持ツテ行ツテモ賣レナイノデアリマス。造ツタノミデ賣レナケレバ何ニモナラナイノデアリマス。例令バ東京デ賣レタカラト云ツテ之ヲ九州ニ持ツテ行ツテ賣レルカ亦更ニ外國ニ持ツテ行ツテ賣レルトハ限ラナイノデアリマス。彼ノ静岡ノ漆器、此ノ漆器ハ日本ノモノデアリマスカ此ノ漆器ガ明治三十年カラ昭和八年頃マデハ相當賣レタノデアリマスカ漸次輕減シ從ツテ是レガ生産ヲ控ヘテ居ルト云フ有様デアリマスカ是ハ其ノ時代ニ添ハナイノト實用的ニ遠イ關係ニアルノデハナイカト思フノデアリマス。即チ只ダ内地ノ需要ヲ充タスト云フコトデ満足シテハイケナイノデアリマス。外國市場進出ニマデ活動シナケレバナラヌノデアリマス。否是ニ吾々ハ目標ヲ置クベキモノダト信ジテ居ルノデアリマス。從來日本工藝品ヲ外國ニ持ツテ行クニドウユウ方法ガアルカト云フコトヲ各地ニ參リマス度ニ熾ンニ質問ガ出マスガ私ドモ考ヘ方ヲ申シマスト輸出品、ハ從來ノヤウナ考ヘ方デハイケナイノデアリマシテ本當ニ向フノ實用的ナ生活ニ必要ナモノデナケレバナラヌ商工省デ輸出振興トカ商工振興トカ云フソウユウヤウナモノハ勿論日本ノ工藝刷新ノ上カラ申シマスト一方法トナルモノデアリマスケレドモ向フノ生活狀態ニ合致シタ其ノ生活ニ添フヤウニ安イ材料デ造ツタモノヲ持ツテ行クト云フコト此ノ見解ガ從來ノ考ヘト違ツタ所デアルノデアリマス。ソウユウ方法ヲ以テ新消費ヲ増加スルト云フヤウナコトニナルノデアリマス。私共ト致シマシテハ輸出工藝振興ヲ計ル上カラ申シマシテ生産ト販賣ト云フモノガ兩立シナケレバナラ

ス。此ノ二ツノモノヲ併行的ニヤツテ行カナケレバナラスト思ツテ居ルノデアリマス。ソウユウ風ナ方法ヲ御協議願フト共ニ九州沖繩八縣試作品展覽會ヲ本縣ニ開催シテ其ノ實需ニ應ジタ品物ヲ廣ク紹介シ有望ナモノト云フコトヲ大衆ノ研究ヲ願フ積リデアリマスカラ、輸出向キノ品物ヲ出品シテ頂キ商工省トシテハ輸出向キノ品物ニ對シ審査ヲ致シ日本工藝品展覽會ヲ開催致シ之レガ販路ヲ開拓スルト云フ仕事ヲ有ツテ居ルノデアリマス。特ニ申シ上ゲテ置キタイノデアチカラノ報告ヲ持ツテ參ツタノデアリマスガ、昨年福岡縣ノ展覽會ノ品物ヲ以テ今年ノ二月十五日カラ二週間シカゴトリツクデ展覽會ヲ開催シ日本工藝品展覽會ヲ去ル三月十五日カラ一週間佛蘭西コンブルホテルデ開催シマシタ。此ノホテルハ世界的ニ有名ナホテルデアリマス。我方皇族方ニモ當地ニオ着キニナリマス此ノホテルニオ泊リニナル位デアリマスカラ相當有名ナホテルデアアルコトガ首肯サレルノデアリマス。此處デ工藝品展覽會ヲ通ジテ米人ニ日本ノ工藝品ヲ紹介シタノデアリマス。或ハ廣告宣傳ノ方法ヲ採リ講演會等ヲヤツテ宣傳シタノデアリマス。其ノ結果非常ニ日本ノ工藝品ヲ紹介シマシテ從來ノ如ク安イモノダケデナク成ホド技術的美術的ニ非常ニ立派ナ日本優秀ノ工藝品デアルト云フコトヲ了解セシメ宜イ結果ヲ得タト云フコトガ報告セラレテ居ルノデアリマス。此ノ展覽會ハ其ノ品物ヲ賣ルト云フコトヲ第一ノ目標トセズ、色々ノ工藝品ヲ紹介スルタメノ展覽會デアリマシタカラ品物ハ格別賣レナカッタノデアリマスガ、其ノ後米國當局ト書類ガ交換サレマシタガ是レガ註文ニツキ私ハ大キナ期待ヲ有ツテ居ルノデアリマス。中ニハ一二大キナ註文ガ入ツタモノモアルヤウデアリマス、大体註文ガアリマシテモ當業者カラ一々報告ガアリマセンノデ分リマセンケレドモ、展覽會其他ノ宣傳ニ依ツテ外國カラ直接非常ニ註文ガアツテ文字通り殺倒シマシタ。又向フカラ調査ニ參リマシタ實例モアリマス。是等ハヨク調査シナケレバハツキリ申上ゲラレマセンガソウユウ風ニ相當註文ガ入ツタモノト考ヘマス。其ノ外日本ノ織物漆器ソウユウモノガ向フノ百貨店アタリカラ註文ガ參ツテ居リマス、ソウユウ様ニ展覽會ノ成績ガ良カッタノデモ一ベン「シカゴ」デ開會ノ希望ガアリマスカ

吾々トシテハ明年度ハ倫敦デ展覽會ヲヤツテハドウカト云フ計畫ガアツタノデアリマスガ出來マスレバモウ一ベン「シカゴ」デ開クヤウニ目下大藏省ト豫算ノコトデ交渉ヲ固メ、モウ一ベン「アメリカ」デヤル計畫ヲ樹テ、居リマスガ、日本ノ工藝品ガ向フニ行クト云フコトガ有望デアルト云フコトガ皆サマニモヨクオ分リニナツテ居ルコト、考ヘルノデアリマス。尙ホ工藝品ハドウモウ物ガヨイカ、ソウユウ様ナ方法ニツキマシテハ現地デ調査シ商工省デモ亦始終調査シ向フノ事情モ調査シテ居ルノデアリマス。出來ルダケクワシク皆サンノ參考ノタメ調査シテ報告ヲ皆サンノオ手許ニオ送リスルコトニナツテ居リマス。工藝品ヲ賣ルニツイテモ從來ノ考ヘ方デハイケナイト云フ様ナ參考ニナルモノ其ノ考ヘ方等ヲ能ク調査シテモライマシテ其レガ參リマシタノデ參考ニナルカト思ヒマス。二三日前ニ來タノヲ御參考マデニ申シ上ゲテオキマス。ソレハコチカラ向フニ持ツテ行クモノハドウユウ方法ガ宜イカト照會致シマシタノニ對シ、向フノ調査員ノ報告ニ依リマスト餘リ面白クナイ夫レデ更ニ日本工藝品ガドウユウ風ニ欲陷ガアルカト照會致シマシタ。夫レニツイテ日本カラ「アメリカ」ニ持ツテ行ク工藝品ハ先ヅ第一ニ、モウ少シ値段ハ高クテモ良イモノヲ持ツテ來ルヤウニシナケレバナラスト云フコトガ夫レガ先ヅ第一ニ算ヘラレテ居リマスガ、今日幾ラ高クテモヨイカラト云ツテモ其ノ高クテヨイト云フ標準ガ分ラナイ、幾ラ工藝品ノ製作ヲソウユウヤウニヤツテ見タ所デア「アメリカ」人ノ生活状態、收入状態ヲ知悉シナケレバ駄目デアアルノデ、先ヅ第一ニ其ノ点ニツキ報告シテクレロト云ツテヤツタ所其ノ報告ニ依リマスト「アメリカ」人ハ一般ニ四人ニ一台ノ割合デ自動車ヲ有ツテ居リマス。室内ニハ百弗位ノ絨氈ガ敷キ詰メラレテアルシ、一間々々毎ニ明ルク非常ニヨイ氣持デアルト云フコトヲ書イテ居リマス。ソウユウヤウニ彼等ノ生活ガ非常ニ富ンデ居リ、個人收入ノ多イト云フコトガ親ハレト報告シテアリマスガ、之ニ依リマスト生活程度ガ非常ニ高クナツテ居ル鐵工業職工ノ給料ニシマシテモ熟練、未熟練職工ヲ平均シテ一日七十二仙、邦貨ニシテ三圓程度トナツテ居リマス。亦「シャトル」ノ警察署長ガ年俸五千弗デ自動車マデ有ツテ居ル年五千弗ノ依給ハ邦貨ニ

ナオシマスト一萬七千圓トナリマスガ、一警察署長デサヘ是レダケノ俸給ヲ取ルノデアリマスカラ如何ニアメリカ人ガ一般ニ購買力ガ多ク収入ガ多イカト云フコトガ分ル。一人平均ノ収入ガ四百五十弗千六百圓ト云フコトニナル。アメリカ人ハ収入ガ多イノデ從ツテ購買力ガ高ク金廻リガ餘程良イラシイ、ソコデ日本ノ生活上高級ノモノデアツテモ向フニ持ツテ行クト低級ノモノモアル、日本人ニ高イト思ワレタ品物デモアメリカ人ニハ安イト思ハレル品物モ多イデアリマス。デアリマスカラ日本カラ持ツテ行ク品物ハソウユウ点ニツキ調査シテモライタイト云フコトデアツタ低級ナモノデ從來失敗シタモノモ算ヘラレテ居リマス。大体ニ日本カラ出テ來ル品物ハ粗悪デオ話ニナラナイ、日本デハ安イカラ賣レルトアメリカデハソウハイカナイノデアリマス。夫レデ此ノ点ニツキ當業者ニ自覺シテモライタイト云フコトデアリマス。日本カラ持ツテ參リマス工藝品ノ一番ノ目標ハ特ニソウユウ方面ニ置イテ頂キタイト思フノデアリマス。ドウモ日本カラ參リマス品物ハ遺憾ノ点ガ多イノデアリマスカラ充分向フノ生活ニ應ジタ品物、生活ニ合ツタヤウナ品物ヲ拵ヘテ頂クト云フコトガ將來日本工藝品ヲ海外ニ持ツテ行ク第一ノ條件ト思フノデアリマス。是レガ一番必要ナコトダト思ヒマス。引續キアメリカデ展覽會ヲ開催致スコトニナレバ是レニ先キ立チ内地デノ工藝試作品展覽會モソウユウ心持デ指導シテ頂キ充分コウユウ事ニ合致シタ品物ニツキ御指導ヲ願ヒタイト考ヘマス。尤モ地方々々ニ參リマス、日本商品ト云フ考ヘ方ヲシテ居ルノガ多イノデアリマスガ、私共トシマシテハコウユウ考ヘ方ハ、日本人デナケレバ分ラナイノデ、コウユウ考ヘ方ハイケナイノデアリマス。世界ノ文化ト云フモノガ殆ド急轉的ニ發達シテマイリマシタ際ニ工藝品ノ上ニモ舊來ノ考ヘ方ヲ脱シナイト云フコトハ私共トシマシテハイケナイノデヤナイカト思ヒマス。日本デハ如何ニ立派ナモノデモ向フデ分ラナケレバ買ハナイト云フコトニナルノデアリマスカラ世界共通ノ時流ヲ察知シテ品物ヲ造ツテ頂キタイト思フノデアリマス。今ニモ申上ゲマシタヤウニ時代的ニ合致シタ品物ヲ造ルト云フコトガ必要デアリマス。從來輸出ニツイテハ内地デハ工藝協會等ノ團體ガ盡力シテ居ルノデアリマ

スガコウユウ點ニ留意シテ居ラナイノデハナイカト思フノデアリマス。ドウシテモ生活ニ添フヤウナ工藝品ヲ造ルト云フコトヲ念頭ニ置カナケレバナラナイノデアリマス。實際吾々トシテモ時代ノ流レト云フコトヲ考ヘテ工藝品ノ製作ニ當ツテモソウユウ考ヘ方ヲ保ツテ頂キタイノデアリマス。舊藩時代ニハ其ノ藩ノ趣味嗜好ニ依ツテ造ラレタ工藝品ガ其ノマ、今日ニマデ及ンデ居ルモノガ多イノデアリマシテ時代ト懸ケ離レテ居ルモノガ多イノデアリマシテ、之ハ悪イ考ヘ方ト思ヒマスカラ注意シテ頂キタイ、其地方ノ特徴アルモノハ其ノ技術ヲ應用シテ頂クコトヲ非常ニ歡迎シテ居リマス。是等ノ点ニツイテハ平常當業者ノ方々ニ何カ御指導ナリ御鞭撻ナリヲ願ヒタイノデアリマス。皆サンニモ篤トソウユウ方面ニモ御留意ヲ願ヒタイト考ヘマス。夫レトモウツ申上ゲテ置キタイコトハ展覽會ニ出品ガ非常ニ多イノデアリマシテ總テノ地方デ立派ナ品物ガ出來ルガ其ノ地方ニ參リマスト大分違ツテ居ルノデ展覽會ノ實力ガ殆ド現ハレテ居リマセン、之レハ急造的出品ダト思ヒマス。之レハ甚ダ面白クナイコトデ展覽會ニ出品シタモノト少シモ違ハナイ品物ガ何時デモ出來ルト云フ風ニ其ノ方面ニモ御配慮ヲ願ヒタイ、ソウスルコトハ要スルニ日本工藝品ノ眞價ヲ高メアメリカハ勿論イギリスナリ、其他各市場ニ日本工藝品ガドン／＼乗り込ムコトガ期待出來ルノデアリマス。向フノ調査品ノ報告デハ日本工藝品ガ列ベテアルガ殆ド百貨店式デ一寸吾々ハ南洋ノ紹介展覽會ノヤウナ感じガスルトノ事デアリマスガ日本品ハ一体ニ粗悪デアルト云フコトハ調査員ノ一致シタ報告デアリマス。是等ニツイテハ當該者ノ自覺ヲ願ヒタイノデアリマス。大變長ク色々ナコトヲ申上ゲマシタゴソウユウ意味ニ於テ當業者ヲ鞭撻シテ頂カナケレバナラス、日本工藝品ノ紹介ニツイテハ商工省デモ色々一生懸命ニヤツテ居リマスガ是レハ商工省ノミデハ難カシイコトヲ關係各縣ノ方々ノ御努力ト御聲援ガナケレバ効果ハ擧ゲ得ナイノデアリマス。色々ナコトヲ申上ゲマシタガ、何卒御協力ヲ願ヒシタイノデアリマス。

商工水産課長

午前中ノ日程ハ終リマシタカラ午後一時マデ休憩致シマス。

午後一時會議

協議事項

一、第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會開催ニ關スル件

(大分縣提出)

佐藤商工水産課長 夫レデハ只今カラ開會致シマス。夫レニ先キ立チマシテ議長選定ヲオ願ヒシタイノデアリマスガ、此ノ際前例ニ依リマシテ主催縣ノ經濟部長ニオ願ヒシタイト思フノデアリマスガ御異議ハアリマセンカ。異議ナシ

商工水産課長 滿場御異議ガナイヤウデアリマスカラ、ソウユウ事ニ取り計ラヒマス。

越野經濟部長 夫レデハ前例ニ依リマシテ私ガ議長ニナリマス。

御手許ニ差上ゲマシタ協議ニ入ル前ニ昨年ノ協議會展覽會ニ就イテ福岡縣ニオ尋ネ致シマス。

福岡縣 福岡縣デハ四月六、七、八ノ三日間開催致シマシタ、其ノ折各縣カラ色々協議事項ガ出マシタガ此處ニ御報告スベキコトハ「國立指導所常設ヲ九州ニ設立スルノ件」ハ各縣ノ賛同ヲ得マシテ福岡縣知事ノ名前デ申請スルコト、ナリマシテ、福岡縣知事ガ代表シテ夫レヲ商工省ノ方ニ申請致シタノデアリマス。今ハツキリ文面ハ記憶致シテ居リマセンガ特ニ御參考ニナリマスヤウデシタラ歸リマシテ早速御送り申シマシテモ宜シウゴザイマス。九州工藝協議會ニ關スルコトハ其ノ時各縣ニ協議會ヲ作り工藝協會聯合會ヲ福岡ニ置クト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ聯合會ニマデハマダ進ンデ居ナイノデゴザイマス。福岡縣ノ立場カラ福岡縣ニ作ルコトニシタイノデアリマス。展覽會ハ四月十日カラ十六日マデ七日間福岡工業獎勵館デ開催致シマシタ之ニツイテハ其ノ折ニ皆サマガ御來福ニナリマシ

テ御承知ノコト、存ジマス。協議事項ノ内九州沖繩工藝協會並ニ工藝指導常設ニツイテハ先キ程申シマシタコトニツキ御質問ノ点ガゴザイマシタラ御返事申シ上ゲタイト存ジマス。甚ダ簡單デスガ。

議長 夫レデハ別段オ尋ネモナイヤウデアリマスカラ此ノ協議事項ヲ順々ニオ話ヲ願ヒマス。

(第四回九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會開催ニ關スル件朗讀)

商工水産課長 只今議題トナリマシタ件ニツキ御説明申シ上ゲマス。之レニ關スル一ノ案ガアリマス。第十五頁ニアリマス其レト同時ニ豫算案ヲ之レニ附隨致シテ居ルノデアリマス。此ノ豫算案ハ第二十三頁ニゴザイマスカラ逐條朗讀致シマシテ御説明申シ上ゲタイト存ジマス。

別項規則第一章朗讀

熊本縣 之ヲ前回第一回長崎ノ時ニ此ノ規則ガ出來テ居ルト思フカラ其ノ規則ノ改正案ヲ提出シテ御説明ニナルノガ順序デアリマセンカ。

議長 成ルベク一所ニオ願ヒシタイ。

姫野館長 速記ヲ致シテ居リマスカラ御發言ノ際ハ御氏名ヲ申サレル様ニオ願ヒ致シマス。

熊本縣 昨年福岡縣ニ於キマシテモ矢張改正案ト云フコトニナツテ居リマシタガ。

商工水産課長 改正案トシテハ大分縣ハ提出致シマセンガ只今熊本縣カラ御提議ニナリマシタガ大分縣提出ノヤウナモノデヤルト云フダケノモノデアリマシテ別ニ改正案トシテハ出シマセンガ逐條審議ノ際改正ノ点モ御承認ヲ願ヒタイト思ヒマス。

熊本縣 大体分リマシタガ毎年之ヲ審議致シマスヨリ改正トカ修正トカノ点ダケヲ審議シタラドウカト其ノ点ヲ

中シ上ゲマシクノデアリマス。

議長 ヤカマシイ問題トセズニヤリタイト思ヒマスガ展覽會規則案ト云フコトニ大体決ツタモノガアリマスカ。
加地工業試験場長 長崎、熊本或ハ福岡ノ時モ先ヅ此ノ規則案ナルモノヲ決メタノデアリマシテ、大体昨年ノ規則ニ倣ツテ拵ヘマシタモノデ此ノ規則案ハ大分縣ガ決メタワケデス。但シ之レハ今マデノ規則ニ殆ンド準據シ只ダ一部ヲ改正シタダケデアリマスガ其ノ骨子ハ何等異ツテ居ラナイノデアリマスカラ左様御承知ノ上御協議ヲお願い致シマフ。

熊本縣 第一回ノ時ニ規則ヲ作ツテ第二回ニ審査ヲヤルコトニ規則ヲ修正シ昨年モ矢張り規則ヲ作ツタヤウニハ考ヘテ居ラヌノデ其ノ骨子ガ違ハヌナレバ其ノ修正ノ点ダケ審議サレタイト思ヒマス。

議長 之レハ恐ラク大分縣獨特ノ新ラシイ案トシテ書イタモノデハナイカト思ヒマスガ熊本縣カラノ御提議モアリマスカラ之ヲ審議シマス前ニ第一回ノ案ヲ取り寄セルマデ後ト廻シト致シマス。

福岡縣 第一回第二回ヲ經テ參リマシテ第三回協議會ノ席上デ此ノ案ノ協賛ヲ得テ居リマスノデ此ノ會ノ規則ニナツテ居リマス。

熊本縣 私ハ此ノ際ハツキリ決メテオイタ方ガ將來ニ向カツテヨクハナイカト云フ考ヘデス。審査員ノ規定ヲ限ツテ是レダケ入レタイト思ヒマス。

議長 第四回デハツキリ決メルト云フコトナシニソウユウ規定ハ亦根本的審議案トシテ今後御審議ニナツタラドウデス。

異議ナシ〜〜

議長 夫レデハソウユウ風ニヤツテ頂キマス。聯合試作展覽會規則案ヲ朗讀シテ逐條御協議ヲお願いシタイト思

ヒマス。

加地場長 私カラ先程申シ上ゲマシタ様ニ事務進行上比較的不便ヲ感じテ居ルヤウナ事デ新タラニ其ノ案ヲ提出シタノデアリマス。從ツテ熊本縣御提出ノモノヤ長崎縣御提出ノモノモ逐條進行致ス内ニ充分筋ツテ來ルノデアリマス。條文ヲ審議シマシテ若シ私ノ方ノ提出シタ案ヲ更ラニ長崎縣御提出ノ案ヲ變更サレタ所ガアリマシタラ其レヲ修正サレタ上デ更ラニ其ノ全文ヲ修正スルコトニシタイトデアリマス。何卒御審議ヲ願ヒマス。

若松市 只今ノ御説明デ大体提案趣旨ハ分リマシタガ此後モ熊本縣ノ様ナ御意見ガアツタ場合、問題ノ起ラナイ様ニシテハドウデスカ。

佐藤課長 此ノ案ヲ作リマス際御照會申シ上ゲテ改正案ヲ私マデ送ツテ頂キ夫レニ依ツテ大体案ヲ作リマシテ御審議ヲ願フノデアリマス。私ノ意見デ作ツタ点モアリマスガ大分縣デ作ツタ案ト云フモノハ大分縣ノ修正案モ折込シデアリマス。熊本縣、長崎縣モ今マデハソウユウ案ヲ照會シテ居ラヌ併セテ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス。

熊本縣 今度大分縣ノ出サレマシタ案ノ中ニ之ト同ジヤウナ点ガアレバ之ヲ除外シテモ差支ヘナイト思ヒマス。

議長 異議アリマセンカ。

異議ナシ〜〜

議長 兎ニ角大分縣提出ノ規則案ヲマ―此ノマ、審議願ヒマス。第一條カラ逐次朗讀致シマス。

第一條 本會ハ九州沖繩各縣聯合工藝試作品展覽會ト稱シ長崎、福岡、佐賀、熊本、鹿島、宮崎、沖繩、大分各縣聯合ヲ以テ之ヲ主催ス。

沖繩縣 今回ノ九州各縣聯合試作品展覽會ハ輸出工藝ト一般工藝トノ區別ガツカナイヤウニ思ヒマス。

加地場長 改正案トシテオ出シニナル御意見デアリマスカ、之レハ從來ノ通りデアリマス。

議長 輸出ノ文字ハ從來入ツテ居ランヤウデス。

熊本縣 賛成。

賛成々々。

加地場長 輸出ノ文字ヲ揚ゲタラトノ沖繩縣ノ御意見ノヤウデスガ、之レハハツキリ輸出ノ文字ヲ現サナクテモヨイノデハナイカ、之レハ輸出品デアルトカソウユウ區別ハ中々付キ兼ルモノモアリマスノデソウユウ意向デアレバヨイデヤナイカト思ヒマス。

沖繩縣 昨年福岡縣ノ例モアリマスシ輸出品トノ區別ガ個々デアリマスカラ、ハツキリ輸出品ト明文ノ中ニ決定シタ方ガ宜イト思ヒマス。商工省モ恐ラク其ノ意向デアルト思ヒマス。

福岡縣 只今沖繩縣カラ御意見モ出マシタガ皆様方ニハツキリ申シ上ゲテ置キマスガ大分縣提案ノ九州各縣聯合試作品展覽會ハ之ヲ可トスルモノデ、之レガ區別ニツイテハ昨年決定致シマシテ本省デモ其ノ趣旨ヲ認メ「輸出」ノ明記ハ困難ナルモノト思慮スト回答ガアリマシタ。

議長 各縣聯合工藝展覽會モ輸出ノ文字ハ入ツテ居ラヌヤウデスガ實際的ニハ輸出品ナノデス。

宮崎縣 輸出ナル言葉ヲ現ハシタ方ガ一層意味ガ徹底スルト共ニ輸出工藝ハ先キ程モ御説明ノ内ニゴザイマシタ通り日本内地デハ良イモノデアツテモ外國ニ持ツテ行ツテ見ルトドウモ南洋品陳列品ト同ジ興味ヲ有ツト云フコトデアリマシタガ其處デ輸出工藝トシタ方ガ輸出サレル品ト云フコトニナリ効果的デハナイカト思ヒマスガ如何デゴザイマス。

議長 色々才説モアリマスカラハツキリ輸出工藝品トシタラドウデス。

沖繩縣 多數決ニ御願シマス。

議長 多數デアリマスカラ原案通り決メテ置クコトニシマス。

第二條 本會ハ九州沖繩各縣ノ工藝試作品ヲ陳列展示シテ工藝品ノ改善指導並ニ製作獎勵ニ資スルヲ以テ目的トス。

議長 長崎縣提出モノ一所ニ願ヒマス。

一、本會ニ意匠圖案ノ出品ヲ認メラレ度

長崎縣提出

長崎縣 此ノ第二條ニツイテハ私ノ方デ競技會ノ方ニ今同意匠圖案ヲ認メ出シテ居ル關係ニ依リ私ノ考ヘカラソウユウモノモ今回ハ九州沖繩各縣ノ工藝試作品並ニ意匠圖案モ陳列シヤウト云フ意味ヲ含メテ頂イタナラト思フノデアリマス。

議長 意匠圖案ヲ新ラシク入レタイト云フ考ヘハドウデス。

佐藤課長 私ノ方トシテハ場合ニ依ツテハ入レテモヨイト思ヒマスガ圖案ハ中々困難デハナイカト思ヒマスガ相當展覽會ニ出品ガ多イヤウナ見込ミガ立テバ入レマス。

議長 括弧シテ(意匠圖案)ト書イタラドウデス、或ハ規定ニ入レルコトニシマスカ。

長崎縣 工藝試作品ノ中ニ事實上夫レガ出品シ得ラレルヤウニナレバ結構デス。私ノ考ヘトシテハ試作品ノ中ニ圖案ノ如キモノヲ入レテソウユウ方面ヲモ互ニ研究シタラドウカト云フ考ヘデス。

議長 他縣デ意匠圖案ヲ出品シタイ希望ガアリマスカ。

佐賀縣 私ノ考ヘデハ工藝ト云フコトヲ廣義ニ解釋シテ圖案モ此ノ中ニアルト思ヒマスカラ此ノ條文ノマ、デ宜

インヂヤナイカト思ヒマス。

宮崎縣 只今ノ佐賀縣ノ御意見ニ賛成致シマス。

議長 原案其ノマ、デヨイト云フコトニ御異議ハアリマセンカ。

異議ナシ

議長 意匠圖案ガ含メラレルモノトシテ廣ク解釋シテ原案ノマ、トシマス。

第三條 本會ハ昭和十二年七月 日ヨリ 月 日迄 日間別府市濱脇海岸大分縣殖産館ニ於テ開催シ事務所ヲ同館内ニ置ク

議長 御都合ハドウデスカ。

熊本縣 本年ダケノ規定デゴザイマスカ、展覽會ハ毎年同期ニヤルノデスカ。

議長 第四回ダケデス第三條ハ夫々ノ縣商工省ノ方トモ相談シマシテ一般ニ都合ノ宜イ時ヲ採ル、コウユウ趣旨ニ願ツテ置キマス。

第四條 本會ノ經費ハ主催者分擔金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ
議長 之レハ前回ノ通りデス。

第五條 本會ニ左ノ役職員ヲ置ク

會長	一名
副會長	若干名
理事	若干名

幹事	若干名
委員	若干名

第六條 會長ニハ開催地縣知事ヲ副會長ニハ會長ノ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 理事幹事及委員ハ會長之ヲ囑託ス

第八條 會長ハ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス理事幹事及委員ハ會長ノ命ヲ受ケ會務ヲ掌理ス

第九條 本會ニ顧問及參與若干名ヲ置ク顧問及參與ハ會長之ヲ推薦ス

熊本縣 此ノ主催地提出ノ役職員ノ字句ハ毎年ソウユウヤウニナツテ居リマス。

長崎縣 此ノ役員職員ハドウユウ風ニ區別サレルカ。

佐藤商工水産課長 會長副會長ハ役員デアトハ職員デス。

加地場長 職制ハ只ダ地許デヤリタイト云フダケデ恒例ニ依リ知事ガ會長其他モ副會長以下知事ノ考ニ依リ規則通り第五條ヲ決定シタワケデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒタイ。

福岡縣 會長ニ知事ガナルコトハ前例ガゴザイマス。

熊本縣 色々問題ガ起リマスカラ此ノ案ハ四回限リノ案トスレバ第四回トキメテ頂キタイ。

議長 本縣デハ第四回ト特ニ決メタ方ガヨイ。

大牟田市 此ノ案ガ第四回限リトスレバ第三條亦第六條モハツキリ決メテ頂キタイ。

議長 是レハ前例ニ依リ掲ゲタモノデス。

大牟田市 第六條ヲ見ルト四回限リノモノデナイヤウデアリマスガ、此ノ規則ハ展覽會ノ規則トシテ此後ハ修正案ダケ出シタ方ガヨクハナイカト云フ意見ヲ申シ上グル次第デアリマス。

佐藤課長 之レハ此ノ前ノ協議會デモ會長副會長ハ主催縣デヤロウヂヤナイカト云フコトニナツテ居リマス。熊本縣、大牟田市ノ方カラ第四回ハ取消シタラト云フコトデアリマスガ之レハ第一回第二回ノ時モ矢張りソウユウコトニナツテ居リマスノデ其ノマ、受付ケマシタノデアリマス。亦事務ニツイテハ庶務細則ニ依ツテ取扱ツテ居ルノデ餘リ關係ハナイヂヤナイカト考ヘルノデアリマス。

宮崎縣 色々御意見モゴザイマスヤウデスガ大体聯合試作展覽會ノ約束トシテ審議シテ置キタイ、特ニ之ヲ決メタカラトテ特ニ必要ト云フ譯デハアリマセンカラ之レヲ其ノマ、一括シテ議事ヲ進メテハドウデスカ、皆サマ如何デスカ。

議長 夫レデハ來年亦修正スル所ガアレバ修正スルヤウニシタラヨイヤウデス、之レハ逐條審議シテ修正シテ行キマスト時間モカ、リマスカラ是レハ明日マデ延バシテ能ク研究シテ修正スル点ガアリマスレバ修正シマシテ一所ニ御審議ヲ願フコトニシマセウ。

熊本縣 第三條第十二條第十三條ノ規定ハ主催地ノ會長ガ各縣ニ告示スレバヨイ、協議シテ決メナクテモ差間ナイト思ヒマス。

議長 第三條第十二條第十三條ハ主催縣デ決メテ御知ラセスルコトニシマス、尙ホ第五條ノ職制モ別ニ後ニ問題ハ起ラナイト思ヒマス。

熊本縣 先キ程モ度々申シ上ゲマシタ通り第四回トスレバ種々修正シナケレバナラヌ点ガアルト思ヒマスケレドモ熊本縣トシテハ別段之ヲ固執スル譯デハアリマセン。

議長 コウユウモノハ其ノ時々拵ヘテモヨイヤウニモ思ハレマス。

熊本縣 此ノ問題ハ委員ヲ擧ゲテ委員ニ附託シテハドウカト思ヒマス。委員ノ數及氏名ハ議長ニ御一任シタイト思ヒマス。

賛成々々

加地場長 之レハ從來ヤツテ居ル規則案ヲ審議シテ決定シタモノデアリマシテ大体私ドモトシマシテハ此ノママ御審議ヲ願ヒタイノデアリマス。

大牟田市 只今ノ御説ノ様デスト此ノ規則ナルモノハ第四回第五回ト云フヤウナコトニナリ個々別々ニヤルト云フ結論ニ達スルノデハナイカト考ヘマスガ其ノ都度創設サレルモノトスレバ第何回ト云フ字句ハイライナイノヂヤナイカト云フコトニナルト思ヒマス。

熊本縣 昭和九年ニ決マツテ居ルト思ヒマス。夫レデ主催縣トシテハ修正案改正案ヲ提出スベキデハナイカト思ヒマス。昭和九年ノ試作展覽會デ根本的ニ決定シタト思ヒマス。

議長 決マツテ居ツタノデセウガ第四回ハ大分縣ガ御引キ受ケシテコウユウ風ニヤリタイト云フ譯デ第四回トシタ譯デアリマス。

八幡市 此ノ會ノ規則ナルモノハ縣ノ事業デアリマシテ市ナルモノガ此ノ會則ヲ審議スルニ參與權ガアルカナイカ疑フノデアリマス。若シ市ニモ參與權ガアルトスレバ今マデノ關係ガドウナルカト云フコトヲ疑フノデアリマス。更ラニ將來ニモ參與權ヲ有ツテ居ル譯デ將來問題トナル譯デアリマス如何デセウカ。

議長 特別ノ不都合ガナケレバヨイ譯デ第四回ノ規則ヲ作ルト云フヤウニ簡單ニ考ヘマス。尙ホ第四回大分縣ノ規則ニコウユウコトガアツテハ困ルト云フ点ヲオツシヤツテ下サイ、第四回ト云フコトヲ入レテ進行致シマセウ。

第四回ハ大分縣デコウユウ規定デヤル何カオ困リノ点ガアリマシタラ御申シ出デヲ願ヒマス。

規則第十條以下朗讀

第十條 出品物ノ範圍ハ輸出ノ目的ヲ以テ試作シ又ハ製作シタル工藝品ニ限ル但シ左ニ掲グルモノハ出品スルコトヲ得ズ

一、衛生風俗ニ害アリト認ムルモノ

二、發火其ノ他ノ危險ノ虞アリト認ムルモノ

三、製作後一年以上ヲ經過セルモノ

四、既ニ公開展示シタルモノ

五、追加註文ニ應ジ得ザルモノ

六、前項ノ外出品ニ適セズ又ハ出品ノ價值ナシト認ムルモノ

七、出品物ハ一人十點以內トス

第十一條 出品者ハ主催各縣下在住者又ハ試驗研究機關ニシテ當該出品物ノ製作者若ハ自己ノタメニ製作セシメタル販賣業者ニ限ル

第十二條 出品申込ハ昭和十二年 月 日迄別紙様式ニ依ル申込書ヲ所屬各縣ヲ經由シ事務所ニ提出スルモノトス

第十三條 出品物ハ昭和十二年 月 日迄別紙様式ノ出品目錄ト共ニ所屬各縣ニ提出シ各縣ハ速ニ之ヲ取纏メ事務所ニ送付スルモノトス

第十四條 出品物ノ陳列及裝飾ハ本會ニ於テ之ヲ行フ但シ出品物ノ特別陳列ヲ希望スル者アル場合ハ之ニ要スル設備及裝飾費用ハ出品者ノ負擔トス

出品物ノ搬入及搬出ニ要スル費用ハ出品者ノ負擔トス但シ出品各縣迄取纏メ返送ノ場合ノ運賃ハ本會ニ於テ補助スルコトアルベシ

第十五條 出品物ハ鑑査ヲ經テ之ヲ陳列ス

第十六條 出品陳列ノ場所面積ノ割當及陳列位置等ハ開催縣ニ於テ之ヲ決定ス

出品者ハ出品物ノ陳列ニ關シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ズ

第十七條 出品物ニ關シテハ本會ニ於テ賣約又ハ取引契約ヲ斡旋ス

第十八條 出品人ハ出品物ノ賣約手數料トシテ賣價ノ一割ヲ本會ニ納入スルモノト

第十九條 出品物ハ本會ニ於テ十分保護ヲ爲スト雖モ運送途中ノ損害盜難天災事變其ノ他不可抗力ニ依ル損害ニ對シテハ其ノ責ニ任セス

第二十條 本會ノ指定シタル期間内ニ出品物ヲ搬出セザル時ハ出品人ノ費用ヲ以テ之ヲ返送スルコトアルベシ

第二十一條 出品物ハ出品者承諾ヲ得且ツ本會ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ撮影シ又ハ模寫スルコトヲ得ズ但シ本會ニ於テ之ヲ撮影シ又ハ刊行セントスル場合ハ此ノ限ニ非ス

第二十二條 出品物ハ本會ニ於テ鑑査及審査ヲ行フ鑑査及審査ノ方法ハ本會ニ於テ之ヲ定ム

第二十三條 鑑査ヲ分ツテ第一次及第二次トシ第一次鑑査ハ豫メ出品各縣ニ於テ第二次鑑査ハ本會ニ於テ行フ

第二十四條 第一次審査員ハ各縣ニ於テ第二次鑑査員及審査員ハ各縣一人トシ各縣知事ノ推薦シタル者ヲ會長囑託ス

鑑査長及審査長ハ主務省技術官ニ委嘱スルモノトス

第二十五條 審査ハ第一次及第二次ノ鑑査ニ合格シタル出品物ニ付キ之ヲ行フ

第二十六條 出品者ハ鑑査及審査ニ對シテ異議ノ申立テヲ爲スコトヲ得ズ

第二十七條 開會時限ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルベシ

第二十八條 本會ノ趣旨ヲ徹底セシムル爲會期中講演會懇談會等ヲ開催ス

第二十九條 本會事務執行上必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

熊本縣 最近物價ハ昂騰シマシタガ一割ハ多過ギハシマセンカ、矢張り五分ガ安當ダト思ヒマス。試作品展覽會ノ商品トシテ本當ノ値段ハ分ラナイ之ニ對シ一割ト云フコトハ安當デナイヤウデス。矢張り從來通り五分トシテ今マデ通りナラ結構ト思ヒマス。

福岡縣 第拾條ノ内第五項ニアル追加註文ニ應ジ得ザルモノトアリマスガ、福岡縣ト致シマシテハ追加註文ニハ應ゼラレヌトシテモ二三年後ニハ追加註文ニ應ジ得ラレルマデニ發展スルカモ分ラナイモノモアリマス。コウユウモノハ原則的ニ言ツテハ宜クナイト思ヒマスガソウユウモノハ出品出來マセンカ。

大分縣 詰マリ商工省ノ方針ニ從ツテ書イタモノノ深イ意味ヂヤナイノデ、要スルニ商工省ノ方針ニアルノデアリマス。本縣主催ノ方針トシテハ二三年先キニ註文ニ應ゼラレルナレバ出品サレテモ宜シユゴザイマス。詰マリ展覽會ダケノ出品デ後ハ絶對ニ出來ナイモノハ困ルカラデス。

議長 五分トシタ方ガヨサソウデスカラ五分トシマス。

鹿児島縣 第十條第四項ノ今マデ公開展示シタルモノハ出品出來ヌコトハ今マデノ通りデスカ。

大分縣 詰マリ前回ノ展覽會ニ出シタモノトカ其他ノ場所デ既ニ公開済ミノモノヲ無効トシタモノデ別ニ大シタ

意味ハナイ。

熊本縣 熊本市ニ工藝品展覽會ヲ一應開イテ其ノ品物ヲ展示致スノガ例トナツテ居リマスガソウユウモノモ無効

デスカ。

大分縣 夫レハヨカロウト思ヒマス。

商工省 直接關係ノナイ展覽會ニ公開展示シタモノハ無効デ古イモノハ持つテクルナト云フ意味デス。

議長 第四章ニツイテハドウデスカ、何かオ考ヘハアリマセンカ。

大牟田市 第四章ニ圖案設計ヲ入レル規定ノヤウデスガ原則トシテ圖案モ審査サレルヤウナラ私ノ方デモ出シマスガ。

商工省 先キ程申シ上ゲヤウト思ツタノデスガ設計等ヲ試作工藝品ト見ルコトハドウカト考ヘラレマスガ、圖案等ハ此ノ展覽會ニ出品サレテ結構デス。試作品ヲ圖案ニ含メテ頂ケバ圖案モ審査致シマセウ。

大牟田市 審査ヲシテ頂ケバ結構デアリマス。

議長 出品ガアレバ審査サレルソウデス。一寸申上ゲマスガ第二條ニ第四回聯合工藝試作品並ニ意匠圖案ト云フ字ヲ入レルコトニ致シマス。後々ノ取扱ニヨイト云フコトデアリマスカラ入レル事ニ致シマス。

熊本縣 第二十二條ノ鑑査及審査トアリマスガ第二十四條ノ第一次審査員ト鑑査員及審査員ハ各縣一人トアリマスガ詰マリ鑑査員ト審査員ト各一人詰マリ各縣二人デアリマスカ。

大分縣 第一次ハ各縣デナナルコトデアリマスガ第二次ハ鑑査委員デ詰マリ各縣一人ト云フコトデス。

福岡縣 展覽會ヲ開催致シマシタ場合原則上鑑査ニ合格シ審査ニ合格シタ場合ニ褒狀カ何ニカ出シタノデアリマス。此ノ原則ニ依リ各出品者ニ褒狀ヲ配布スル譯デアリマスガ第一次審査ニ合格シタカドウカ鑑査ニ合格シタカドウ

カ、賞状ハコナイカト言ツテ來ルノデスガ第一次審査ニハ福岡縣デハ出サナイ積リデアリマス。御意見ヲ伺イタイト思ヒマス。

大分縣 大分縣トシテハ鑑査ヲ致シマシタ場合當業者ニ報告シテ居リマス。

福岡縣 只今マデノ展覽會デ第一次鑑査ニ合格シタカドウカト質問ヲ受クルノデ何ントカオ考ヘハナイデセウカ。

議長 出品者ニ對シ第一次鑑査ハ困ルト云フコトナレバ此ノ規定ヲ鑑査ハ除イテ任意各縣デオ願ヒスルコトニシタラ如何デスカ。

宮崎縣 第四章ノ規定ハ提案サレタ心持チヲ付度致シマスト第一次鑑査ヲ致シ展覽會ニ出ス規定ニナツテ居リマスガ、實際問題トシマシテモ其レガ行ハレル場合モ、行ハレナイ場合モマ、アツタノデアリマシタガ第一次鑑査ノ規定ハ之ヲ強調スル意味デオ書ニナツタコト、思ヒマスガ、吾々トシマシテハ之ヲ強調サレルコトモヨイト思ヒマス如何デスカ。

熊本縣 第二十五條ノ第一次第二次ノ鑑査ニ合格シタルモノトナツテ居ルガ全部ノ出品物ガ第一次第二次鑑査ニ合格シタモノデナケレバイケナイノデスカ。

議長 展覽會ニ出品サレルモノノ鑑査ハ今マデ通りデス。條文ヲ一ツ二ツ減ラシテ結局コチラニ出テ來タモノハ鑑査ニ合格シタモノトシテ審査スルコトニ條文ヲ變ヘマシテ條文ハ明日マデニ訂正シマス。

福岡縣 先キ程第二條ニ意匠圖案ヲ入レルト云フコトデアリマスガ、當然第十條ニモ入ラナケレバナラヌト思ヒマスガ。

議長 意匠圖案ヲ入レルコトニシマス。

大牟田市 輸出ノ目的ヲ有ツモノニ圖案ヲ入レルコトハオカシクハナイカ。

議長 夫等ハ一所ニ明日ノ朝マデニ訂正シマス。

一 豫算案朗讀

議長 如何デスカ、コウユウ風ニヤリタイノデスガ如何デスカ。

大分縣 從來ノ例ヲ入レテヤツタノデスガ御意見ハアリマセンカ。

熊本縣 只今各縣ノ負擔ニツキ加地サンカラオ話ガアリマシタガ福岡縣ト熊本、長崎、沖繩縣等ノ小サイ縣ト一所デハ困ル。福岡縣ノ方ハモツト出シテ頂キタイ、福岡縣ハ如何デスカ。

福岡縣 從來ハ御承知ノ如ク福岡縣ハ二百圓出シテ居リマシタガ昨年此ノ事ニツイテ大分問題トナツタノデアリマス。實際二百圓ト六十圓トデハ如何ニモ開キガアリ過ギル、福岡縣ガ二百圓トスレバ各縣ハ百圓マデ引上ゲテ頂キタイト申シマシタ所、今後各縣負擔ニツイテハ研究シテ置コウト云フコトニナツテ居リマスガ、今回ハ別府ニ博覽會ガ開會中ナノデ其ノ關係上安クナツタノデハナイカト思ヒマス。昨年モハツキリシタ分擔金ハ決マラナカツタノデアリマスガ、各縣デモウ少シ出シテ頂キタイト思ヒマス。

議長 ヨソノ縣ガ六十圓デイケマセンナラ百圓位ニシマセウカ。

宮崎縣 此ノ各縣負擔金一縣六十圓ハ確カニ一進歩ト思ヒマス。福岡縣ニ幾ラ出シテクレト云フコトハ言ヘマセンガ、福岡縣ノ只今ノ御説明ニ依レバ二百圓ノ豫算ヲ有ツテ居ラレルト云フコトデアルカラ從前通り出シテ頂ク方ガ宜イト思ヒマス。百圓トスルコトハ問題デアリマシテ私ガ歸リマシテ、相談シタ上デナケレバ御即答ハ出來マセンガ六十圓ハ賛成デアツテ百圓ニ引キ上ゲルコトハ歸リマシタ上ノコトニシテ頂キタイ。

福岡縣 只今二百圓ガ問題トナリマシタガ此ノ大分縣ノ豫算案ハ非常ニ結構ト思ヒマス。只今宮崎縣ガ申サレタ一進歩ト云フコトハ私モ同感デアリマス。

議長 去年ヨリ多クナツテ居リマスカ。

福岡縣 昨年ハ千八百六十圓デ認メテ居リマス。

議長 福岡縣ノ豫算ヲ組ンデアル關係モアリ二百圓ニ復活シテ頂キタイト思ヒマス。

福岡縣 昨年ハ確カ來年度ハ豫算ヲモウ少シ上ゲテ八十圓ニ上ゲルトコウユウコトニ約束シテ分カレタノデアリマスガ本年ハ六十圓ト出テ居ルノデアリマス。福岡縣トシマシテハ結構ナ豫算ト思ヒマス。此ノ際縣ノ方デハ六月ニハ商工省ノ方ノ工藝展覽會ガゴザイマスノデ其ノ方ノ豫算ガ多少不足勝デアリマスカラ其ノ方ヘ廻シタイノデアリマス。此ノ際一律ニ豫算面通り出來レバ幸甚デアリマス。

議長 福岡縣デ二百圓出シテモラエンコトニナレバ是ヲ皮切リニ此後出シテモラエンコトニナル。

福岡縣 各縣六十圓負擔ハ結構ト思ヒマスガ、各地方デ各縣負擔金ノ割合ガゴザイマスカ。

商工省 外ニハ餘リアリマセン。

議長 六十圓ト二百圓トハ開キガ甚ダシイガ出シテ頂ケンデセウカ。

福岡縣 今朝課長ガ豫算面ヲ見タノミデ午後ハ外ヅサレマシタガ課長ニモ相談ノ上御返事致シクイト思ヒマス。各縣デモモウ少シ出シテ頂キタイ。

議長 六十圓ヨリ百圓ノ方ガヨイト云フ様ナ話ハアリマセンデシタカ。

熊本縣 私ハ昨年百圓ニシヤウト云フ様ナ記憶ハアリマセン、ソウユウ話ハナカツタト思ヒマス。只ダ五十圓ヲ十圓上ゲルトコトダケデハナカツタカト思ヒマス。

福岡縣 私ノ記憶ニアリマスガ、夫レハ特ニ皆サンノ良心ニ訴ヘル次第デスガ昨年ハ六十圓ヲ八十圓程度ニ引キ上ゲタラト云フ話ガアツタト思ヒマスガ。

議長 マア能ク相談スルノガヨイデヤナイカト思ヒマスガ、本縣ノ豫算デ二百圓ガ六十圓ニナツタト云フコトニナレバ此ノ次ギカラ困ルト思ヒマス。

一、小間割ニ關スル件

大分縣 小間割ハ大体百小間アリマスガ前例モアリマスガ、福岡縣デモ百小間アツタヤウデアリマス。各縣ニ於カレテモ大体昨年ト同様ト思ヒマスガ私共ハ此ノ際皆サンノ御意見ヲ尊重シテ豫定數ヲ決メタイトノ考ヘヲ有ツア居リマス。

議長 夫レデハ小間割ノ御希望ハ各縣デ明日朝マデニ御研究ニナツテ大体ヲ御申シ出デテ願フコトニ致シタイ。

一、次回展覽會開催地ニ關スル件

大分縣 未開催縣ガ四縣ノヤウニ記憶致シマスガ其ノ縣デ御協議願ヒタイト思ヒマス。

議長 未ダ開催サレヌ縣ハ佐賀、鹿島、宮崎、沖繩ノ四縣デアリマスガ其ノ方デ御引キ受ケテ願ヒタイト思ヒマスガ如何デスカ。

沖繩縣 次回ハ沖繩縣ノ方デ開催シテ頂キタイト思ヒマス。先キ程未開催縣ノ佐賀、宮崎、鹿島ノ各縣ノ方ト御相談致シマシタ所各縣トモ別段御異存モナイヨウデアリマスカラ沖繩縣ノ方デ來年ハ才願ヒシタイト思ヒマス。別ニ長崎縣ヲ初メ各縣ニ於テモコウユウ協議會トユウヤウナモノハナイヤウデアリマスカラ、沖繩縣ノ方ニ才願ヒシタイコウユウ協議會ヲ開催シタイト思ヒマス。展覽會ノ方モ沖繩縣ヲ御照會申シ上ゲルト同時ニ沖繩縣ノ開發ノ意味ニ於

テ御承認ヲ願ヒタイト思ヒマス。

議長 沖繩縣ノ方デ來年ハ引受ノ御希望ガアリマスカラ皆サン滿場拍子デ決定シタイト思ヒマスガ如何デスカ。
賛成

議長 沖繩縣デ開催ノコトニ願ヒ致シマス。

大分縣 沖繩縣ノ方デオ引受ケクダサイマシタガ協議會ト云フヤウナモノハ矢張展覽會前ニ御開催ノ御豫定デアリマスカ。

沖繩縣 只今オ話ノ協議會ハ準備協議會デアリマスカラ前ニ開タノガ當然デ從來各縣トモソウユウコトニナツテ居ルノデアリマスガ沖繩縣ハ御存ジノ通り遠方デゴザイマスノデソウユウ風ニ別々ニ之ヲ開催スルト云フコトハドウデアリマセウカ、皆サンノ御意見ヲ伺イタイト思ヒマス。

商工省 只今滿場一致デ明年度展覽會開催地ハ沖繩縣ニ御賛成ニナツタヤウデアリマスガ、商工省トシテ一言申シ上ゲテ置キタイノハ只今申サレタ通り沖繩縣ハ遠隔ナ地デアアルノデ吾々ト致シテモ出來ルダケ御援助申シ上ゲル考ヘデアリマスガ、何分遠方デアリマスノデ積極的活動ハ手ガ届キ兼ねルト思ヒマスカラ豫メ御了承ヲ願ヒタイ。

熊本縣 先キ程カラ色々問題ニナリマシタガ自然此ノ會議ヲ來年沖繩縣デ開クコトハ困難デハナイカト想像シ得ラレルノデ事前ニ協議會ヲ開ク外ナカラウカト思ヒマス、何ニカ便宜ナ方法ヲ取ツテ頂イタラ宜カラウト思ヒマス。

沖繩縣 私共ノ方トシマシテハ皆サンニ度々オ出ヲ願フコトハ御迷惑ト考ヘマスカラ成ル可ク協議會ト展覽會ヲ一緒ニシテ頂キタイ考ヘデス。熊本縣ノオ話ノヤウニシテ頂ケバ結構ト思ヒマス夫等ノ点ニツキマシテハ歸リマシテ開催ノ時期等研究致シマシタ上各縣ニ書面ヲ以テオ諮リ致スコトニ御承認ガ願ヘレバ結構ト思ヒマス。

商工省 之レハ御相談シタイト思ヒマスガ何分二度出カケルト云フコトハ困難デアリマス。

熊本縣 私カラ一寸希望ヲ申シ上ゲテオキマス、此處ニ展覽會ガ開カレタ場合ニ各縣カラモオ集マリニナリ沖繩縣ノ方モオ見ヘニナルト思ヒマスカラ其ノ時機ヲ捉ヘテ能ク打合セタラヨカラウト思ヒマス。

議長 ソウユウ事ニ沖繩縣ノ方ニ願ツテオキマス。

一、國立工藝指導所ヲ九州ニ設置促進ニ關スル件

大分縣 提出

大分縣 此ノ前福岡縣ノ方ガ御説明ニナツタヤウデアリマスガ其ノ後トウユウ風ニ進展シテ居ルカト云フコトニツイテハ私ハマダ充分知悉シテ居ナイノデ同様ノ事ヲ上程致シタノデアリマス。ソウユウ事カラ福岡縣ノ方カラ御説明ヲ願ヒ御協議申シ上ゲタイ、亦促進運動ニツイテモ有効適切ナル方策等ニツイテモ御相談申シ上ゲタイト思ヒマス。從ツテ先ヅ第一ニ福岡縣カラ其ノ後ノ模様ヲ御説明願ヒ各縣ノ方々ノ御意見ノ御開陳ヲ願ヒ致シ本問題ニツキ善處シタイ考ヘデ提出シタノデアリマス。

商工省 二回三回ト九州デ協議會ガ行ハル度ニ議題トナリ私共モ心カラ歓迎シテ居リマス、熊本縣カラモ特ニ昨年福岡縣カラモ提出サレタノガアリマス。書類モ拜見シテ居ルノデアリマスガ昨年私共ノ方トシマシテハ國立工藝指導所ヲ東京及ビ關西ニ設置スル案ト同時ニ九州ニモ一ヶ所設置スル案ヲ出シタノデアリマスガ、大藏省ノ方デ關西ト東京ノ工藝指導所ハ認メタケレドモ九州ノ方ハ豫算關係上延ビタコトハ洵ニ吾々ノ微力デアツタコトヲ御詫ビスルノデアリマス。今申シ上ゲマシタヤウナ事情デ本年度豫算ニハ計上サレナカツタト云フコトヲ申シ上ゲテオキマス。

熊本縣 熊本縣ニ於キマシテハ丁度商工課長會議、地方長官會議ガアツテ其ノ長官會議ニ於テ書面ヲ出スコトニナツタト記憶致シマス。福岡縣ノ方ニオ願ヒシタト思ヒマス。

大分縣 常設ノ件ニツイテハ結局熱意ヲ披瀝スルニ一番ヨイノハ文書デアリマスカラ文書ニシタイト思ヒマス。

商工省

陳情トカ色々オ話ガアリマシタガ矢張り文書デオ出シテ願ヒタイト思ヒマス。

議長 書面ヲ出ストシテ九州ノ知事ガ連名デ出スカ各縣毎ニ出スカ前回ハ福岡縣知事ガ出シテ居ルノデアアルガ、ドツチガヨイカ。

福岡縣

前回ノ時ハ關係知事カラ出スト云フコトニ大分縣カラ發言シテ居ラレマス。

大分縣

目的ヲ達スル上ニ各知事ガ連名デ陳情スルノガ一番ヨイノヂヤナイカト思ヒマス。

熊本縣

只今大分縣カラオ話ニナツタ方法ガヨイト思ヒマス。然シ猛運動ハドウユウ方法デアルカ御協議ヲ願ヒタイト思ヒマス。

議長

何ニカウマイ方法ハアリマセンカ。

商工省

方法トシテ申シ上ダ兼ネルガ陳情ト云フコトハ要スルニ書類ヲ出スダケデハ力ガ弱イト云ツテ多勢押シカケテ陳情スルコトモドウカト思ヒマス。モウ少シ九州各縣ガ組織立ツタ運動ヲシテ力強イ熱意ガアツテホシイト思ヒマス。關西ノ例ヲ見マシテモ一方ハ地許デアリマスガ關西ノ方ニモ根強イ力ガアツタノデアリマス、其ノ結果兩方トモ其ノ目的ヲ得タノデアリマス。九州ノ方モモウ一押しシナケレバナラヌト思ヒマスガ、今日マデノ情勢ヲ見マシテ敢テ至難ナ問題デハナイヂヤナイカト云フコトヲ私ハ確信シテ居リマス。

議長

議會ニ請願ガ出テ居マセンカ。

商工省

ナカツタヤウデス。

議長

請願ヲ出シテ探擇シテモラフコトモ一方方法デアリマスガ差シ當リ書面ヲ出スコトニ致シマシテ其ノ文面ハ大分縣デ作リマシテ書面ニ調印ヲ願フコトニシマス、豫メオ願ヒ致シマス。

一、九州沖繩工藝協會設立ニ關スル件

大分縣提出

大分縣

本件ハ既ニ第三回ノ福岡縣ニ於テ協議會ガ開カレタノデアリマシテ各縣ニ於カセラレテモ其ノ趣旨ニ基キ既ニ協會ヲ設立サレタ縣モアルノデアリマスガ、九州沖繩工藝協會ヲ成ル可ク早く設置ヲ希望シテ居ルノデアリマス。此ノ際各縣ニ於テモ御研究ニナツテ居ルコト、思ヒマスガ之レガ聯合會ヲ設置致シタイト云フ希望ガアリマシテ本件ヲ提出シタ次第デアリマス。

一、九州沖繩工藝協會ニ商業美術部觀光部寫真部ヲ設クルノ件

宮崎縣提出

宮崎縣

課長ガ不在デゴザイマスカラ代ツテ説明致シマス。勿論提出ノ上ハ早く出來ルコトヲ希望シテ居ル譯デゴザイマス。之レハマダ協會ガ出來テ居リマセンノデ稍々脱線的提案デアリマスガ之レハ今マデニ各地獨特ノ技術等ヲ宣傳致シマスニ遺憾ノ点ガアツタノデアリマスガ、此ノ工藝協會ノ中ニ商業美術部、觀光部、寫真部ヲ設ケテ之レガ、宣傳研究ノ徹底ヲ期シ近キ將來ニ於テオリビツク招致亦ハ萬國大博覽會ノ開催アリ是等ヲ機トシテ九州沖繩工藝協會館ト云フヤウナモノヲ設備致シマシテ之レガ宣傳ヲ計ラウト思ヒマス。日本商品ノ發達各地方ノ觀光寫真ト云フ様ナモノヲ提出シテ専門的ニヤツテ行ケバ其ノ効果モ非常ナモノト思ヒマス。亦工藝協會ニ寫真部ヲオク必要ハ充分アリマスノデソウユウ觀念デソウユウ陳情ガ願ヘレバ結構デアルト思ヒマス。尤モ之ハ工藝協會ガ出來タ上ノコトデスガ。

商工省

九州沖繩聯合協會設立ニ關シマシテハ先キ程商工省ノ方デモ設立ノ希望ガアルヤウニオ話ガアリマシタガ洵ニ其ノ通りデアリマス。私共モ全國各地方ニ參リマス度ニ此ノ協會ヲ作ツテ頂クヤウニ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、更ニ地方々々今日展覽會ヲ七箇所デ開催シテ居ルノデアリマスガ、皇紀二千六百年ノ博覽會ニ際シテモ全國ノ工藝製品ヲ纏メル工藝團體ガ一ツモナイト云フコトハ非常ニ寂ビシイコト、思ヒマス。コウユウ協議會ヲ利用シテ

種々工藝振興ニ關スル幾多ノ研究ガアルコト、考ヘマスカラ地方ニコウユウ機關ヲ作ツテ大同團結スルコトヲ非常ニ熱望シテ居ル地方ガ多イノデアリマス。吾々トシテモ差シ迫ツテ居ル當面ノ問題トシテ速ニ設置シナケレバナラヌコトハ當然デアルト思ヒマス。ソウユウ意向ニ願ヒマス。

議長 各縣ニソウユウ協議會ガ出來テ居レバオ話ヲ願ヒタイ。

商工省 全國ガドウユウ風ニナツテ居ルカト云フオ話デアリマシタカラ一寸申シ上ゲマスガ東北、北海道ハ工藝協會之レハ仙台工藝指導所デアリマス關係上失敗シマシテ、其處デ色々ノ事務ヲ執ツテ居リマスガ、昨年六月復活シテ工藝ニ關スル色々ノ施設ヲナシ昭和三年頃カラ此ノ展覽會工藝協會其ノ外色々差シ迫マツタ必要ナ研究ヲヤツテ居リマス。關東ハ東京、神奈川、埼玉、栃木、茨城、山梨ノ各縣ガ聯合シテ輸出工藝品展示會展覽會ヲ開催致シマスコトニナツテ居リマス。此ノ地方ニハ同ジ試作展覽會ヲ開催スルタメノ展覽會ガアリマス、北信工藝協會ハ新潟、長野、富山、石川、福井ガ聯合シテ居リマス。東海地方モ輸出工藝展覽會ヲ開催シマスガ静岡、愛知、三重、岐阜デ年一回展覽會ヲ開催致シマス。近畿ハ京都、大阪、岡山、奈良、滋賀、京都デ其ノ外鳥取、岡山、廣島、山口、島根、徳島、愛媛、高知等ノ中國、四國ノ工藝聯合展覽會ガ毎年開催サレテ居リマスガ私共ノ考ヘマス所ニ依レバ從來東北デヤツテ居リマスヤウニ此ノ展覽會ノ外ニコウユウ方面ニ成ル可ク地元ガ進ンデ頂キタイト思ヒマス。工藝的研究團體ト成リ得ル様ニト云フコトヲ申シ上ゲテオキマス。

議長 決定シタ工藝協會ガアリマスカ。

大分縣 工藝協會ヲ作ツテ居ラレナイ縣デモ其ノ後ノ狀況ヲ承リタイ。

佐賀縣 佐賀縣ノ方デハ昨年八月工藝協會ヲ結成致シマシテ十月ニ第一回展覽會ヲ開催致シマシタガ五月ニ佐賀縣ニ全國陶磁器關係ノ技術官會議ヲ開催シマスガ其ノ機會ニ第二回展覽會ヲ開催致シマス、會員ハ僅カニ百名デアリ

マシテ主トシテ陶器關係ヲ會員ニ致シテ居ルノデアリマス。縣ハ之ニ對シ縣費デ二百圓ヲ補助致シテ居ルノデアリマス。

熊本縣 熊本縣ニモ協會ハ出來テ居リマスガ未ダ開催シマセン經費ノ都合デ研究ダケヤツテ居リマス、經費ノ都合ガツケバ相當有望デアルト思ヒマス。

宮崎縣 宮崎縣ノ方モ昨年十月開催致シマシタガ縣協會ガ滿場一致ヲ以テ之レニ賛成ヲ得マシテ大キクヤラウヂヤナイカト云フコトニナツテ居リマスガ、本月中ニハ實現ノ積リデ居リマス。十二年度ニハ補助費ガ約五百圓程出テ居ルト思ヒマス。若シ之レガ豫定通り實現致シマスレバ何等カノ活動ヲ實現スル考ヘデアリマス、昨年暮邊リニ早クヤル筈デシタガ延引致シテ中シ譯アリマセン。

鹿兒島縣 鹿兒島ノ方ハ大分共ノ機運ニナツテ居リマスガ、實現ノ機運ニハナツテ居リマセン。

長崎縣 長崎縣ト致シマシテハ官民別個ニ陶磁器ト各種工藝品ヲ作ル人ノ團體ガ出來テ居リマスガ然シ工藝協會ヲ作リマスタメニ私ノ方デモ早ク之ヲ作り上ゲタイト思ツテ居リマス。縣デモ色々努力シテ居リマスガ其ノ結果漸ク最近原則案並ニ其他ノ案ヲ得マシタノデ實ハ此ノ七月頃ニハ工藝協會發會式ヲヤルヤウニ計畫シテ居リマス。

沖繩縣 沖繩縣ハ曩ニ工業指導所ヲ開設シマシテ工業指導關係ノ染色工業等産業ニ關スル工藝協會ガ四五年前カラ出來テ居リマスガ、經費ノ關係デ今ノ所休業状態トナツテ居リマス。縣カラモ多少ノ補助ガアリマスト立派ニヤレマスガ今ノ所困難ノ状態ニアリマスガ、吾々ト致シマシテハ速ニ之レガ開設ニ努力致シテ居リマス。

議長 何ニカ之ニツキ他縣ノオ方デオ話ハアリマセンカ、夫レデハ別ニオ話モナイヤウデスカラ成ル可ク速ニ實現スルヤウ御努力ヲ願ヒマス。次ノ議題ニ移リマス。

一、第一項ノ展覽會ニ阪神地方等ノ貿易商ヲ招待ノ件

姫野館長 一寸御説明申上ゲマス。從來コウユウ催物ニ未ダ一度モ貿易關係ノ方ヲ招待シタコトハナイノデアリマスガ、今回ノ展覽會ニ阪神地方ノ貿易關係ノ有力者ニ案内狀ヲ出シマシテ親シク九州ノ工藝品ヲ見テ頂クコトハ九州ノ工藝品ヲ紹介宣傳スル上ニ於テモ又是等ノ工藝品ノ貿易上ノコトニツキ種々指導的批評ヲ聽キマスコトハ將來工藝振興ノ爲メ裨益スル所多大デアラウト存ジマシテ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス。何卒御賛成ヲ願ヒマス。

議長 本案ハ今回ガ初メテノ試ミデアルソウデアリマスカラ特ニ御賛成ヲ願フ次第デアリマス。

熊本縣 只今ノオ説ハ洵ニ結構デスガ經費ハ本豫算デ支出シマスカ、大分縣ノ經費デ支辦サレマスカ。

館長 勿論之ハ展覽會トシテ招待致スノデアリマス。經費科目ハ特別ニ表シテ居リマセンガ、大シク經費ハカラナイト思ヒマスカラ豫算ノ範圍内デ然ルベク執行シタイト思ヒマス。 満場異議ナシ

一、本會ノ出品物中審査ノ結果優秀作品ノモノニ對シテハ特ニ中央及海外ニ於ケル展示會へ出品シ得ル

途ヲ講セラレ度

長崎縣 提出

長崎縣 本會出品物ニシテ優秀ナルモノハ中央國外ノ展示會ニ出品シ得ル途ヲ講ゼラルル様提案シテ居リマスガ此ノ中ニ一寸付ケ加ヘテ頂ク事ガアツクノデアリマス。其レハ私ノ縣ト致シマシテハ是レマデ此ママニ出テ居ル提案ノ事項ニツイテハ行ハレテ居ル様ニ思フノデアリマス。私ノ方トシマシテハ優秀作品ニツイテハ中央ノ輸出展覽會ニ持ツテ行ツテ出品スルコトガ出來ルヤウ審査ニ依ツテ出品シテモラヘルソウユウ途ヲトルコトガ出來ナイカトユウ意味デアリマス。

商工省 本會ノ出品物中優秀ナモノハ中央輸出工藝展覽會ニ出品入選スル法ヲ執ツテクレトユウ意味ノヤウデス

ガ各地デモソウユウオ語ガアルノデアリマス。只私ノ考ヘトシマシテハ其レハ中央、地方別々ニ審査員ガアルノデ其ノ審査員ノ見ル所ニ依ツテ中央ニ出品スル事ハ困難デハナイカト思ヒマス。地方デ見テ工藝展覽會デ優秀ナモノデアツテモ中央ニ持ツテクルトイケナイモノモアリマスノデ中央、地方ノ審査員ガ同ジデアレバ別デスガ審査員ノ見ル所ガ各々異ツテ居リマスノデ仲々困難ダト思ヒマス。夫レデアリマスカラ此ノ制度ヲ實現スルコトハ困難デ尙ホ一層御考究ヲ願ヒタイトデアリマス。

議長 オ語ハ大体了承致シマシタ。

一、將來工藝指導ニ關スル各種講習講演會等開催ノ場合ハ可成各縣ノ聯絡協調ヲ圖リタキコト

福岡縣 提出

福岡縣 中央カラ講師等ヲ招聘スル場合ニ各縣聯絡ヲ計ルヤウニシタイト思ヒマス。從來各縣ニ於キマシテ夫々講師ヲ招聘致シテ居ツタノデアリマスガ何分九州地方ハ遠隔ナ地デアリマシテ、中央カラ講師ヲ招聘致シマスタメニハ非常ニ大キナ負擔トナル場合ガアルノデアリマスガ、九州各縣デ聯絡ヲ執ツテ其ノ講師ヲ招聘シテ其ノ地方デ指導シテ頂クヤウニシタラオ五ニ非常ニ便利デ二回開ケルモノナラ三回モ四回モ出來ルト云フコトニナリマス。コウユウ希望ヲ有ツテ此ノ案ヲ提出シタ次第デアリマス。

長崎縣 非常ニ適切ナ御提案ト存ジマスガ本縣ニハ差シ當リソウユウ考ヘハ有ツテ居リマセンガ近キ將來ニハ御相談致ス機會ガアロウト思ヒマス。

福岡縣 福岡縣ト致シマシテハ此ノ提案ヲ出シマスニツイテ從來色々不便ヲ感ジマシタノデ各縣聯絡ヲ執ツテヤツテ行キタイト思ヒマス。

議長 假令バ大体七地方位聯絡シテ講習會ヲ一ツノ地方デヤルトヨイト思ヒマス。

大分縣 先般大分縣ニ於テ熊本縣、福岡縣ト協調致シマシテ講演會ヲ開イタ例ガアリマス。吾々モ考慮シタ譯デアリマス。協調スルコトニツイテハ洵ニ賛成ノ次第デアリマス。

議長 之レハ今日ノ申シ合セトシテ此後聯絡ヲ取ツテ一所ニヤルト云フコトニシマセウ。

福岡縣 商工省カラ講師ガオ見ヘニナリ此ノ六月四日カラ十日マデ一週間福岡産業獎勵館デ講習會ヲ開催致シマス。尙ホ御案内ハ致シマスガ此ノ機會ニ御案内申シ上ゲタイト思ヒマス。

議長 今日ハ大体此ノ邊デ協議ヲ閉ヂタイト思ヒマス。明日ハ十時カラ協議ヲ致シタイト思ヒマス。

沖繩縣 一寸一言御挨拶トオ願フ申上ゲタイト思ヒマス。先キ程來年ハ沖繩縣デ開催スルコトニオ願ヒシマシタ所皆サンモ御賛成クダサイマシテ有難ク感じタ次第デアリマス。夫レニツキマシテ實ハ沖繩縣ト致シマシテハ御承知ノヤウニ極メテ貧弱ナ所デアリマシテコウユウコトラヤルニツイテハ相當奮發シタ積リデアリマス。此ノ点皆サマノ御了承ヲ願ヒマス。亦充分御同情ヲ頂キマシテ沖繩縣ニ開催スルト云フコトハ仲々メツタニ出來ナイコトデアリマスカラ、是非普通以上ニ力ヲ入レテ出品シテ頂キ沖繩縣ノ工藝ヲ開發シテヤラウト云フ御同情ヲ願ヒマス。亦コウユウ機會ガナケレバ皆サンニ沖繩ヲ見テ頂ク機會ガナイノデ此ノ機會ヲ作りタイ積リデアリマス。是非才練リ合セテ願ヒ多數御來縣ヲオ願ヒ致シマス、先キ程其ノ方法ニツイテハ七日ノ展覽會マデニ歸リ相談シテクレトノコトデアリマシタガ其際色々御相談申上ケル積リデアリマスガ期日其他ノ方法ニツイテハ今マデ皆サンガオヤリニナツタ方法ヲ踏襲スル考ヘデアリマス。期日ノ方ハ協會ノ展覽會ト一所ニナル關係モアリマスシ開催期日ハ沖繩縣ハ氣候モ違フ所デアリマスカラ、今マデノ時期デハ如何カト考ヘマス。其ノ邊ハ歸リマシテ打合セマシテ展覽會ノ折ニ皆サンノ御希望モアリマシヨウカラ其際期日等モ決メタイト思ヒマス。即テ皆サンニ其点ヲ豫メ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス。

簡單ニ御挨拶ヲ申上ゲマス。

長崎縣 私ハ産業課長モ大分御見ヘニナツテ居リマスノデ此ノ機會ニ明年カラ産業課長會議ヲ別個ニ開イタ方ガヨイノヂヤナイカト考ヘマス。若松市トモ御相談シマシタガ第一長崎縣デモ開催致シマシタガ事務ヲ執ル産業課長會議ヲ開イテハ如何デゴザイマセウカ、此ノ点御相談シタイト考ヘマス。御考慮ヲ願ヒマス。

賛成々々

若松市 只今長崎ノ方カラお話ガアリマシタガ、私モ非常ニ賛成デ指導技術官ノオ語ハ私ドモハ聞クダケデアリマスカラ事務官ハ事務官ダケノ協議ヲシタイノデアリマス。産業課長會議ノ開催ニハナラナイノデアリマス。從ツテ吾々事務家ト致シマシテハ事務的御協議ヲ申シ上ゲラレナイノデアリマス。此ノ會合ハ技術ノ件ノミダケデ吾々事務的方面ノオ話ヲ聞イテ頂ク事ハ御迷惑ト考ヘマスカラ、此後ハ一日ハ此ノ會議ニ後ノ一日ヲ産業課長會議等ノ事務的方面ノ打合セニ向ケテ頂ケバ結構デアルト思ヒマス。其ノ意味カラ明日此ノ會議ガ續行サレルナラ私ノ方カラ提案シタ工業組合設立等ニ關スル件ハ何等關係ノナイコトデアリマスカラ撤回致シマス。

熊本縣 私ハ只今ノオ話トハ稍々異ツク意見ヲ有ツテ居リマス。御承知ノヤウニ工藝ノ問題ニツキマシテモ其ノ他ノ問題ニツキマシテモ割合ニ技術官ト事務官ト併行スルモノガ多イノデアリマス。從ツテ技術官ノ意見ヲ事務官ガ聞キ、事務官ノ意見ヲ技術官ガ聞イテ其處デ必ず會得スル所ガアルト信ジマス。コウユウ會議ニ於テ全然事務上ノ會議ハ事務家ガスル、技術關係ノモノハ技術家ガスルト云フヤウニハツキリ分ケテ兩方區別シテ其ノ協調モハツキリ區別スルト云フ事ハドウカト思ヒマス。

議長 夫レデハ事務家ダケデ協議シタイオ考ヘナノデスカ。

若松市 私達ガ只今申シ上ゲマシタノハ事務的協議ヲ致シマスタメ會期ガ三日間アリマスカラ其ノ内一日ダケ此

ノ會議ニ當テ、ホシイト思フノデアリマス。

大分縣 私共ハ技術官、事務官ト兩方ノ立場カラ工業組合設立問題ト云フモノニ對シテハ何等區別ガナイノデアリマシテ、技術屋デアリマシテモ事務ノ方カラ御意見ヲ拜聽スルコトハ將來ノタメ歡迎スルモノデアリマス、技術屋ニシマシテモ事務官ノ意見ヲ聽イテ初メテ萬全ヲ期スルノデハナイカト考ヘテ居リマス。

議長 明日午前中ハ今日ノ會議ヲ續行シマスガ午前中デ全部済ムドラウト思ヒマスカラ午後産業課長ガオ集マリニナツテハ如何デスカ。

若松市 只今大分縣ノ方カラオ話ガゴザイマシタガ參考ニナリ大變結構デゴザイマシタ、事務的提案ハ私ダケデアリマスカラ決シテ私ノ意見ヲ固執スル譯デハアリマセン。

議長 マダ議案ガ二ツバカリ残ツテ居リマスガ、今日ハ此邊デ閉會致シマス。明日ハ十時カラ開會致シマスガ私ハ三十分程遅延致シマスカラ協議ハオ進メテ願ヒタイト思ヒマス夫レデハ閉會致シマス。

昭和十二年五月七日午前十時開議

佐藤課長 只今カラ開會致シマス。

議長 本日ノ分開會致シマス。昨日議題ガ二ツ残ツテ居リマシタガ尙ホ只今オ手許ニ配布シマシタ新案ガ二ツアリマスカラ本日併セテ御協議ニナルコトニ致シタイ其ノ前ニ昨日ノ規定ノ中デ少シ改メタイノデ残ツタモノガアリマスカラ之ヲコウユウ風ニ改メルコトニ致シタイ。

第十條ノ「第二條ハ其ノマ、ニ致シテオキマシテ」第十條ノ「輸出ノ目的ヲ以テ試作シ又ハ製作シタル工藝品並ニ之レガ意匠圖案」トシマス。

第四章ノ第二十三條ヲ「第一次第二次」トアルヲ其ノ審査ハ地方ニ於テヤルコトニナツテ居リマスカラ各縣ニ於テシツカリオヤリテ願ヒタイト思ヒマス。昨日御希望ノ意向モアリマシタカラ第一次第二次ノ差別ハ本回ハ取り除クコトニ致シマス、從ツテ第二十三條全部ヲ消シマシテ二十四條ヲ二十三條ニシマス。第二十三條ハ「審査及ビ審査員ハ各縣一人トシ各縣知事ノ推薦シタルモノ」ニ改メ第二十五條ヲ二十四條ニ致シマシテ「審査ハ審査ニ合格シタルモノ」ダケニ致シマス。第二十六條ヲ二十五條ニ第二十七條ヲ二十六條ニ第二十八條ヲ二十七條ニ第二十九條ハ二十八條ニ改メタノデゴザイマスガ如何デゴザイマスカ、大体ソウユウ趣旨デ尙ホ字句等ハ多少違ヒアリマシテモ實際ヤリマスニ此ノ趣旨デヤリタイト思ヒマス。夫レカラ

第三條ハ昭和十二年七月二十日ヨリ七月二十六日マデ七日間

第十二條ハ昭和十二年七月一日マデ

第十三條ハ昭和十二年七月十日マデ

ソウユウコトニ願ヒタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ。夫レカラ此ノ前條文ニツイテオ話ガ一寸残ツテ居リマシタ。見出ノ事デアリマスガ夫レハ改メテ御協議致スコトニ致シタ事デアリマスガ、大体第四回ノ方ガ主催縣ニ於キマシテモソウナツテ居リマスノデ其ノ方ガ効果的デナイカト云フ聯合各縣ノ御意見モアルコトデアリマスカラ、コウユウコトニ出來ルナラバ致シタイト思ヒマス。其ノ邊御含ミテ願ヒタイ、夫レデハ昨日ノ残りヲヤリマス。第十三頁ノ大分市提出カラ致シマス。

一、輸出向漆器素地ハ如何ナルモノヲ最適トスルヤ各縣ニ於テ御研究ノモノニ就キ承リタシ

大分市提出

大分市

此ノ提案ハ少シ言ヒ過ギテ居ルヤウナ氣持テガ致シマスガ、コウユウ生地ガヨカラウト云フ程度デアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス。私ガ申スマデモナク漆器ノ生地ハ大部分木材デ占メテ居ルヤウデ形ヲ作り易イトカ色々ノ点モアリマス。其ノ外木材ノ内デモ「レウ」(?)ト云フモノヲ漆器ノ生地トシタモノガ多イノデアリマスガ理想的デアルト云フ事デアリマス。其ノ外久留米デハ「ベツボ」(?)デ作り竹モ亦漆器ノ生地トスルト云フコトデアリマスガ、今中シ上ゲマシタヤウニ木材ガ生地トシテ大部分ヲ占メテ居リマス。然ルニ先年紐育デアリマシタ我が國輸出工藝品展覽會ニツキ其ノ狀況ニツキ商工省カラ御派遣ニ相成ツタ方ノ御報告ニ依リマスト出品ヲ視察ノ結果木材ノ漆器ハ蓋ガズツテ良クナイト云フコトデアリマシタ、之レハ乾燥不充分ノ木材ヲ使用シタカラダラウト云フコトデアリマシタ、私ドモ此ノ大分地方デ造ル漆器ノ生地ハ木材ニ依ツテ居リマス。其ノ乾燥程度等ニツイテハ充分注意シマシテ居ルノデアリマスガ、吾々ノ理想通りニハ參リマセン、**アメリカ**ハ乾燥ノ激シイ所デ我が國ノ様ナ天然乾燥程度デ今後良イノカドウカ疑問トシテ居ルノデアリマス。從ツテソウユウ不安ガアルト云フノミデハ手輕クナイノデ夫レ以上乾燥ノ行ハレルヤウナ生地デモ提出サレナケレバ國家的見地カラ考ヘマシテモ非常ニ大切ナコトダラウト思ヒマスノデ我が大分トシマシテモ色々考ヘハアリマスケレドモマダ研究ニ着手シテ居リマセン。吾々ハ今日此ノ機會ニ於キマシテ皆サン方ノ間ニ木材生地以外ニ於テ何ニカ御研究ニナツタモノガアリマシタラ御説明ヲ願ツテ今後ノ參考ニ致シタイノデアリマス。以上ノ意味合ヲ以テ提案致シマシタ次第デアリマス。

宮崎縣

一寸只今ノ大分市ノオ方ニオ尋ネ致シマスガ木材以外ノモノデ適當ナモノヲ發見スルト云フ意味デアリマスカ。

大分市

天然乾燥以外コウユウ方法ガアルト云フダケデモ結構デアリマス。夫レ以外ノ材料ヲ御研究ニナツタモノガアレバ御説明ヲ願ヒマス。

宮崎縣

私ノ方ニ參考ニ供シタイモノガアリマス。夫レハ**バルブス**(?)デ之ヲ生地トシテノ漆器ハ理想的デ之レハ沖繩縣奥地ニノミ出來ルノデ沖繩縣デハ、殖林ト云フコトモ出來ナイト云フコトデ輸出禁止ト云フオ話デアリマスガ從ツテ日本全國ニ賣リ出スト云フコトハ出來ナイヤウデス。宮崎ニハ**インコー**(?)ト云フモノガアリマシテ當業者ガ適當ニ乾燥致シマシテ漆器ヲ拵ヘルトクルイガ非常ニ少イ、御希望デシタラ少シ材料ヲオ送リシテモ宜シウゴザイマス。之レハ當業者ガ少シ面倒ナモノデスカラ嫌ヒマスガ漆器ノ生地トシテハヨロシイノデゴザイマス。スコシ材料ヲオ送リシテモヨロシイ。

大分市

沖繩縣デハ輸出ヲ禁止シテ居ルノデアリマスカ。

沖繩縣

輸出禁止ト云フ譯ヂヤアリマセン。殖林ガ出來マセンノデ自然材料ガ豐富デナイ。其ノ關係デ出スニモ出セナイト云フ譯デ殖林モ實施出來マセン。吾々トシテハ殖林ノ計畫ハ立テ、居リマス。

議長

本省ノ方ニハ何ニカナイデスカ。

商工省

木材漆器ハ不適當デアルカラ代リ得ルモノハナイカト云フ大分縣カラ色々オ話ガアリマシタガシカコノ展覽會ニ日本カラ持ツテ行ツタ漆器ハソツクリ割レタリシテ役ニ立タヌモノガアルノデアリマスガ、夫レヲ持ツテ歸ツテ皆サンニオ目ニカケヨウト思ツテ持ツテ歸ルト夫レガ元ニ戻ツテシマウノデ是レ位ノコトヲ大袈裟ニ云フト言フ漆器屋サンモアルノデアリマスガ吾々ノ方デモ色々研究シテ居リマスガ横濱邊デハ**アルマイド**ヲ使ツテ居リマスガ色々ソウユウヤウナモノヲ使ヘバ宜イモノガアルヤウデアリマス。木材ト云ツテモ漆器ノ材料ニ使ハレル種類ハ非常ニ少ナイノデアリマシテ各地方デモ漆器ノ生地ニツイテ何ニカ適當ナモノハナイカト毎年研究シテ居ル次第デアリマシタガ之ニツキ日本漆器ト云フモノ、狀況ヲ調査致シタモノヲ目下編纂中デアリマスガ夫レガ出來マシタナラ將來漆器生地ニツイテモ色々資料ヲ纏メ印刷シタイト考ヘテ居リマスカラソウユウモノヲ御覽ニナリマシテ御研究ヲ願ヒマス。

議長 大分縣へ各生地ヲ送ツテ頂キタイ。

商工省 夫レハ送り致シマス。ソウユウ技術官會議ノ内容ハ今手許ニ有ツテ居リマセンノデオ送り致シマス。

議長 何ニカ此ノ生地ニツイテ外ニ御研究ニナツタ縣ガアリマスナラオ話ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、モウオ話ハアリマセンカ大体コンナコトデ宜シイデスカ。

夫レデハ若松市提出ノ分ハ御出席ニナツテ居リマセンカラ止メマシテ。

一、工藝振興施設經費ノ經常化並ニ増額ヲ圖ルノ件

大分縣提出

大分縣 昭和七年カラ廣ク行ハレテ居ルコトデアリマスガ、商工省トシテハ輸出工藝品振興施設費トシテ臨時部ニ比較的少額ノ費用ガ計上サレタノデアル、然シ此ノ費用ヲ以チマシテ今日マデ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居リマスガ何分豫算ガ少額デアリマスノデ兎角不安ヲ感ゼラレル、ソウユウナ状態デアリマスカラドウシテモ將來性ヲ有ツタモノデナケレバナラス、何時マデモ臨時部ニ計上ハ不安デアル。亦現状カラ申シマシテモ將來性カラ申シマシテモ之レハ特ニ經常費トシテ頂キタイ、之ヲ私ドモハ非常ニ希望シテ居ルノデアル、尙ホ其ノ額デアリマスガ今マデ約五萬圓位ヲ一萬圓位増額サレマシテ昭和十二年度カラ大体六萬二千圓ヲ計上サレルト云フコトヲ願ツテ居ル、然カシ其ノ内二萬二千圓ハ東北ノ方ヘ之ヲ特ニ配當サレルコトニナツテ居ルノデ其他ノ費額四萬圓ト云フモノヲ全國其他ニ定額ヲ配布サレル譯デアリマシテ從ツテ配當サレル額ハ極メテ少額デアリマス。現ニ此ノ展覽會デアツテモ更ラニ減額サレル傾向ガアリマシテ之レハ大イニ考フベキコトデアリマシテ此ノ事ハ當然ノ施設デアリマシテ各方面デモ負擔ガ相當額ニ増大サレルト云フコト、ナリ其ノ費用ノ支出ニ困ル場合ガアルヤウデアリマス。從ツテ工藝方面ノ施設ガ非常ニ少クナツテ居リマス。私ハ之ヲ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマス。其ノ額ハ少額デアリマスケレドモ今日マデ相當ノ成

績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスカラ増額ヲ願ヒマシテ工藝方面ノ施設其他ノ方面ニ更ニ積極的施設ガ出來ルヤウニナリ

マスカラ此ノ際増額ヲ願ヒシタイノデアリマス。何卒御賛成ヲ願ヒタイ。

議長 本省ノ方デ經常化シ得ル雲行キガアリマスガ、亦之レハ各縣ノ要望モアリマスカラ書面ナリ亦口頭ニ依リマスガ、書面ノ文案ハ大分縣ガ作リマス豫メ御承認ヲ得タ上取計ラヒマス。

商工省 只今大分縣カラ御説明ニナツタコトハ至極御尤モデアリマス、私共モ同感デアリマス。工藝振興ト申シマシテモ本省ノ方ノ經費ハ非常ニ僅カデアリマスカラ大キナ仕事ハ出來ナイノデアリマスカラ私共トシマシテモ經費ノ經常化及ビ増額ト云フ問題ニツキ及バズナガラ力ヲ致シテ居ルノデアリマスガ何分經費多端ト云フコトデスカラ各地方デ只今申サレタコトモ結構ナコト、思ヒマス。

議長 ソウユウコトニヤツテ宜ロシイデスカ。

一、紀元二千六百年記念萬國博覽會參加ニ關スル件

熊本縣提出

熊本縣 御承知ノ如ク昭和十五年ハ紀元二千六百年デ國ヲ擧ゲテ各種奉祝事業ガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、特ニ日本萬國博覽會ノ計畫ガアリマシテ之ハ最初ノコトデアリマシテ其ノ内容ニ於テモ從來ニ嘗テ見ナイ所デアルト言ハレテ居リマスガ、此ノ機會ニ於テ日本ノ一般産業ガ如何ニ發展シテ居ルカト云フコトヲ國內ハ勿論廣ク萬國ニ示スベキ最モヨイ機會デアリマスノデ之ニ各府縣ガ參加スルコトハ勿論デアルト思ヒマス。但シ未ダ參加出品ヲ爲ス計畫發表ヲ見ナイヤウデアリマスガ是等ニ參加致シマス場合ニ於キマシテ只今問題ニナツテ居ル輸出工藝品ニ關シテマアリマシテ現在ヤツテ居ラレル商工省ノ工藝品展覽會ヲ擴大シタヤウナモノトシタイノデアリマス。ソウユウコトニナリマスレバ其ノ出品ニツイテモ只今カラ吾々ノ方デモ準備ヲシナケレバナラスト思ヒマス。亦各縣ニ於キマシテモ